

令和4年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業 成果一覧

令和5年9月

那覇市	1	嘉手納町	58
宜野湾市	11	北谷町	59
石垣市	16	北中城村	60
浦添市	19	中城村	63
名護市	21	西原町	65
糸満市	25	与那原町	67
沖縄市	27	南風原町	69
豊見城市	31	渡嘉敷村	74
うるま市	34	座間味村	76
宮古島市	39	栗国村	77
南城市	41	渡名喜村	78
国頭村	43	南大東村	79
大宜味村	44	北大東村	80
東村	45	伊平屋村	81
今帰仁村	47	伊是名村	83
本部町	49	久米島町	85
恩納村	51	八重瀬町	87
宜野座村	51	多良間村	90
金武町	53	竹富町	92
伊江村	54	与那国町	94
読谷村	56		

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「線越」…「線」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R13	外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援するもの。	・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか:満足度95.8%	◎
01 那覇市	1 2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R13	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車に関する指導回数 看板:月平均290回以内 車両:月平均200回以内	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数及び車両の違法駐車に関する指導回数 看板:月平均511回 車両:月平均331回	◎
01 那覇市	1 3	那覇三大祭り関連事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇ハーリー」来場者数:194,000人 ・「那覇大綱挽」来場者数:272,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数:48,600人(参考:平成30年度、令和元年度は中止)	・「那覇ハーリー」来場者数:中止 ・「那覇大綱挽」来場者数:190,000人 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数:3,800人(参考:平成30年度、令和元年度は中止)	未
01 那覇市	1 4	観光入込統計調査事業	H28 ～ R13	那覇市における国内観光客の旅行動向を把握し、その結果の活用を図る。	・対面アンケート調査における回収件数200件 ・WEBアンケート調査における回収件数400件以上。	・対面アンケート調査における回収件数448件 ・WEBアンケート調査における回収件数400件	◎
01 那覇市	1 5	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数:7,500人	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 124,506人 ・プロ野球公式戦1試合入場者数:11,122人	◎
01 那覇市	1 6	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R13	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	参加者数 7,650人	参加者数 2,336人	未
01 那覇市	1 7	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R13	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援を行う	クルーズ乗船客数:188,000人	-	-
01 那覇市	1 8	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	年間稼働数:56回 内訳 ・クルーズ船の那覇港寄港時の歓送迎:17回 ・沖縄国際映画祭:1回 ・那覇ハーリー:3回 ・那覇大綱挽まつり:2回 ・琉球王朝祭り首里:1回 ・那覇マラソン:2回 ・読売巨人軍那覇キャンプ:20回 ・那覇市観光基本計画の推進に資するイベント:10回	年間稼働数:36回	△

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「線越」…「線」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 9	沖縄国際映画祭関連事業	H28 ～ R13	観光客の誘客を図るため、沖縄映画祭開催に係る運営費の一部を実行委員会に補助する。	沖縄国際映画祭 国際通りレッドカーペット観客数 (92,000人)	沖縄国際映画祭 国際通りレッドカーペット観客数 (681人)	未
01 那覇市	1 10	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R13	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組を支援する。	歩行者通行量1日:11,100人	歩行者通行量1日:20,709人	◎
01 那覇市	1 11	一万人のエイサー踊り隊推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である「一万人のエイサー踊り隊」の開催支援等を行う。	来場者数:27,220人	来場者数:3,565人	未
01 那覇市	1 12	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R4	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場の再整備にあたり、再整備期間中、仮設市場において市場機能を維持することにより、賑わいの継続及び観光客の誘客を図る。 今年度は、仮設市場の賃貸借業務及びオープニング関連事業を実施する。	仮設市場賃貸借業務の実施 オープニング関連事業の実施	仮設市場賃貸借業務の実施 オープニング関連事業の実施	◎
01 那覇市	1 13	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R13	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	視聴者数(月平均):14,800人 ※視聴者測定システムによる測定 R2実績:2,123人 R1実績:14,796人	視聴者数(月平均):12,471人	○
01 那覇市	1 14	マチグワー総合案内所事業	H26 ～ R13	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグワー)に、案内所を設置する。	案内所利用者数:20,300人 R2実績:10,125人 R1実績:20,260人	案内所利用者数:21,070人	◎
01 那覇市	1 15	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R13	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	来館者数 9,735人 過去3年度 企画展1回あたり3,245人 ×3回=9,735人	来館者数 7,721人/年	○
01 那覇市	1 16	早朝・夜間の活動時間創出支援事業	R4 ～ R4	新たな旅行スタイルに対応した早朝・夜間の活動時間創出に繋がる市内事業者等の連携した取り組みに対する支援により、観光客等の市内消費額の増加を目指す。	交付を受けた事業の継続実施割合 75%以上	交付を受けた事業の継続実施割合:100%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 17	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」支援事業	H25 ～ R13	観光誘客を図るため、観光資源である首里城祭「琉球王朝絵巻行列」の開催支援等を行う。	首里城祭「琉球王朝絵巻行列」来場者数:33,400人	-	-
01 那覇市	1 18	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R13	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 124,506人	◎
01 那覇市	1 19	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R13	県木であり観光資源であるリュウキュウマツの松枯れ予防対策として薬剤注入等を行い、景観の保護を図る。	予防達成率を90%以上とする。	予防達成率:100%	◎
01 那覇市	1 20	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R13	観光都市として、亜熱帯ならではの魅力的な都市緑化景観を創出するため、観光振興に資する路線沿線において、草花苗の配布、多言語案内板やチョウ園の設置、花壇等への花卉植栽を行う。	魅力的な都市緑化景観を創出するため基本計画の策定	魅力的な都市緑化景観を創出するため基本計画の策定	◎
01 那覇市	1 21	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R5	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	-	繰
01 那覇市	1 22	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24 ～ R13	幹線市道や観光地周辺市道の美化(剪定・除草・植栽整備等)を推進し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観を創出する。	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	本事業(剪定・除草・植栽整備等)による道路美化の対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか【アンケート未実施】	未
01 那覇市	1 24	なはICT産業振興ガイドライン策定事業	R4 ～ R4	新型コロナウイルス感染症拡大により、「withコロナ」に取り組む企業が増え、「リモートワーク」に代表されるようなニューノーマルを定着させている。ITは全産業のインフラとなっており、本市がICT産業振興ガイドライン策定し、明確な方針を示すことにより、情報通信産業への支援の充実、ひいては産業全体の活性化につながることを目的とする。	・なはICT産業振興ガイドラインを策定。 ・IT創造館及びなは産業支援センターの運営方針の見直し案作成	・なはICT産業振興ガイドラインを策定。 ・IT創造館及びなは産業支援センターの運営方針の見直し案作成	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	1 25	那覇市宮奥武山体育施設照明設備及びスコアボードLED化整備事業	R4 ～ R5	照明設備のLED化により、省エネ化を図るとともに、スコアボードフルLED化により、イベント開催のための機能強化を行い利用者増を図る。	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化設計業務の完了	照明設備LED化及びスコアボードフルLED化設計業務の完了	◎
01 那覇市	1 26	那覇市スポーツコンベンション推進事業	R4 ～ R6	本県が振興計画において目指す「スポーツアイランド沖縄」の形成に向けて、多くの人々を呼び込むスポーツコンベンションを推進するため、スポーツ交流拠点となる漫湖公園市民庭球場の機能強化を図る。 当該施設における観客施設の充実化、プレー環境の向上、照明設備LED化といった機能強化を図ることにより、スポーツコンベンション誘致施設としての魅力・利便性の向上と、生涯スポーツ活動拠点としての更なる施設利用の活性化を促進する。	機能強化に係る設計業務の完了	機能強化に係る設計業務の完了	◎
01 那覇市	2 1	市魚マグロ等水産物流支援事業	H24 ～ R13	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持：5,317円以上 ・PRイベント来場者37,525人 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者：107人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持：4,214円 ・PRイベント来場者：0人(事業中止) ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者：115人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか：55.0%	△
01 那覇市	2 2	漁船近代化機械設置事業	H24 ～ R13	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁業者数 191名	漁業者数 240名	◎
01 那覇市	2 3	水産物利活用調査事業	R4 ～ R5	夏場大量に漁獲され安価で競り落とされている魚種等について、付加価値向上のための加工等の利活用方法を調査し、得られた利活用の方法を広く漁業者へ周知することで所得向上を図ることを目的とする。	漁業者への活用事例の提供：3件	漁業者への活用事例の提供：3件	◎
01 那覇市	2 4	泊漁港再整備事業	R4 ～ R5	水産物の地産地消や国内外観光客への水産物の提供を促進するため、本市にある唯一の漁港において実施される砕氷機の設置工事等に対し、整備費用の一部を補助する。	砕氷機の設置完了	砕氷機の設置完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R13	市内中小企業事業者が開発もしくは代理店等として取り扱いをしている商品やサービスの販路拡大を目的として、商談会等へ出展する際の経費の一部を補助する。また、海外販路開拓に向けてセミナーを開催し、フォローアップを行う等実践的な支援を行う。	・商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上 ・セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合を80%以上	・商談成約率(商談成約件数/商談件数):1.7% ・セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「販路拡大に役立った」旨の回答割合:100%	△
01 那覇市	3 2	なはし創業・就職サポートセンター	H24 ～ R13	本事業は、ビジネスアイデアやプランを持つ市民への効果的かつ効果的な創業支援や、若年者から高齢者までのニーズに合った就職支援を行うことにより、民間活力を高め、産業の新陳代謝を進めるとともに、雇用のミスマッチや企業の人手不足等の改善を進めることで、本市の持つ成長可能性を着実な経済発展につなげ、市民所得の向上を図ることを目的とする。	相談窓口利用者1,800人 創業者5人以上 就職した人数の割合3.06%以上	・相談窓口利用者:1,412人 ・創業者:13人 ・就職した人数の割合:5.15%	○
01 那覇市	3 3	頑張るマチグワー支援事業	H25 ～ R13	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	中心商店街の平日歩行者通行量 106,000人	中心商店街の平日歩行者通行量:89,890人	○
01 那覇市	3 5	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R13	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナー等の実施、企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を行う。	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	・セミナー等に参加した事業者に対するアンケート調査等で「セミナーへの参加等により経営基盤強化に役立った」との回答割合:96.0% ・専門家の支援を受けた事業者に対するアンケート調査等で「経営基盤強化に役立った」との回答割合:68.8%	○
01 那覇市	3 6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ～ R13	情報通信産業をはじめ、国際物流産業、観光関連産業等(沖縄振興特別措置法や沖縄21世紀ビジョン基本計画に規定する戦略的成長産業分野)の振興発展と那覇市経済の活性化に寄与するため、なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象として育成支援のための事業を実施する。	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施 【企業経営に役立ったと回答した割合:89%】	◎
01 那覇市	3 8	新商品開発支援事業	H29 ～ R13	那覇市の観光・地域資源を活用した商品の販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品の企画・開発を支援する。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を目標とする。	・新商品企画・開発・テストマーケティング実施:12件 ・セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「商品開発に役立った」旨の回答割合:95.1%	◎
01 那覇市	3 9	小中学生キャリア教育支援	R2 ～ R4	若年層の早期からの職業意識の醸成ならびに職業観及びキャリアデザインの形成を目的に、市内の小中学生を対象に、那覇市で活躍する中小企業の職業人の講話や企業見学・体験を実施する。	アンケート調査を実施し、職業観や就業意識が上昇した旨の回答割合80%以上を目標とする。	職業観や就業意識が上昇した旨の回答割合:80%以上 【大人になったら仕事をしたい 88%】 【起業に対する興味・関心を持った 87%】	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	3 10	那覇市IT人材育成支援事業	R3 ～ R13	次世代を担う市内の小学生を対象に市内小学生プログラミングコンテスト開催を通して、情報技術に関する興味を抱き、論理的思考を身につけ、かつ日常生活が情報技術を活用した産業で支えられていることに気付くことで、将来のIT人材の育成やキャリア形成に役立てる。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇(80%以上)を成果目標とする。	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の上昇と回答した小中学生の割合: 90%	◎
01 那覇市	3 11	市内事業者事業刷新支援事業	R3 ～ R5	市域の事業者が事業活動を継続するため新たな分野への業態変化や、新事業への転換などにかかる経費の一部を補助する。	補助実績15事業者以上	補助実績:12事業者	○
01 那覇市	3 12	高度IT人材育成研修等助成事業	R4 ～ R13	本市における情報通信産業の発展を目的としているほか、高度IT人材育成を行うことにより、情報通信産業を含め、産業全体の所得向上に繋がることを目的としている。	10社以上へ補助を行う。	-	-
01 那覇市	3 14	那覇MICE受入推進事業	R4 ～ R6	本市におけるMICE受入体制構築、誘致促進に繋がる取り組みを行う。	・那覇市MICE受入推進協議会(仮称)にて、MICE受入推進上の課題・今後の取組の整理 ・ホームページ仕様設計の完了	・那覇市MICE受入推進協議会(仮称)にて、MICE受入推進上の課題・今後の取組の整理 ・ホームページ仕様設計の完了	◎
01 那覇市	3 15	インキュベート施設機能強化事業	R4 ～ R4	本市のインキュベート施設の共用部分を入居企業が情報交換・交流の場として利用できるフリースペース等として改修する。	施設機能強化のための整備終了	施設機能強化のための整備終了	◎
01 那覇市	4 1	国際海上物流ネットワーク形成促進支援事業	H29 ～ R13	割高な海上輸送コストの低減に向け、東南アジアと日本本土を中継する国際競争力の高い物流ネットワークの形成を促すため、港湾管理者が実施する貨物増大による物流コスト低減及び航路拡充を図る実証事業を行う。	1. 那覇港に寄港する外航航路の寄港地の増加(2寄港地増R4) 1-2. 実証実験における取扱貨物量の増加(R3最大156TEU/寄港→R4計画355TEU/寄港)	1-1. 那覇港に寄港する外航航路の寄港地の増加(2寄港地増R4):継続1航路 1-2. 実証実験における取扱貨物量の増加(R3最大156TEU/寄港→R4計画355TEU/寄港):197TEU/寄港	未
01 那覇市	5 1	那覇市健康ウォーキング推進事業	H26 ～ R13	生涯スポーツのまちづくりを目指し、ウォーキングを通じた市民の健康づくりの推進に向けて、市民に運動を習慣化することの大切さを認識してもらうため、健康ウォーキング大会やウォーキング講座等を開催する。	健康ウォーキング大会 参加者 3,500人以上 満足度 90%(参加者アンケート) ウォーキング講座 講座終了後も継続して歩く割合 80%(受講者アンケート)	・健康ウォーキング大会 参加者 3,924人 満足度 93.7%(参加者アンケート) ・ウォーキング講座 講座終了後も継続して歩く割合 91.3%(受講者アンケート)	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	5 2	小中学校歯科保健予防事業	R4 ～ R13	学校歯科保健活動の活性化及び児童生徒の健康についての知識の醸成を図るために、小中学校において児童生徒の発達段階に応じたむし歯予防を推進するとともに、効果的なむし歯予防対策であるフッ化物洗口を実施する。	①ポーションタイプ洗口液を利用した実効性の検証 令和5年度も継続実施する校数 2校(R4実施校) 令和5年度に実施を希望する学校数6校以上(53校中) ※小中学校に対して先行実施の報告をし、次年度のフッ化物洗口実施希望のアンケートをとる。	-	-
01 那覇市	6 1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ～ R13	学力向上と学校教育環境の充実を図るために、小中学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	①小学校算数(3年) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 +1.2ポイント ②中学校数学(2年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +2.2ポイント	①小学校算数(3年) 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 -(小3学力定着状況調査の対象外) ②中学校数学(2年) 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 +2.4ポイント	△
01 那覇市	6 2	英語指導員配置事業	H24 ～ R13	多様性や国際性を身に着け、英語で適切に対応できるコミュニケーション能力の育成を図るため、市立の小中学校及び中学校に英語指導員を配置し、長期的な英語指導を行う。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合 80%以上(アンケート調査実施) ②中学校 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 ○中学校英語(2年): +3.6ポイント	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合: 85.6% ②中学校 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差: +2.3ポイント	△
01 那覇市	6 3	特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、教育相談員及び特別支援コーディネーターの派遣や特別支援教育補助員の配置を行う。	特別支援教育補助員の対応への満足度(80%以上) 対象児童生徒の保護者へアンケート実施	特別支援教育補助員の対応への満足度: 88.5%	◎
01 那覇市	6 4	特別支援教育充実事業(認定こども園)	H24 ～ R13	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、園児の園生活の困難の改善を図る。	特別支援教育ヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。	特別支援教育ヘルパー対応への満足度: 99%	◎
01 那覇市	6 5	不登校対策等支援事業	H24 ～ R13	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援(学習支援室、相談室、自立支援教室)を行うことで、不登校の改善を図る。	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校20.0% 中学校17.0%	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校17.7% 中学校12.5%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 6	教育相談支援員・生徒サポート配置事業	H24 ～ R13	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校20.0% 中学校17.0%	相談機関等に繋がっていない不登校児童生徒の割合 小学校17.7% 中学校12.5%	◎
01 那覇市	6 7	青少年旗頭事業	H24 ～ R13	児童生徒の居場所や出番、地域との絆を作るとともに、伝統文化の保存継承を図るため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を実施する。	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒数:932人	「やる気・元気旗頭フェスタinなは」に参加した児童生徒数:557人	未
01 那覇市	6 8	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ～ R13	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員(6人)及び青少年指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	①街頭指導件数2,000件/年 ②深夜徘徊補導人数780人/年 ③不良行為補導人数1,500人/年	①街頭指導件数2,351件/年 ②深夜徘徊補導人数363人/年(暫定値) ③不良行為補導人数726人/年(暫定値)	△
01 那覇市	6 9	児童生徒のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答:100%	◎
01 那覇市	6 10	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ～ R13	児童生徒の自立や意欲向上、能力の育成を図るために、児童生徒の積極的な参加を奨励し県外大会への派遣旅費を補助する。	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(90%以上) 派遣後に保護者へのアンケート実施	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答:99.7%	◎
01 那覇市	6 11	自然教室実施事業	H24 ～ R13	児童の社会性を育み豊かな人材の育成を図るために、市立の小学校5年生を対象に、沖縄独自の自然の中で様々な体験活動を実施する。	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 90%以上	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合:93.9%	◎
01 那覇市	6 12	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ～ R8	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装工事を行う。	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剝離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	ー	繰
01 那覇市	6 13	発達支援強化事業(乳幼児期)	H27 ～ R8	発達の気になる乳幼児の就学後の学校生活での不適応行動を少なくするために、小学校就学前の段階から、発達の気になる乳幼児及び子どもとのかかわり方に不安を抱く保護者等の早期把握、早期支援を行うことで児の健やかな発達を保証する。	・アンケート調査により発達相談及び親子教室後の保護者等の満足度(80%以上)	保護者等の満足度:100%	◎
01 那覇市	6 15	児童館施設整備事業	R4 ～ R4	LED電球への切り替えがない9児童館と遊戯室に冷房機が設置されていない6児童館をそれぞれ整備する。	那覇市の全児童館にが、LED電球へ切り替え、遊戯室への冷房機設置を完了する。	那覇市の全児童館が、LED電球へ切り替え、遊戯室への冷房機設置を完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	6 16	保育士負担軽減等加配事業	R4 ～ R9	保育士の離職防止及び雇用環境の改善を図ることにより保育士を確保し、待機児童を解消することを目的として、待機児童の多い1歳クラスについて、国の配置基準を超えて配置とするために必要な常勤保育士1人分の人件費を施設へ補助する。	那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率：13.0%	那覇市内私立認可保育施設等の平均離職率：14.2%	未
01 那覇市	6 17	学校ICT支援員配置事業	R4 ～ R8	小中学校にICT支援員を派遣し、教員がICT機器を授業等で活用できるようサポートを行い、教員のICT活用指導力の向上を図る。	(1)アンケートを実施し、教員満足度を75%以上とする (2)改善提案件数 ・各種業務履行上の改善提案件数は月に1件以上とする	(1)アンケートを実施し、教員満足度：97.5% (2)改善提案件数：1.2件/月	◎
01 那覇市	6 18	学校用地土壌調査等実施事業(旧米軍施設関連)	R4 ～ R4	米軍施設跡地に立地する学校施設の改築に際し、土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査を行う。	①土壌汚染概況調査を土地の形質変更を行う約4,500㎡に対し実施する。 ②土壌汚染詳細調査については、①の結果を基に土壌汚染対策法に規定される指定調査機関が立案する調査計画の下、必要数量を全箇所調査する。	①土壌汚染概況調査を土地の形質変更を行う約4,500㎡に対し実施 ②①の結果調査不要	◎
01 那覇市	6 19	森の家みんみん施設機能強化事業	R4 ～ R4	自然体験や環境教育等の学習を行う宿泊・研修施設「那覇市立森の家みんみん」に冷房機を設置し、施設の機能強化を図る。	冷房機の設置完了	ー	繰
01 那覇市	6 20	共生・多様性社会実現事業	R4 ～ R9	生涯学習施設や福祉施設等を機能集約し、多様な市民が施設の利用を通してつながることで、失われている地域のつながりを復活・再生させ、多様で複雑な課題に地域で対応できる社会を形成する。	雨水排水管路移設計画の策定完了	ー	繰
01 那覇市	7 2	文化芸術拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館展示室環境整備)	R4 ～ R5	壺屋焼物博物館の常設展示の多言語化及びユニバーサルデザイン環境を高め、ポストコロナにおける外国人観光客を含む多様な観覧者への発信を強化するために、音声・映像等を活用した解説環境を整備する。	映像解説・映像シアター制作の完了	映像解説・映像シアター制作の完了	◎
01 那覇市	7 3	市民文化支援事業	H24 ～ R13	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能団体の活動を支援することで、民俗芸能の保存継承を図ることを目的とする。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体(約390名)	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数：12団体	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	7 4	子どもが輝くまちづくり事業	H24 ～ R13	子どもたちの文化芸術に対する興味や豊かな感性等を育むため、子どもたちの活動発表の場である「子どもフェスタinなは」の開催を支援する。	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数：730人	「子どもフェスタinなは」に参加した児童生徒数：291人	未
01 那覇市	8 1	ボランティア振興事業	H27 ～ R13	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	①ボランティア登録者数(新規)：268人 ②ボランティアのマッチング件数：293件	◎
01 那覇市	8 2	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R13	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決を資するため、総合相談窓口を設置する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったと回答した割合：100%	◎
01 那覇市	8 3	放課後まなび支援事業	R4 ～ R13	市内の低所得世帯の小学校4～6年生の児童に対し、国語、算数、理科、社会及び英語を学ぶ教育サービスを受けるための費用の一部を支援する。	支援を受けた児童へアンケート調査を実施し、児童の学力の向上50%以上、学習意欲の向上40%以上を目指す。	支援を受けた児童へアンケート調査を実施 ・児童の学力の向上したとの回答：49.6% ・学習意欲の向上との回答：34%	○
01 那覇市	9 1	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24 ～ R13	那覇市と関連が深い国や地域等を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、各種研修を通して沖縄伝統芸能・文化、歴史等を学ぶ機会を提供する。	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含めアンケートにより本事業のあり方を検証する。	受け入れた研修生が沖縄の文化や歴史により興味を持ったとの回答：100%	◎
01 那覇市	9 2	那覇長崎平和交流事業	H25 ～ R13	平和について理解を深めるため、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に生徒を派遣する等の事業を行う。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、対象生徒及び保護者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	参加生徒の平和等に対する理解が深まったとの回答：100%	◎
01 那覇市	9 3	沖縄戦体験者証言記録映像制作事業	R4 ～ R4	戦争体験者の高齢化も進むなか、戦禍の記憶を風化させることなく、沖縄戦の実相や平和の尊さを次の世代へ継承していくことを目的に、沖縄戦体験者の証言を記録し、保存する。	体験者(2名)映像制作の完了	体験者(2名)映像制作の完了	◎
01 那覇市	11 1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R9	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	①応急手当講習受講者数：6,000人以上 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	①応急手当講習受講者数：2,254人 ②救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思う割合：97%	△
01 那覇市	11 2	保安灯LED化推進事業	R4 ～ R13	二酸化炭素排出量を削減し、低炭素社会への転換を推進し、地球温暖化対策へ寄与する。	二酸化炭素排出量の削減 19,160kg-CO2以上/年 削減	二酸化炭素排出量の削減 17,132kg-CO2以上/年	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
01 那覇市	11 3	大規模火災等対応資機材整備事業	R4 ～ R4	首里城火災等に代表されるような異常な高温を伴う大規模火災や中心市街地等の密集地域における消防活動困難地域において、県民及び観光客の身体を火災等の外的危険から早期救出し、保護することを目的として資機材の整備を行う。	1.資機材の適正配備 2.資機材管理指針及びマニュアル等運用計画の策定完了	1.資機材の適正配備 2.資機材管理指針及びマニュアル等運用計画の策定完了	◎
02 宜野湾市	1 ①	宜野湾西海岸エリア活性化事業	H24 ～ R13	沖縄西海岸地域の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	・琉球海炎祭…来場者数1.5万人(うち県外8千人、海外2千人) ・はごろも祭り…来場者数16.8万人 ・産業祭り…来場者数2.8万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数についてコロナ禍以前のH30年度実績とほぼ同等水準を目標とする。H30年度279,874人→目標:280,000人	・琉球海炎祭…来場者数1.15万人 ・はごろも祭り…来場者数0万人 ・産業祭り…来場者数3万人 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数についてコロナ禍以前のH30年度実績とほぼ同等水準を目標とする。実績:252,147人	△
02 宜野湾市	1 ②	企画展開催事業	H24 ～ R13	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展1本あたりの平均入館者数:1,470人以上	企画展1本あたりの平均入館者数:1,490人以上	◎
02 宜野湾市	1 ③	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ～ R13	プロ野球のキャンプは、暖かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	来場者の満足度80%以上を目標とする。	来場者の満足度:65%	○
02 宜野湾市	1 ④	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30 ～ R10	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	再編整備工事(駐車場・照明灯整備)、及び市立グラウンド機能拡張実施設計の完了	-	繰
02 宜野湾市	1 ⑤	嘉数高台公園等施設整備事業	H30 ～ R5	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	再編整備工事工事(3期)、(東屋)の完了	再編整備工事工事(3期)、(東屋)の完了	◎
02 宜野湾市	1 ⑥	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H27 ～ R4	野球場施設の機能拡張整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保する。	市立野球場散水設備機能拡張工事の完了	-	繰

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	1 ⑦	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3 ～ R13	宜野湾市の海は本島周辺地域でも有数のサンゴ礁が広がるきれいな海である。しかしその認知度が低いことから、サンゴの植樹、海の清掃活動を通じ広報活動を行う宜野湾まりん協会を支援することで、観光資源を保全しながら本市の新たな観光コンテンツの開発することを目的とする。	・体験ダイビング:200人	・体験ダイビング:542人	◎
02 宜野湾市	2 ①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24 ～ R13	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	日頃、スクールソーシャルワーカーと関わりのある児童生徒の保護者や、活用する学校側から、スクールソーシャルワーカーの有効性を聞き取ることで検証し、保護者・学校とも多数が満足していると考えられる数値を指標とする。 (指標)SSWは希望に沿った支援を行えたか？ →とても満足・まあまあ満足合わせて80%以上	日頃、スクールソーシャルワーカーと関わりのある児童生徒の保護者や、活用する学校側から、スクールソーシャルワーカーの有効性を聞き取ることで検証し、保護者・学校とも多数が満足していると考えられる数値を指標とする。 (指標)SSWは希望に沿った支援を行えたか？ →とても満足・まあまあ満足合わせて89.80%	◎
02 宜野湾市	2 ②	適応指導教室事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施する。	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:10%	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:50%	◎
02 宜野湾市	2 ③	児童生徒等相談事業	H24 ～ R13	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	日頃、来所相談等を通して関わりのある児童生徒の保護者や、活用する学校側から、相談事業の有効性を聞き取ることで検証し、保護者・学校とも多数が満足していると考えられる数値を指標とする。 (指標)臨床心理士・青少年教育相談指導員は希望に沿った支援を行えたか？ →とても満足・まあまあ満足合わせて80%以上	日頃、来所相談等を通して関わりのある児童生徒の保護者や、活用する学校側から、相談事業の有効性を聞き取ることで検証し、保護者・学校とも多数が満足していると考えられる数値を指標とする。 (指標)臨床心理士・青少年教育相談指導員は希望に沿った支援を行えたか？ →とても満足・まあまあ満足合わせて87.10%	◎
02 宜野湾市	2 ④	非行防止等巡回活動事業	H24 ～ R13	街頭指導員を配置し、夜間街頭指導等を実施し青少年の健全育成に寄与するため関係機関や地域と連携しながら青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組む。	・年間の街頭指導実績回数が、前年度実績の12%減(過去の実績を参考)	・年間の街頭指導実績回数が、前年度実績の36%増	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	2 ⑤	学習支援員活用事業	H24 ～ R13	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 算数: +2.0ポイント以上 ・中学校 数学: -6ポイント以上	県学力到達度調査 (小学校) 算数: +1.4 ポイント (中学校) 数学: -0.8 ポイント	△
02 宜野湾市	2 ⑥	派遣費補助金交付事業	H24 ～ R13	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の児童生徒との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	児童生徒の視野が広がる。 ⇒対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果 「子どもの視野が広がったと思う」:80%以上	児童生徒の視野が広がる。 ⇒対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果 「子どもの視野が広がったと思う」:96%	◎
02 宜野湾市	2 ⑦	スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R13	スポーツ活動による児童・生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟している団体又は個人の県外派遣を支援する。	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果 「子どもの視野が広がったと思う」:80%以上	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果 「子どもの視野が広がったと思う」:100%	◎
02 宜野湾市	2 ⑧	特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R13	宜野湾市立の幼小中学校における特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	成果目標としては、対象児童等を普段から見守る立場である保護者と支援員を活用する学校側から支援員配置の有効性をききとることによって、検証できるものとし、学校、保護者とも多数が満足していると考えられる数値として「95%以上」と設定した。	実績:「95.60%」	◎
02 宜野湾市	3	歴史公文書等整理・活用事業	H24 ～ R13	市立博物館が所蔵する写真類を整理し、活用を図る。写真類はを公開するためにデジタル化を進め、同時に市民や利用者が活用し易いように、データベースを作成し、個人情報に配慮して順次公開を行う。また、これまで整理・保存を行ってきた歴史公文書については、公開・活用を中心とした事業を進める。	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上とする。	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が100%	◎
02 宜野湾市	4 ①	平和市民啓発事業	H24 ～ R13	戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するとともに、市民啓発により平和を希求する心を発信する。	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった。」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:80%以上	本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった。」:97% (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:93%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	4 ②	英語教育推進事業	R4 ～ R13	小中一貫した英語教育を行い、児童生徒に、国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、ALTを小学校へ2名、中学校へ1名ずつ派遣する。	①「英語が好き」な児童(小学校5・6年生)の割合85%(形成テストより)生徒(中学3年生)の割合60%(全国版生徒質問紙より) ②児童英検の正答率(小学5年生)90点以上 ③児童英検の正答率(小学6年生)85点以上	①小学5・6年の割合78.5% 中学3年の割合(未実施) ②小学5年生ブロンズコース正答率87.9点 ③小学6年生シルバーコース正答率81.7点	未
02 宜野湾市	4 ③	学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の情報活用能力を育成するため、ICT支援員2名を配置し、ICTを活用する授業の支援、教職員向けの校内研修の実施、ICT機器の障害対応を行う。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	① 教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合:小学校:72.3%、中学校:54.2% ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:81%以上:小学校:94.2%、中学校:92.9%	◎
02 宜野湾市	4 ④	ICT機器活用推進事業	H31 ～ R4	児童生徒の情報活用能力の育成環境を整備するため、小中学校にICT機器等を整備する。	① 教員にアンケート調査を実施し、授業に電子黒板を活用して指導できる割合:80%以上 ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、電子黒板の活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上	① 教員にアンケート調査を実施し、授業に電子黒板を活用して指導できる割合:87.4% ② 児童生徒にアンケート調査を実施し、電子黒板の活用により、授業が分かりやすかったと答えた割合:95.6%	◎
02 宜野湾市	4 ⑤	中学生語学研修派遣事業	H31 ～ R13	語学施設等でさまざまなシチュエーションを想定した語学研修の機会を与え、異文化理解と実践的コミュニケーション能力の向上をめざし、国際性と国際的視野の育成に資する。また、国の外交の中核となる官公庁施設を見学することで、国際外交の重要性に対する見聞を深める。	語学学習研修生徒に対する本事業へのアンケート調査による満足度を95%以上	語学学習研修生徒に対する本事業へのアンケート調査による満足度を93%以上	○
02 宜野湾市	5 ①	市民防災事業	H27 ～ R13	沖縄県は、島しょ県であるとともに、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。本事業では、宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水の備蓄を行い災害に強いまちづくりを推進する。	①保存食及び保存水の備蓄 ・R4年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R4年度保存水 備蓄率11% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」:「80%以上」と設定。	①保存食及び保存水の備蓄 ・R4年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R4年度保存水 備蓄率9.99% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」:「99.4%」	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	5 ②	沖縄観光防災力強化支援事業	R4 ～ R13	沖縄県は、大規模災害時には島しょ県であるため、観光客が観光地に足止めされ、観光避難民になることが予想される。また、台風等の自然災害を被りやすい地域であるため、平常時から災害に対する備えを万全にする必要がある。沖縄の観光振興の視点から観光避難民に対する防災対応を包括的に支援することにより、安心・安全な災害に強いまちづくりを推進する。	観光避難民向けの備蓄 ・R4年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R4年度保存水 備蓄率100% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」: 「80%以上」と設定。	観光避難民向けの備蓄 ・R4年度備蓄食糧 備蓄率100% ・R4年度保存水 備蓄率100% 宜野湾市防災訓練において訓練参加者に対するアンケートの結果「備蓄の重要性を感じた。」: 99%	◎
02 宜野湾市	6 ①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R13	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数: 230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者数: 80人	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数: 230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者数: 80人	◎
02 宜野湾市	6 ②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R13	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	◎
02 宜野湾市	7	地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R13	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校で職業体験プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	アンケート実績: 小学校: 95.7%、中学校: 98.5%	◎
02 宜野湾市	8	市民会館機能強化事業	H30 ～ R6	建設から38年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	①空調設備改修【設計】 ②中央監視盤改修【設計】 ③防災盤改修【設計】	①空調設備改修【設計】 ②中央監視盤改修【設計】 ③防災盤改修【設計】	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	9	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、土地の先行取得に取り組む。	●普天間飛行場 特定事業の用に供する土地取得目標 15,000㎡(達成率約74%) ※達成率:先行取得目標面積(145,400㎡)に対する累積取得面積の割合 ●インダストリアルコリドー地区 R4成果目標はなし R5成果目標として、特定事業の用に供する土地取得目標5,000㎡ ※先行取得目標面積 25,000㎡	特定事業の用に供する土地取得:16,228㎡	◎
03 石垣市	1 ①	観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R13	観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受け入れ態勢の構築、観光案内サービスの実施、観光誘客イベントへの支援を行う。	(観光誘客) ・クルーズ船での来訪客数:360,583人以上 ・南の島の星まつりへの来場者数:9,000人以上 ・とぅばらーま大会への来場者数:3,000人以上 (観光客の利便性向上) ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する	(観光誘客) ・クルーズ船での来訪客数:10,889人 ・南の島の星まつりへの来場者数:650人 ・とぅばらーま大会への来場者数:850人 (観光客の利便性向上) ・アンケート結果::100%	△
03 石垣市	1 ②	スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R13	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数 28,000人以上	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数:20団体 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に会場した観客数:20,400人	○
03 石垣市	2 ①	石垣市中央運動公園リニューアル事業	H27 ～ R6	スポーツを通した観光誘客を含め、中央運動公園の活用促進を図るため、中央運動公園の再整備を行う。	・陸上競技場再整備基本設計の完了 ・スポーツ施設の整備完了	-	繰
03 石垣市	2 ②	クルーズターミナル整備事業	R4 ～ R5	クルーズ船の寄港増加を図るため、出入国に関する手続きに必要なクルーズターミナルの整備を行う。	・クルーズターミナル整備工事(1工区)の完了	-	繰
03 石垣市	3 ①	離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R13	待機児童0の維持に必要な保育士の確保を図るため、島内外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・待機児童数:0名	・待機児童数:0名	◎
03 石垣市	3 ②	ひとり親家庭生活支援事業	H30 ～ R13	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせて実施する。	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:100%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
03 石垣市	3 ③	ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R13	石垣産の牛肉などの海外輸出、販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPR販促活動を行う。	・牛肉の輸出額:1,200千円以上/一頭当たり	・牛肉の輸出額:実績無し	未
03 石垣市	4 ①	”石垣産の牛”生産推進事業	H24 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。	①素牛の年間出荷頭数:7,191頭以上 ②素牛の平均販売額:700千円以上/頭 ③肥育牛の年間出荷頭数:871頭以上 ④肥育牛の年間売上高:995百万円以上 ⑤伝染病等にかかった頭数:0頭	①素牛の年間出荷頭数:7,092頭 ②素牛の平均販売額:562千円 ③肥育牛の年間出荷頭数:791頭 ④肥育牛の年間売上高:1,112百万円 ⑤伝染病等にかかった頭数:0頭	○
03 石垣市	4 ②	水産振興事業	H24 ～ R13	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。 また、鮪漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行う。	・養殖魚類種苗の輸送費支援完了 ・鮪漁等の水揚げ量:610トン	・養殖魚類種苗の輸送費支援:完了 ・鮪漁等の水揚げ量:577トン	○
03 石垣市	6 ①	児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	・アンケート結果:100%	◎
03 石垣市	6 ②	平和推進事業	H24 ～ R13	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、コンクールや催事に参加した児童生徒を対象としたアンケートにより本事業の在り方について検証する ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740名以上	・アンケート結果:92% ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数:延べ465名	○
03 石垣市	6 ③	石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R13	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、乳幼児期から就労までライフステージに応じた、心理専門職による発達相談等を実施する。	・乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:15%以上 ・心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	・乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:24% ・アンケート結果:100%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
03 石垣市	6 ④	児童生徒の自律支援事業	H24 ～ R13	自己肯定感の向上や自律的学習習慣の定着を図るため、子ども自律サポーターを配置する。	・自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童36%以上、生徒30%以上 ・課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合:児童30%以上、生徒30%以上 ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童35%以上、生徒20%以上	・自分にはよいところがあると思う(自己肯定感)との回答割合:児童45.5%、生徒38.0% ・課題の解決に向けて自ら考え、自ら取り組んでいるとの回答割合:児童38.85%、生徒27.0% ・家庭で計画を立てて勉強しているとの回答割合:児童37.4%、生徒17.9%以上	○
03 石垣市	6 ⑤	外国語学習支援事業	H24 ～ R13	英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する:67%	○
03 石垣市	6 ⑥	情報教育充実事業	H24 ～ R13	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	・アンケート結果:94%	◎
03 石垣市	6 ⑦	専門人材育成事業	H28 ～ R13	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・小学校での教員採用試験合格者数:7人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数:8人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・小学校での教員採用試験合格者数:5人 ・中学校での教員採用試験合格者数:5人 ・アンケート結果:85%	○
03 石垣市	6 ⑨	スポーツ教室・交流事業	H31 ～ R13	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。また、スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野を広げるため、県外市町村とのスポーツ交流を実施する。	①スポーツ教室等を通じて幼児、児童がこれからもスポーツを継続したい(80%以上)を含め、参加した幼児、児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②スポーツ交流等を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、参加した本市児童生徒の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	①アンケート結果:100% ②アンケート結果:100%	◎
03 石垣市	6 ⑪	不登校対策等支援員配置事業	H30 ～ R13	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・不登校率の減少:0.3%以上	・不登校率の減少 :対象合計1.78%増 対象小学校計0.41%増 対象中学校計4.39%増	未
03 石垣市	6 ⑫	子ども若者総合相談支援事業	H31 ～ R13	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・本事業で支援を受けた者の数:47名以上 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:46%以上	・本事業で支援を受けた者の数:53名 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:56.6%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
04 浦添市	1	ひとり親世帯等放課後児童クラブ費支援事業	R4 ～ R13	放課後児童クラブがひとり親世帯の利用者に対し保育料を減免した場合に補助を行う。沖縄県の利用料減免事業の市負担分(1/4)を市の一括交付金にて賄う。	ひとり親世帯への放課後児童クラブ費の減免についてアンケートを取り負担軽減や就労支援につながっているか確認する。	ひとり親世帯への放課後児童クラブ費の減免についてのアンケートで負担軽減や就労支援につながっているとの回答:93.4%	◎
04 浦添市	2	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ～ R13	観光地としての魅力向上及び地域の文化継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種取組みを行う。	①景観計画委託業務の完了 ②補助工事8件(年間) 赤瓦葺き工事:3件 石積み・石張り工事:2件 生垣等の工事:2件 ③地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援 歴史ガイド参加者(300人/1年)	①景観計画委託業務の完了 ②補助工事:5件/7件 ③地域の歴史や文化に対する興味が湧いたかアンケート結果:90%/80%以上 ④歴史ガイド参加者(639人/1年)	○
04 浦添市	3	島桑産業拡大支援事業	R4 ～ R8	沖縄県の在来品種であるシマグワが持つ機能性等を研究機関と共同研究することで、科学的エビデンスを構築し、地域産業の付加価値を向上させる。	研究成果及び学会発表等 4課題	研究成果及び学会発表等:4件	◎
04 浦添市	4	浦添観光振興事業	H29 ～ R6	本市へ観光客を誘客するため、継続した本市PR及び効率的な情報発信をおこなう。また、東京ヤクルトスワローズの春季キャンプ地であることを活用したファン誘客事業、市内滞在・周遊促進事業を実施し、観光による市内経済活性化を図る。	①ポータルサイト訪問者数:700,000人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客:37,000人	①ポータルサイト訪問者数:402,170人/700,000人 ②プロ野球春季キャンプファン誘客:35,697人/37,000人	○
04 浦添市	5	国際海上物流ネットワーク形成促進支援事業	H24 ～ R13	割高な海上輸送コストの低減に向け、東南アジアと日本本土を中継する国際競争力の高い物流ネットワークの形成を促すため、港湾管理者が実施する貨物増大による物流コスト低減及び航路拡充を図る実証事業を行う。	1-1. 那覇港に寄港する外航航路の拡充(2航路増R4) 1-2. 実証実験における取扱貨物量の増加(R3最大156TEU/寄港→R4計画355TEU/寄港)	1-1. 那覇港に寄港する外航航路の拡充 継続1航路/2航路増 1-2. 実証実験における取扱貨物量の増加 (実績197TEU/寄港:計画355TEU/寄港)	未
04 浦添市	6	未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R13	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動に全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な費用の一部を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者及び児童生徒に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか、保護者及び児童生徒に対するアンケートの実施結果:99%	◎
04 浦添市	7	自然体験学習事業	H24 ～ R13	協働的な学びを通じて、よりよい人間関係を築く力を育むため、自然豊かな環境で、集団宿泊活動を実施する。	自然体験教室を通して、児童のよりよい人間関係を築く力(協調性・協働的な態度)が向上したと評価する学校の割合 90%以上	自然体験教室を通して、児童のよりよい人間関係を築く力(協調性・協働的な態度)が向上したと評価する学校の割合 93%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
04 浦添市	8	学力底上げ推進支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 +0.2ポイント以上 ・中学校:数学 +0.2ポイント以上	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校:算数 -0.2ポイント ・中学校:数学 -2.2ポイント	未
04 浦添市	9	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R13	課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各種相談員、支援員を配置し学校復帰や不登校未然防止を図る。また、適応指導教室に適応指導員を配置し、個々の状況に応じた学習活動や体験活動等の支援活動を行う。	●不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校:26.5%以下 中学校:22.4%以下	●不登校児童生徒の内、相談・指導等を受けていない子の割合を低減 小学校:11.9% 中学校:6.5%	◎
04 浦添市	10	青少年巡回指導員事業	H26 ～ R13	青少年巡回指導員5名を配置し、青色回転車両にて市内巡回による見回りを行い、青少年の安心・安全な登下校を支援するとともに、不登校児童生徒の登校支援や環境浄化を図る。	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:21.5%以下 中学校目標:23.7%以下 ・毎月第2木曜日「朝のあいさつ運動」の実施 ・毎月第3金曜日の「夜間街頭指導」への参加	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:未確定 中学校目標:未確定 ・毎月第2木曜日「朝のあいさつ運動」の実施(実績8回/目標12回) ・毎月第3金曜日の「夜間街頭指導」への参加(実績11回/目標12回)	未
04 浦添市	11	こどもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R9	学校教育の質の向上を図るため、市立の小中学校ICT機器を整備する。	①児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合(90%以上) ②学力向上推進に係る児童生徒の実態調査における思考力・判断力・表現力の向上を示す項目の割合(80%以上)	児童生徒へアンケート調査を実施し、「ICT機器を活用した授業がわかりやすかった」と答えた割合:96% 学力向上推進に係る児童生徒の実態調査における思考力・判断力・表現力の向上を示す項目の割合:72%	◎
04 浦添市	12	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	戦前戦後を通して南米へ移住した浦添出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添市出身者子弟を第7回世界のウチナーンチュ大会に合わせて招聘し、同大会を通じて自身のルーツへの認識を深め、他国間、地域との交流により地域の国際化及び各国の浦添出身者と本市及び地域とをつなぐ役割を担う。	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティーが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したいと答えた研修生の割合:90%以上 研修生の報告を聞き、沖縄の文化を継承していきたいと感じた人の割合:80%	研修を受けた結果、①沖縄アイデンティティーが高まった②これまで以上に沖縄文化の継承に寄与したいと答えた研修生の割合:100% 研修生の報告を聞き、沖縄の文化を継承していきたいと感じた人の割合:アンケート未実施	△
04 浦添市	13	浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R13	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか、保護者へのアンケート実施結果:100%。	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
04 浦添市	14	浦添市特定駐留軍用地等内土地取得事業	H27 ～ R13	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。	【R4成果目標】 特定事業の用に供する土地取得目標約 4,600㎡ (達成率58.0%) H28～R3までの累計取得面積169,411㎡ ※達成率:先行取得目標累計面積(300,000㎡) に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得約4,346㎡	○
04 浦添市	15	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」事業	H24 ～ R12	観光誘客及び地域住民の健康意識の向上を図るため、ウォーキングイベント「てだこウォーク」を開催する。	市外からの参加者:3,430名 市内からの参加者:4,030名	市外からの参加者:2,951名 市内からの参加者:3,401名	○
04 浦添市	16	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	H31 ～ R6	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所等に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	整備した備蓄食料及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	整備した備蓄食料及び備品等を活用した防災訓練の実施(0回/年)	未
05 名護市	1	① 学習指導支援者配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学校 -3.0以内 ②中学校 -3.0以内	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) ①小学校 -2.4 ②中学校 -6.4	△
05 名護市	1	② 生徒指導支援者配置事業	H24 ～ R13	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 15%	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 9%	未
05 名護市	1	③ 小中学校英語支援員配置事業	H24 ～ R13	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:正答率82% ・小学校6年生:正答率82% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	①学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:実施なし ・小学校6年生:正答率81.6% ②沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3.4ポイント	未
05 名護市	1	④ 中学生海外短期留学派遣事業	H24 ～ R13	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期留学派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	保護者へのアンケートで、帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったと感じた割合:100%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
05 名護市	1 ⑤	適応指導教室支援員配置事業	H24 ～ R13	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合7% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合65%	①適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合80% ②適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合100%	◎
05 名護市	1 ⑥	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24 ～ R13	小・中学校の児童生徒や高等学校及び高等専門学校の生徒が各種大会参加による県外児童生徒等との競争・交流を通じ児童生徒の成長につなげるため、県外等で開催される各種大会へ参加する際の派遣費用を補助し、参加を支援する。	補助を受け各種大会へ参加した児童生徒の保護者に対するアンケート回答にて、「児童生徒が成長につながる機会が得られたと感じるか」の項目で80%以上。	アンケート結果:99%	◎
05 名護市	1 ⑦	特別支援教育支援者配置事業	R4 ～ R13	特別支援教育支援者を配置し、特別に支援を要する児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	特別支援教育支援者配置事業に対する満足度についてのアンケートで、大多数が満足していると考えられる割合95%以上	アンケート結果:94.4%	○
05 名護市	2 ①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R6	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PR イベント「名護スペシャルデー」を開催する。	プロ野球キャンプ時における見学者数 28,950人以上	プロ野球キャンプ時における見学者数 22,552人	○
05 名護市	2 ②	名護市観光プロモーション推進事業	R3 ～ R7	本市への関係人口増加に繋げるため、観光プロモーションを実施する。市民や関係機関と連携・協働して戦略的に情報発信を行い、本市の観光資源の認知度向上を図る。	・アンケートによる認知度向上80%以上	アンケート結果:96.0%	◎
05 名護市	2 ③	名護市地域商業グロウアップ支援事業	H31 ～ R6	様々な社会情勢の変化に対応できる、新商品の開発、既存商品の高付加価値化や新たな販売システムを構築することにより、販路拡大及び売上増加を図る。	・商品開発数 (新商品、高付加価値化商品):3品 ・ふるさと納税返礼品登録数:3品	・商品開発数 (新商品、高付加価値化商品):3品 ・ふるさと納税返礼品登録数:0品	△
05 名護市	2 ④	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業	R3 ～ R5	令和2年度に策定した名護湾沿岸基本計画(21世紀の森及び名護漁港エリア活性化事業)をもとに、「21世紀の森公園周辺エリア」の取組として、名護湾沿岸の資源を活かした魅力向上に向けて、構成する各施設を整備し活性化を図る。	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等の完了	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアルサウンディングの実施、公募指針公表・官民対話等の完了	◎
05 名護市	2 ⑤	名護市武道場整備事業	R3 ～ R6	大会誘致等スポーツコンベンションに寄与する目的で武道場を整備する。今年度は基本設計を行う。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
05 名護市	2 ⑥	名護市スポーツパーク基本計画策定業務	R4～R4	アーバンスポーツ活動拠点としてのスポーツパーク整備(スケートボード場、3x3コート等)に向け、施設の建設候補地、整備計画及び管理・運営計画等の基本的な考え方を定めた「名護市スポーツパーク基本計画」を策定する。	基本計画策定業務の完了	基本計画策定業務の完了	◎
05 名護市	2 ⑦	名護市21世紀の森体育館機能強化事業	R4～R6	大会・合宿誘致件数の増加等スポーツコンベンションに寄与する目的で大型空調を整備し、21世紀の森体育館の機能強化を図る。今年度は基本計画を策定する。	基本計画の完了	-	繰
05 名護市	3	名護市テレワーク人材育成事業	R3～R4	在宅でも可能な市民の新たな収入源確保に繋げ、多様な働き方で環境の変化に対応できる強い地域経済の構築を図るため、テレワーカーの人材育成と就労支援を継続実施する。	・テレワーカー50名の育成 ・高難度業務研修終了者10%	・テレワーカー63名の育成 ・高難度業務研修終了者15.9%	◎
05 名護市	4 ①	優良繁殖雌牛導入事業	H27～R8	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合12%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合109%	○
05 名護市	4 ②	名護市畜産(山羊)振興拠点基本計画策定事業	R4～R4	本市で飼養が盛んな山羊の流通強化及び消費拡大を図るための拠点形成に向けた基本計画を策定する。	名護市畜産(山羊)振興拠点基本計画の策定の完了	名護市畜産(山羊)振興拠点基本計画の策定の完了	◎
05 名護市	4 ③	名護市農林水産振興計画策定事業	R4～R4	市農林水産業の魅力や優位性を活かした振興の実現のために総合的かつ計画的な方針を示す振興計画を整備する。	振興計画の策定完了	振興計画の策定完了	◎
05 名護市	5 ①	救命処置普及強化支援事業	H27～R6	急病、事故及び災害等により市民及び観光客が負傷した際の救命体制を確保するために、救命講習会を実施する。また、市内全てのコンビニエンスストアへのAED設置をする。	・救急救命士等の資格を持つ会計年度職員員の採用・・・3名 ・各種講習のアンケートにおいて「不安だができる」と「できる」と回答した割合が80%以上 ・まちかど救急ステーションの認定(更新)・・・3件(3件) ・コンビニエンスストアへのAED設置・・・前年度開店した5店舗への設置	・救急救命士等の資格を持つ会計年度職員員の採用:3名 ・アンケート結果:99.6% ・まちかど救急ステーションの認定(更新):認定2件(更新3件) ・コンビニエンスストアへのAED設置:前年度開店した5店舗へ設置	○
05 名護市	5 ②	ハブ等対策事業	H27～R13	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数:0件	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
05 名護市	5 ③	環境再生・活用整備事業	H29 ～ R7	喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場として活用する河川に整備する。	・河川整備工事の完了	-	繰
05 名護市	6	スポーツ力向上促進事業	H31 ～ R13	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	①スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ②講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	①アンケート結果:92.7% ②アンケート結果:92.3%	◎
05 名護市	7	名護市交通不便地域における公共交通実証実験事業	R1 ～ R4	利用可能な公共交通機関に限られており、自家用車中心の交通移動手段にならざるを得ない、二見以北地域及び名護市街地の一部のエリアにおいて、持続可能で安定した公共交通の導入を目指し、コミュニティバスの本格運行に向けた検証を行う。	・コミュニティバス実証実験の実施 ・地域公共交通協議会の開催 ・実証実験の評価	・コミュニティバス実証実験の実施 ・地域公共交通協議会の開催 ・実証実験の評価	◎
05 名護市	8	多世代交流施設整備基本計画策定業務	R3 ～ R4	子どもや子育て家庭に対する支援を強化するため、子どもの健やかな育ちを地域で見守り、子育て家庭の相談窓口として切れ目のない支援が行え、子どもから高齢者までの多世代が集うことができる機能等を備えた多世代交流施設を整備するための基本計画及び基本設計を策定する。	基本設計の策定完了	基本設計の策定完了	◎
05 名護市	9	21世紀の森公園周辺エリア魅力向上推進事業	R4 ～ R6	これまでに策定してきた21世紀の森公園周辺エリアを含めた構想である「名護湾沿岸基本構想・基本計画」に基づく取組として、同エリアが市民と来訪者で賑わう空間として、魅力ある観光の目的地となる為の必要機能を精査し、具体的な整備計画を策定する。	基本計画・基本設計の策定完了	基本計画・基本設計の策定完了	◎
05 名護市	10	(仮称)名護市総合交通ターミナル整備基本計画策定事業	R4 ～ R4	名護湾沿岸(名護漁港周辺エリア)実施計画で示された交通結節点の整備に向けて、総合交通ターミナル整備基本計画を策定する。	名護市総合交通ターミナル(仮称)整備基本計画の策定	名護市総合交通ターミナル(仮称)整備基本計画の策定完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
05 名護市	11	名護自然動植物公園機能強化事業	R4 ～ R7	名護自然動植物公園は、動植物と直接触れ合える自然共生型動植物園である。令和3年7月に沖縄島北部が世界自然遺産に登録され、世界的にも注目されていることやアフターコロナを見据え、観光客の取り込み拡大及び滞在時間の伸長による観光振興を図る。	・名護自然動植物公園基本計画完了	・名護自然動植物公園基本計画完了	◎
06 糸満市	1	① 沖縄らしい風景づくり事業	H24 ～ R8	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・助成金による景観形成整備の完了(8件) ・令和5年度以降の整備箇所の設定	・景観形成整備:3件 ・設定完了	△
06 糸満市	2	① 観光地危険生物駆除事業	H25 ～ R13	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	市内における観光客の年間ハブ咬傷被害2件以内	・咬傷被害2件	◎
06 糸満市	2	② 糸満イベント推進事業	H24 ～ R13	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、糸満ふるさと祭りへの支援を行う。	糸満ふるさと祭り ・来場者数:10,000人	・来場者数:9,000人	○
06 糸満市	2	③ 観光地公園環境美化強化事業	R4 ～ R13	観光地及びスポーツ観光の一層の充実を図るため、公園の環境美化清掃を行う。	観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:85%	◎
06 糸満市	3	① 確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R13	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	県学力到達度調査の県との差 小学校算数 0% 中学校数学 -1%	県学力到達度調査の県との差 小学校算数 -0.3% 中学校数学 -0.2%	△
06 糸満市	3	② 英語指導事業	H24 ～ R13	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-1%	・アンケート結果:100% ・県学力到達度調査の県との差 中学校英語 -0.3%	◎
06 糸満市	3	③ 適応指導教室設置事業	H25 ～ R13	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援及び教育相談を実施する。	復帰率:35%(適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率)	復帰率:64%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
06 糸満市	3 ④	障害児学習環境づくり事業(小中学校)	H24 ～ R13	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒の学校生活の安全面を支援する為、特別支援教育支援員を各学校へ配置する。また、学校・関係機関の多方面の支援、連携強化を図る為、特別支援教育指導コーディネーターを派遣する。	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・アンケート結果:100%	◎
06 糸満市	3 ⑤	障害児学習環境づくり事業(こども園)	H30 ～ R13	発達障害を含む様々な障害を持つ児童に支援ヘルパーを配置し、身辺介助や安全面・生活面での支援を行う。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度100%を成果目標とする。	・アンケート結果:100%	◎
06 糸満市	3 ⑥	情報教育環境づくり事業	H25 ～ R13	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用した分かりやすい授業の実現し、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・学校職員 情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	・アンケート結果:90.8% ・アンケート結果:99.1%	◎
06 糸満市	3 ⑦	糸満市小中学校ICT教育強化環境整備事業(電子黒板購入)	R4 ～ R4	特別支援教室の増加、特別教室(音楽・理科教室等)のICT教育に対応する為、不足している電子黒板を購入する。	・児童生徒にアンケート調査を実施し、特別支援教室、特別教室でICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)	・アンケート結果:90.8%	◎
06 糸満市	4 ①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R8	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・合宿誘致件数13件 ・プロ野球や社会人野球キャンプの誘致。	・合宿誘致件数:8件 ・新規チーム誘致	○
06 糸満市	5 ①	母子生活支援事業	H29 ～ R13	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・支援終了者のうち自立につながった割合100% ・就労率100%	・支援終了者のうち自立につながった割合100% ・就労率100%	◎
06 糸満市	6 ①	地場産品販路拡大事業	H24 ～ R8	市内事業者等の販路拡大を目的として、県内外の商社及び販売事業者に向けた物産展を県内及び姉妹都市・友好都市・大都市圏等において開催する。	・海外向けパッケージデザインなど販促活動を支援する講習の開催 4回以上 ・物産展の開催 4回 ・糸満フェアの開催 1回 ・糸満フェアの来場者 20,000人	・物産展の開催 10回 ・糸満フェアの開催 1回 ・糸満フェアの来場者 22,800人	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
06 糸満市	7 ①	水難救助車整備事業	R4 ～ R4	水難事故出動指令受理後、迅速な救助活動を実施することを目的として、水難救助車を整備し、これに伴い、各種水難救助資機材を装備するとともに、車両内で潜水隊員がウエットスーツに着替えるスペースを確保することで、現場到着後に迅速な救助活動ができる体制を整える。	水難救助車等整備 1台	-	繰
06 糸満市	8 ①	省エネ設備化推進事業	H24 ～ R6	環境にやさしい(CO2削減)取り組みを進めるため、公共施設に省エネ対応器具を導入する。	遊歩道のLED化工事の設計完成 中央図書館の空調設備取替工事の完了	-	繰
07 沖縄市	1 ①	新商品開発等支援事業	R4 ～ R13	市内事業者の収益の向上を図るため、商品開発研修や新商品開発のハンズオン支援、バイヤーを招へいた商談会等、新商品開発を行う事業者を総合的に支援する。	新商品開発数(10商品)	新商品開発数:28商品	◎
07 沖縄市	1 ②	音楽資源活用事業	H24 ～ R13	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	観光客来館者数:790人 動画視聴数:3,140回	観光客来館者数:5,129人 動画視聴数:4,733回	◎
07 沖縄市	1 ③	音楽観光誘客事業	H24 ～ R13	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:54,050人	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:40,866人	○
07 沖縄市	1 ④	文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R13	文化の振興及び観光誘客の拡大に向け、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活用拠点施設の設備の機能充実を図る。	・沖縄市民会館等耐震改修及び大規模改修工事 トイレ増築に係る追加設計業務委託の完了	沖縄市民会館等耐震改修及び大規模改修工事 トイレ増築に係る追加設計業務委託の完了	◎
07 沖縄市	1 ⑤	国際交流事業	H24 ～ R13	多国籍相談窓口を開設し、ショートステイをしている外国人観光客等の生活上等の困難の改善を図る。 また、市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	来所者数5,600人	来所者数:4,079人	○
07 沖縄市	1 ⑥	エイサーのまち推進事業	H24 ～ R13	エイサーのPRや振興等を通して、エイサーの保存継承や観光客の誘客拡大を図る。	・エイサー会館来場者数:20,600人	・エイサー会館来場者数:22,234人	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	1 ⑦	観光宣伝事業	H24 ～ R13	国内外での観光PR活動を実施することで、本市の認知度向上及び誘客拡大を促進するとともに、滞在型観光の推進を図る。	・主要ホテル宿泊延べ人数:162,888人	・主要ホテル宿泊延べ人数:182,667人	◎
07 沖縄市	1 ⑧	文化芸能推進事業	H25 ～ R13	沖縄県で令和4年度に開催される「美ら島おきなわ文化祭2022」等を始めとする、文化芸能の推進に係る事業について全体コーディネートをを行う。	イベント参加者数 3,000人	イベント参加者数 2,939人	○
07 沖縄市	1 ⑨	観光統計調査事業	H30 ～ R13	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、効果的な観光宣伝に繋げる。	・観光入込統計調査・分析による実態把握 ・観光関連団体等との情報共有及び地域との連携強化	・観光入込統計調査・分析による実態把握:完了 ・観光関連団体等との情報共有及び地域との連携強化:完了	◎
07 沖縄市	2 ①	スポーツコンベンション推進事業	H24 ～ R13	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致によるスポーツ合宿宿泊者数の増加や、プロスポーツ団体等のPR活動・交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。また、スポーツコンベンションシティの推進に向け、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催の機運醸成やアーバンスポーツに関連するイベントの開催とともに、アーバンスポーツパーク整備に係る調査等を実施する。	・スポーツ合宿延べ宿泊者数 13,493人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 155,340人 ・FIBAアジア地区予選大会 来場者数 8,000人/回 ・アーバンスポーツイベント来場者数4,000人	ー	繰
07 沖縄市	2 ②	モータースポーツ推進事業	H27 ～ R13	モータースポーツ振興イベントを開催し、モータースポーツ愛好家等の観光誘客を図るとともに、モータースポーツの聖地化に向けた取組を推進する。	・イベント来場者数:42,000人	・イベント来場者数:20,000人	未
07 沖縄市	3 ①	緑化景観推進事業	H30 ～ R5	沖縄市の玄関口である南インター前に四季折々の植物を配置することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:87.9%	◎
07 沖縄市	3 ②	リュウキュウマツ保全事業	R4 ～ R13	沖縄独自の景観を保全するため、在来種であるリュウキュウマツの幹に薬剤を注入し、松くい虫による枯死被害を防止する。	薬剤を注入した約120本のマツのうち、約116本(97%)の枯死被害を防止	枯死被害防止:100%	◎
07 沖縄市	4 ①	こども科学力育成事業	H24 ～ R13	こどもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度95%以上)	アンケート結果:97.9%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	4 ②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R13	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等を配置することにより、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	・全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校:国との差±1ポイント以内を目指す。 中学校:国との差-5ポイント以内を目指す。	・全国学力調査において、国と本市との平均正答率の差 小学校:国との差:-4.9ポイント 中学校:国との差:-7.7ポイント	未
07 沖縄市	4 ③	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ～ R13	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	・特別支援教育について、対象となる園児・児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 85%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率 30%以上	・アンケート結果:82.7% ・不登校児童生徒登校復帰率:17.2%	○
07 沖縄市	4 ④	青少年等支援事業	H25 ～ R13	巡回指導、相談、支援を行い、青少年等の健全育成を図る。	①午前・午後巡回指導件数 前年度比 17.2%減 ②夜間・合同街頭指導件数 前年度比 16.8%減 ③若者の主訴改善件数 31.6%増	①午前・午後巡回指導件数:前年度比34.6%増 ②夜間・合同街頭指導件数:前年度比52.3%増 ③若者の主訴改善件数:前年度比36%増	◎
07 沖縄市	4 ⑤	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ R13	国際的な広い視野を持った人材を育成するため、市内中学校の生徒を対象にホームステイ活動を支援し、異文化交流体験をとおして、国際理解教育を推進する。また、事前・事後学習を行うことで個々の目標や理解を深める。	・保護者へのアンケートで、プログラム終了後、生徒の国際的な視野が広まったと感じた割合90%以上	アンケート結果:90%	◎
07 沖縄市	4 ⑥	学校ICT活用支援事業	R4 ～ R13	児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員を学校へ派遣し、授業等においてICT(校務用PC、教育用PC、電子黒板、デジタル教材など)が効果的に活用されるよう支援する。	授業にICTを活用して指導できる割合:80%以上 ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:80%以上	授業にICTを活用して指導できる割合:87% ICT活用により、授業がわかりやすかったと答えた児童生徒の割合:94%	◎
07 沖縄市	4 ⑦	生活困窮者学習支援事業	R4 ～ R13	高校進学を促進し貧困の世代間連鎖を防ぐため、被保護世帯の中学1・2年生に対し、学習支援を行い、基礎学力や学習意欲の向上を図る。	①学習教室への出席率:85%以上 ②通学生徒の学力テスト点数増加率:10% ③通学生徒の高校進学率:95%以上	①学習教室への出席率:86% ②通学生徒の学力テストの点数増加率:19% ③通学生徒の高校進学率:100%	◎
07 沖縄市	4 ⑧	博物館機能強化事業	R4 ～ R6	社会教育拠点である市立郷土博物館の機能強化により、人材の育成を図る。	基本計画の策定完了	-	繰
07 沖縄市	5 ①	就労等支援事業	H24 ～ R13	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種講座等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。	・就職決定者割合18.2% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・就職決定者割合:33.5% ・アンケート結果:88%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	5 ②	産業集積推進事業	R2 ～ R7	創業ワンストップ相談窓口や創業スクールにおける創業支援、投資家や金融機関との面談機会を設ける等、スタートアップ支援を行うことにより、関係人口を増加させながら、企業誘致に取り組み、質の高い雇用の創出や市民所得の向上を図る。また、本市の社会情勢、取り巻く環境の変化に対応するため、企業誘致及び雇用施策の現状、課題を踏まえた効果的な施策の実施を検討する。	創業スクール卒業生:15名以上 創業者数:20名 スタートアップ支援団体数:5団体	創業スクール卒業生:22名 創業者数:58名 スタートアップ支援団体数:13団体	◎
07 沖縄市	6 ①	地域防災対策事業	H24 ～ R13	地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成促進や災害用備蓄の確保、防災倉庫の整備を行う。	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ※防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする(32回)。	防災訓練の回数:18回(32団体中18団体)	未
07 沖縄市	7 ①	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R4 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用計画(素案)の作成を行う。	跡地利用計画(素案)の作成	跡地利用計画(素案):作成	◎
07 沖縄市	8 ①	東部海浜地区開発事業	H25 ～ R13	東部海浜地区の認知度向上を図り、同地区の利活用が円滑に行われることを目的に、市民や県民等に対して東部海浜地区開発事業のPRを行うとともに、防災計画の策定、人工ビーチ運営等の調査、土地処分の検討、事業アドバイザー業務を行う。また、効果的に東部海浜地区への企業誘致を図るため、県外企業にヒアリングを行い公募条件等の整理を行う。	①公募条件整理に向けたヒアリング(サウンディング)の実施9回(36社) ②来場者等へのアンケートによる認知度(65%以上)向上を含め、本事業のあり方について検証する。 ③防災計画策定業務実施 ④人工ビーチ運営等調査業務実施 ⑤土地処分検討業務実施 ⑥広報資料作成業務実施 ⑦事業アドバイザー業務実施	①公募条件整理に向けたヒアリング(サウンディング)の実施:2回(10社) ②アンケート結果:57% ③防災計画策定業務:1件策定 ④人工ビーチ運営等調査業務:1件実施 ⑤土地処分検討業務:1件実施 ⑥事業アドバイザー業務:1件実施	○
07 沖縄市	9 ①	平和推進事業	H30 ～ R13	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行うとともに、沖縄戦への理解を深め、平和を発信する。	①視聴者数 500人 ②視聴者数 120人(配信4ヶ月後の目標値)	①視聴者数:834人 ②視聴者数:268人	◎
07 沖縄市	10 ①	商店街等活性化事業	R1 ～ R13	令和元年度に実施した調査等を基に、課題を整理し銀天街地域のコミュニティ形成に取り組むことの出来る人材を育成するとともに、誘客効果のあるイベントの企画運営によりにぎわいを創出することで、地域の魅力を高める。	営業店舗増加数(1件)	営業店舗増加数:0件	未
07 沖縄市	11 ①	沖縄こどもの国推進事業	H30 ～ R8	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国への誘客促進のため、沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画を策定する。	沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画策定等業務の完了	沖縄こどもの国第2次ソフト関連実施計画策定等業務:完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	12 ①	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R8	沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実を図る。	年間目標入園者数 70万人	-	繰
08 豊見城市	1 ②	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R13	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹木の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたかを含め、アンケート実施結果:79%	○
08 豊見城市	1 ③	瀬長島環境美化強化事業	R4 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている広場等の環境美化作業を行う。	来島者に対し、観光地としてふさわしい景観形成とを感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	来島者に対し、観光地としてふさわしい景観形成とを感じるかを含め、アンケート実施結果:84%	○
08 豊見城市	1 ④	オリオンECO美らSUNビーチ観光整備事業	R4 ～ R5	豊崎美らSUNビーチにて遊泳エリア等の環境改善を図ることを目的に、航路浚渫の設計業務を行う。	設計業務(航路浚渫)の完了	設計業務(航路浚渫)の完了	◎
08 豊見城市	1 ⑤	豊見城市観光PR事業	R4 ～ R4	首都圏及び地方大都市で、駅構内での物産展やトレインジャック広告、特産品の配布、本市に関連するノベルティの配布等を行い、豊見城市の更なる認知度向上を図る。	実施場所における来場者数 札幌 5,000名以上 大阪 5,000名以上 首都圏 7,500名以上	実施場所における来場者数 札幌 1,226名 大阪 2,540名 首都圏 5,343名	△
08 豊見城市	2 ①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R13	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士、学校教員を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し巡回相談・支援を行う。	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたかを含め、保護者・保育士へのアンケート実施結果 保護者:84.4%、保育士:78.3%	○
08 豊見城市	2 ②	放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ～ R13	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全な環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたかを含め、対象となる児童の保護者へのアンケート実施結果:95.5%	○
08 豊見城市	2 ③	障害児保育事業	R4 ～ R13	支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。	・加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・加配保育士の配置割合 市内障害児(対象児)に必要な加配保育士等の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)	・加配保育士の対応への満足度を含め、対象となる児童保護者へのアンケート実施結果:97% ・加配保育士の配置割合 市内障害児(対象児)に必要な加配保育士等の人数に対する実際に配置できた人数:86.67%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	3 ①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	特別な支援を必要とする児童生徒に対し教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置による対応満足度(80%以上)と今後の事業のあり方について保護者アンケートを実施する。	特別支援教育支援員の配置による対応満足度と今後の事業のあり方についてのアンケート実施結果:80%	◎
08 豊見城市	3 ②	学力向上サポート事業	H24 ～ R13	小中学校において担任教諭の授業補助を行い、個に応じたきめ細かい支援を行うため、学力向上推進補助員を配置し、学力向上へと繋げる。	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校: +2.8ポイント以上 ②中学校: +0.0ポイント以上	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校: +2.5ポイント ②中学校: +0.5ポイント	△
08 豊見城市	3 ③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R13	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善のため関係機関とのネットワーク構築を図るためスクールソーシャルワーカーを配置し、環境改善に向けた支援を行う。	支援対象ケース改善率: 48.4%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	支援対象ケース改善率: 70.6% (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	◎
08 豊見城市	3 ④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R13	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談、学習支援など適切な指導を行い学校復帰や社会的自立に向けて支援を行う。	不登校児童生徒復帰率: 20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	不登校児童生徒復帰率: 15.08% (学校復帰人数/新規不登校者数)	○
08 豊見城市	3 ⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R13	グローバルな社会情勢の変化に適応していく上で重要な素養と基礎知識を身に付けるため、中学校に外国人英語講師を配置し、小学校に日本人英語講師を派遣する。	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+0.0ポイント以上	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合:84.80% 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差-1.1ポイント	△
08 豊見城市	3 ⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R13	わかりやすい授業による児童生徒の学力向上と情報活用能力の育成を図るため、ICT機器の追加整備及び情報教育指導補助員を派遣し、ICT機器を活用した授業を支援する。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったかについてのアンケート実施結果:88.26% ②ICTを活用した授業が分かりやすかったか、児童生徒へのアンケート実施結果:92.18%	◎
08 豊見城市	3 ⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R13	本市生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケート実施結果:100%	◎
08 豊見城市	3 ⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R13	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	補助対象者の視野が広がったかを含め、児童生徒へのアンケート実施結果:99.61%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	3 ⑨	青少年国際交流事業	H25 ～ R13	市内中学生から選ばれた青少年リーダーが海外(ハワイ州)との交流を通して、国際的視野を広め、能力の向上に取り組むことで、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図る。	事業実施後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	事業実施後、将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したいかについての団員へのアンケート実施結果:67%	未
08 豊見城市	3 ⑩	お仕事体験事業	H30 ～ R13	豊見城市在住の小中学生を対象に、将来の職業観を育むため、仕事の疑似体験ができるイベントを実施する。	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	就業意識が向上したかを含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケート実施結果:99%	◎
08 豊見城市	4 ①	デジタル博物館事業	R2 ～ R11	地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報を電子化・コンテンツ作成・集約・整理・連携を図り、公開・普及啓発を行う。	webサイトアクセス数 60,000回/年 地域資料共有報告書発行種類 5種類	webサイトアクセス数 64,137回/年 地域資料共有報告書発行種類 5種類	◎
08 豊見城市	4 ②	歴史・文化企画展開催事業	R4 ～ R4	市民や観光客等に、豊見城市の歴史・文化に理解・関心を深めてもらうため、終戦から現在までを中心とした企画展を開催する。	企画展1回あたりの来場者数 683人	企画展1回あたりの来場者数:253.5人	未
08 豊見城市	4 ③	組踊学校鑑賞事業	R4 ～ R4	組踊を小学校4校で上演し、自己の生まれ育った郷土文化に触れることで、子供たちに郷土文化への誇りと愛着を深めさせ、沖縄の伝統芸能の最高峰である「組踊」の継承と普及に取り組む。	市内4小学校の対象児童数 延べ835名(高学年対象)	市内4小学校の対象児童数:740名	○
08 豊見城市	5 ①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R13	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	サッカーキャンプ誘致件数:1件/年	未
08 豊見城市	5 ②	豊見城市民体育館機能強化事業	R4 ～ R4	豊見城市民体育館のトレーニング室増築や可動式の個室増設など、施設の機能強化を行い、ナショナルチームレベルの合宿や公式の国際試合開催などのスポーツコンベンションの誘致を促進し、観光振興を図る。	実施設計・監理業務、増改修工事、備品購入の完了	実施設計・監理業務、増改修工事、備品購入の完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	5 ③	低炭素社会構築事業(都市公園等省エネ設備導入促進事業)	R4 ~ R4	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、都市公園内の照明灯等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出を抑制する。	実施設計の完了 工事の完了	-	繰
08 豊見城市	6 ①	自主防災組織・自治会防災対策事業	R4 ~ R8	島しょ県という地理的要因により、災害時に県外からの物資供給や人的支援の遅れが想定されることから、市内を訪れる観光客分の備蓄食料を整備し、防災力の向上を図る。	観光客避難者向けの備蓄 ・R4年度備蓄食料 備蓄率100%	観光客避難者向けの備蓄 ・R4年度備蓄食料 備蓄率100%	◎
09 うるま市	1 ①	商品プロモーション事業	H25 ~ R13	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援を行うことで、市内中小企業等の販路拡大や売上の向上を図る。	・物産展の1事業者平均売上額80,400円以上 ・商談成立件数12件以上 ・参加事業者へのアンケートで商品開発等への参考となったか(80%以上)	・物産展の1事業者平均売上額:103,614円 ・商談成立件数:13件 ・アンケート結果:92%	◎
09 うるま市	1 ②	国際物流トライアル推進事業	H30 ~ R13	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る。	物流モデルの創出件数(3件以上)	物流モデルの創出件数:3件	◎
09 うるま市	1 ③	研究開発支援事業	H30 ~ R8	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる。	研究開発件数:4件	研究開発件数:5件	◎
09 うるま市	1 ④	うるま市石川地域まちづくり推進事業	R4 ~ R4	既存公共施設の有効活用、隣接自治体との産業連携・補完強化、教育機関との連携による発展可能性のある産業分野の導入可能性調査等を実施し、若年層をはじめとする就業・交流・にぎわい拠点となる石川地域のまちづくり実現に向けた計画を策定する。	うるま市石川地域まちづくり推進計画の策定完了	策定完了	◎
09 うるま市	1 ⑤	勝連・与那城地域まちづくり推進事業	R4 ~ R4	世界遺産「勝連城跡」や島しょ地域等の地域が有する歴史文化や伝統芸能、観光資源等のソフトパワーを基軸とした新たな観光産業の創出及び観光施策の展開を行うためのまちづくり計画を策定する。	勝連・与那城地域まちづくり推進計画の策定の完了	策定完了	◎
09 うるま市	1 ⑥	企業誘致推進事業	H24 ~ R8	うるま市内の産業集積地に企業誘致を図り、新たな産業の振興と雇用の創出を図る。	①開発事業者へのアプローチ:10件 ②ポータルサイトの完成 ③平安座地区における調査業務の完了	①開発事業者へのアプローチ:30件 ②ポータルサイト:完成 ③平安座地区における調査業務:完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
09 うるま市	2 ①	就労支援事業	H28 ～ R13	求職者等に対するきめ細かな就職支援を行い雇用の拡大につなげる。 また、市内学校の児童生徒に対しキャリア教育を実施し、勤労観や職業観の醸成を図る。	①就労支援を行った新規雇用者数255人以上 ②小中高生へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証 ③調査業務の完了及びうるま市就業促進アクションプランの策定。	①就労支援を行った新規雇用者数:164人 ②アンケート結果:88% ③調査業務:完了 うるま市就業促進アクションプラン:策定	○
09 うるま市	2 ②	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R13	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT、OFF-JT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。 また、テレワーク人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率90%以上(1年後) ・人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民135名	・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率:調査未実施 ・人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民81名	未
09 うるま市	2 ③	次世代ものづくり人材養成事業	R4 ～ R6	製造業関連の人材育成を行い、安定的な人材供給と付加価値の高い高度な技能を持った人材を養成することで、産業の振興を図る。	研修受講生へのヒアリングアンケートでの満足度等80%以上	アンケート結果:97%	◎
09 うるま市	3 ①	観光客誘客促進PR事業	R1 ～ R6	観光イベントの実施及び、県内外へメディアを活用したうるま市の観光PRを行う事で、観光客への認知度向上へ繋げ、滞在型観光の促進を図る。	・イベント来場者数5,000人以上 ・アンケート調査(満足度)70%以上	・イベント来場者数3,500人 ・アンケート調査(満足度):92%	○
09 うるま市	3 ②	第2次うるま市観光振興ビジョン改定事業	R4 ～ R4	現行計画である第2次観光振興ビジョンを社会情勢等を踏まえ改定し、継続的な観光振興を図る。	第2次観光振興ビジョンの改定完了	第2次観光振興ビジョンの改定完了	◎
09 うるま市	3 ③	共創型ワーケーション推進事業	R4 ～ R4	首都圏企業と地元企業及び行政との事業共創・地域課題解決のビジネスモデル化を促しワーケーションを取り巻く産業全体の振興を図る。	事業共創案件3件 ワーケーション等拠点施設整備可能性調査の完了	事業共創案件7件 ワーケーション等拠点施設整備可能性調査の完了	◎
09 うるま市	3 ④	うるま市島しょ地域振興事業	R4 ～ R6	過疎化や高齢化が進み、活動できる人材が不足する離島において、離島を支える産業振興体制の構築とコミュニティ経済の振興に向け、多様な人材の関わりにより産業振興・地域経済の活性化を図る。	・地域への滞在者(世帯)数15世帯 ・プロジェクト創出数5件	・地域への滞在者(世帯)数15世帯 ・プロジェクト創出数5件	◎
09 うるま市	3 ⑤	島人ベンチャースクール事業	R4 ～ R6	起業支援を行い、起業者を増やすことで、企業所得の増加及び雇用創出を目指す	起業者数5組 創業セミナー参加者数5組	起業者数0組 創業セミナー参加者数9組	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
09 うるま市	3 ⑥	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R7	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ・合宿件数 10件以上 ・整備機材(トラクター・エアレーター)の導入完了 ・防球ネット設置の完了 ・野球場機能強化に係る調査、計画の完了 ・陸上競技場機能強化に係る設計の完了 	-	繰
09 うるま市	3 ⑦	サイクルツーリズム推進事業	R2 ～ R6	サイクリングを目的とした観光誘客を図るため、受入環境の整備及び国内外向けプロモーションを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルルート上の環境整備の完了 ・メディア等を活用した観光誘客プロモーションの完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルルート上の環境整備:完了 ・メディア等を活用した観光誘客プロモーション:完了 	◎
09 うるま市	3 ⑧	島アートプロジェクト事業	H24 ～ R6	島の風景と融合した「アート」を活用した展示会やイベントを創出することで、島しょ地域における交流人口の拡大を図る。	イベント参加者:8,000人以上(開催日数10日以上) イベント参加者満足度:85%以上 イベント関係者満足度:85%以上	イベント参加者:5,453人以上(開催日数10日) イベント参加者満足度:93.2%以上 イベント関係者満足度:85.2%以上	○
09 うるま市	3 ⑨	モータースポーツ振興可能性調査事業	R4 ～ R6	モータースポーツの推進による観光産業の振興により、地域の活性化を図るため、本市におけるモータースポーツ振興の導入可能性について基礎調査を行う。	モータースポーツ振興可能性調査の完了	モータースポーツ振興可能性調査:完了	◎
09 うるま市	3 ⑩	石川多目的ドーム機能強化事業	R4 ～ R7	主に闘牛大会の会場として活用されている石川多目的ドームについて、様々なイベントが開催できる施設への機能強化を図り、年間を通じてイベントの開催が可能となる施設整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ビジョンの設置完了 ・土面保護材の設置完了 ・防風、雨除けネットの設置完了 ・LED電球の設置完了 	-	繰
09 うるま市	3 ⑪	「闘牛のまち・うるま」PR事業	R4 ～ R6	うるま市は、闘牛を伝統文化として保存・継承・活用し、観光・商工業を活性化することを目標に、令和元年に「闘牛のまち」宣言を行っている。当事業では「闘牛のまち」としてうるま市のイメージ形成、PR活動をし、地域一体となった闘牛のまちづくりを行う。	①冬季間の闘牛大会の観客動員数3,000人以上。 ②闘牛関連飲食・関連グッズ提供事業者 10社以上。	①3,460名 ※1月～3月平均入場者 ②5社	○
09 うるま市	3 ⑫	観光防災危機管理対策事業	R3 ～ R6	うるま市観光危機管理計画に基づき、継続的に観光危機管理対策を講じることににより、安全・安心・快適な観光地の形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会新規参加事業者数:8団体 ・訓練新規参加団体:3団体 ・翻訳機器類等の配備完了 ・大型LEDビジョンの設置完了 	-	繰
09 うるま市	3 ⑬	ロードパーク活性化プロジェクト	R4 ～ R6	うるま市の4台観光の一つである海中道路のほぼ中心に位置するロードパークの魅力創出と機能強化を図る。	活性化基本計画の策定完了	-	繰

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
09 うるま市	3 ⑭	勝連城跡を中心としたうるまの総合的魅カプロモーション事業	R4 ～ R5	勝連城跡を中心としたうるまの文化・観光・物産等の総合的魅カプロモーションを実施し、市内周遊滞在型の観光誘客を図る。	・事業実施のための会場確保 ・事業の企画内容およびプログラム決定 ・プロモーション活動の実施	・事業実施のための会場確保 ・事業の企画内容およびプログラム決定 ・プロモーション活動の実施	◎
09 うるま市	3 ⑮	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ～ R5	勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施すると共に、周辺環境の整備を行うことで、本市の観光シンボルとしての魅力向上を図る。	・勝連城跡周辺環境整備事業(樹木剪定)の完了	-	繰
09 うるま市	4 ①	津堅島農業活性化事業	R1 ～ R6	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行う。また、有人離島における農業経営に必要な堆肥等の円滑な供給を図るため、海上輸送費の一部を補助することで津堅島農業の活性化を図る。	津堅島農業支援業務の完了	津堅島農業支援業務:完了	◎
09 うるま市	4 ②	うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ～ R7	生産施設の整備及び農業用機械の導入に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	強化型パイプハウス設置及び農業用機械の導入の完了	強化型パイプハウス設置及び農業用機械の導入:完了	◎
09 うるま市	4 ③	病害虫防除資材補助事業	R4 ～ R8	県産農産物の安定的な県外出荷を維持するため、病害虫の蔓延予防を目的とした補助を行う。	病害虫の適期防除により蔓延予防を図る。	病害虫の適期防除により蔓延予防	◎
09 うるま市	4 ④	うるま市農水産業振興戦略拠点施設機能強化整備事業	R4 ～ R5	農水産業振興の、より一層の充実を図るため、拠点施設であるうるま市農水産業振興戦略拠点施設(うるマルシェ)の機能強化を図る。	大型ビジョン設置の完了	-	繰
09 うるま市	5 ①	ICTを活用した特色ある学校づくり事業	R2 ～ R4	生活環境や世代が異なる人々との交流を促進するため、ICTを活用した交流体験・交流学習を行う。	①参加した生徒のライフスキル自己評価 10項目平均10%増 ②本取り組みに起因する生徒数の増加 3名	①5%増 ②0名	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
09 うるま市	5 ②	小学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R13	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・沖縄県学力調査沖縄県平均正答率と本市の差を0にする(算数) ・全国学力学習状況調査における平均正答率30%未満の児童の割合の県との差を-5%以内にする。(算数)	・沖縄県学力調査沖縄県平均正答率と本市の差:0(算数) ・全国学力学習状況調査における平均正答率30%未満の児童の割合の県との差:-5%(算数)	◎
09 うるま市	5 ③	中学校学力向上対策推進事業	H24 ～ R13	生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・沖縄県学力調査沖縄県平均正答率と本市の差を0にする(数学) ・全国学力学習状況調査における平均正答率30%未満の生徒の割合の県との差を0にする。(数学)	・沖縄県学力調査沖縄県平均正答率と本市の差:-1.6(中2数学) ・全国学力学習状況調査における平均正答率30%未満の生徒の割合の県との差:-24%(数学)	未
09 うるま市	6	ひとり親家庭生活支援事業	H25 ～ R13	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。	①居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合(100%) ②就労スキルアップ講座資格取得者(20名) ③学習習慣の定着度(90%)	①100% ②5名 ③90%	○
09 うるま市	7 ①	中学校教育指導推進事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	・相談及び支援のべ件数 1000件 ・問題等を解決した件数 40件	・相談及び支援のべ件数 1,100件 ・問題等を解決した件数 88件	◎
09 うるま市	7 ②	教育相談事業	H24 ～ R13	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	相談件数実績に対するケース終結の割合を34%以上を目標にする。	相談件数実績に対するケース終結の割合:38%	◎
09 うるま市	7 ③	適応指導教室事業	H24 ～ R13	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	体験活動に参加することができた割合87%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合74%以上	体験活動に参加することができた割合:100% 中学校3年生の卒業後の進路決定割合:87%	◎
09 うるま市	7 ④	スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R4	スポーツを通じた人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加盟率の改善を図る。	・生徒等へのアンケート 80% ・部活動加入率 58% ・教員へのアンケート 80%	・生徒等へのアンケート 84% ・部活動加入率 49% ・教員へのアンケート 79%	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
09 うるま市	7 ⑤	作業療法士巡回相談事業	R4 ～ R13	発達障がい等により、学校生活にうまく適応できず困り感のある児童生徒の行動と心を理解し、支援方法や指導方法、環境調整等を工夫改善し課題解決への対応を図る。	・相談・支援件数 52件以上 ・問題改善率 50%以上	・相談・支援件数 157件 ・問題改善率 75%	◎
09 うるま市	8	海中道路周辺海域自然環境再生事業	R4 ～ R5	「沖縄県自然環境再生指針」に基づき、自然環境の悪化が課題となっているうるま市海中道路周辺海域の、「自然環境の再生・維持・活用」及び自然環境再生後の利活用をとおした地域の活性化を図る。	設置計画の策定完了	設置計画の策定完了	◎
09 うるま市	9	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R13	景観地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成に係る助成事業等を実施することで、観光地としての魅力向上を図る。	まちなみ景観助成の実施の完了	まちなみ景観助成の実施の完了	◎
09 うるま市	10	自主防災組織活動強化事業	H25 ～ R8	災害時において、いち早く活動できる自主防災組織の活動強化のため、災害のしくみや、実践的な知識と技能を学ぶため、防災士の資格取得支援や防災資機材の点検及び整備等の活動支援を行い地域の組織力の醸成を目的とする。	防災士資格取得支援 61名 (自主防災組織 61団体)	防災士資格取得支援 37名	未
09 うるま市	11	新たな交通システム検討調査事業	R3 ～ R6	公共施設間連絡バス現行ルートの検証及び見直し、既存バスや離島航路との結節、市民ニーズを整理し、地域特性に応じた運行形態による実証実験を踏まえ、新たな公共交通システムの導入に向けた検討調査を行う。	本格運行を見据えた実証計画の作成。 公共施設間連絡バス年間利用者数:17,500人	本格運行を見据えた実証計画の作成:完了 公共施設間連絡バス年間利用者数:22,000人	◎
09 うるま市	12	省エネ設備推進事業	R4 ～ R9	本市の有する公共施設の照明設備等を省エネ機器への切り替えを行い、温室効果ガスの削減を図る。	照明機器への切り替え完了(2施設)	-	繰
10 宮古島市	1 ①	八重干瀬及び周辺地域自然環境保全活用促進事業	R4 ～ R9	国指定文化財(名勝及び天然記念物)となっている八重干瀬の、国定公園等への指定、将来的には世界自然遺産登録を目指すため、八重干瀬とその周辺地域について自然資源の現況を把握し、保全活用体制の整備を図る。	業務①:約3.9万haの対象地域の約10m以浅のエリアのサンゴ分布概況作成 業務②:約3.9万haの対象地域の約30m以浅のエリアの詳細地形図取得	①概況作成完了 ②地形図取得完了	◎
10 宮古島市	2 ①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:94.2%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	2 ②	観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:94.2%	◎
10 宮古島市	3 ①	持続可能な観光地域づくり推進事業	H24 ～ R8	宮古島市観光推進協議会による観光マネジメントを行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進する。	入域観光客数605,300人以上	入域観光客数737,279人	◎
10 宮古島市	3 ②	閑散期におけるスポーツ合宿誘致検証事業	R4 ～ R4	観光客数が落ち込む冬場(閑散期)における誘客を促すため、長期滞在型スポーツ合宿誘致の実現可能性について検証する。	スポーツ合宿実施団体数:60団体	スポーツ合宿実施団体数:56団体	○
10 宮古島市	3 ③	観光循環バス自走化実証事業	R4 ～ R6	観光客受入体制としての公共交通強化のため、交通事業者や観光関連事業者等が連携・協働した民間主体による市内観光循環バスの自走化運行を実現する。	採算性のあるルート・ダイヤの選定。	採算性のあるルート・ダイヤの候補の選定。	△
10 宮古島市	4 ①	“宮古島産の牛”生産推進事業	R4 ～ R13	肉用牛の生産拡大を図るため、素牛増産及び売上増加に向けた支援を行う。	・素牛の年間出荷頭数:4,176頭 ・素牛の平均販売額700千円	・素牛の年間出荷頭数:4,081頭 ・素牛の平均販売額597千円	○
10 宮古島市	4 ②	地産地消による地域内経済循環システム構築事業	R4 ～ R13	市内で消費する食料は、多くを域外から調達しており、地域経済の流出が生じていることから、地産地消による地域内経済循環促進と生産者及び関連事業者の所得向上を図るため、学校給食等における地産食材活用の推進、地産地消ブランドづくり、地域経済循環分析などに関するシステム作りを推進する。	学校給食における地産食材利用率の向上(13%以上)	学校給食における地産食材利用率の向上:17.7%	◎
10 宮古島市	5 ①	救命処置普及強化支援事業	H28 ～ R13	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	①救命講習会受講者数1200名以上 ②救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。	①救命講習会受講者数:1,399名 ②救命講習会受講者へのアンケート結果:86.0%	◎
10 宮古島市	6 ①	課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ～ R13	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつなげた児童生徒の割合60%以上	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつなげた児童生徒の割合:35%	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	6 ②	選手派遣支援事業	H24 ～ R13	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される際の旅費の一部を補助する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:98.0%	◎
10 宮古島市	6 ③	宮古島市文化ホール舞台設備等機能強化事業	R4 ～ R4	宮古島市文化ホールの舞台設備を機能強化し、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場を確保する。	宮古島市文化ホール舞台照明設備等の設備更新工事の完了	工事完了	◎
10 宮古島市	7 ①	下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業	R3 ～ R4	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善等を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築する。	下地島空港における航空貨物輸送体制の構築	下地島空港における航空貨物輸送体制の構築	◎
10 宮古島市	8 ①	地下水保全調査事業	H29 ～ R4	本市の唯一の淡水資源である地下水の保全を行う。	1)東添道地下水流域の流域界位置精度向上調査の完了	東添道地下水流域の流域界位置精度向上調査の完了	◎
10 宮古島市	9 ①	宮古島市観光景観形成推進事業	R2 ～ R6	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。	地上機器購入(R4分)及び引込ケーブル設計の完了。	-	繰
10 宮古島市	10 ①	バス停上屋整備事業	R4 ～ R4	観光客が強烈な日差しや風雨を避け快適にバス停を利用できるようにするため、観光客が多く利用する大型商業施設付近のバス停上屋を整備する。	・バス停上屋設置工事(1基)の完了 ・バス停利用者を対象として、快適にバスを利用できるようになったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	・バス停上屋設置工事(1基)の完了 ・アンケート結果:90.0%	◎
11 南城市	1 ①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R13	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行う。	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:2チーム以上	△
11 南城市	1 ②	第2次南城市観光振興計画検証調査事業	R4 ～ R4	第2次南城市観光振興計画の取組の効果を検証するため、中間評価として、本市の観光振興における進捗状況の確認、見直しを行う。	第2次南城市観光振興計画の検証・見直しの完了	第3次南城市観光振興計画の検証・見直しの完了	◎
11 南城市	1 ③	デジタルアーカイブ事業	H30 ～ R13	観光誘客を図るため、南城市に所在する文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。	・デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上 ・デジタルアーカイブ閲覧数60,000pv以上	・デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ926人 ・デジタルアーカイブ閲覧数73,768pv	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
11 南城市	1 ④	南城市歴史文化発信事業	R4 ～ R8	南城市の文化財の活用や伝統芸能を体験・体感を通じた地域振興を図るため、歴史文化資料館を整備する。	歴史文化発信拠点基本構想の策定完了	歴史文化発信拠点基本構想の策定完了	◎
11 南城市	1 ⑤	奥武島いまいゆ市場観光施設機能強化事業	R4 ～ R6	奥武島いまいゆ市場に飲食スペースの整備を行い、施設の利便性を向上させることで、更なる県内外の観光客を誘客し地域の活性化を図る。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
11 南城市	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校: 県平均以上 ・中学校: 県平均以上	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校: 県平均60.1、小学校57.4、△2.7 ・中学校: 県平均47.5、中学校48.3、0.8	△
11 南城市	2 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	特別支援教育支援員の対応への満足度82.0%	◎
11 南城市	2 ③	ICT支援員派遣事業	R3 ～ R7	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合93.35% ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合56.65%	△
11 南城市	2 ④	電子黒板等学校ICT機器機能強化整備事業	R4 ～ R5	GIGAスクール構想で整備したタブレット等との連携や、ICT活用によるわかる授業、魅力ある授業の質を保障することを目的に、市内各小中学校へ電子黒板を整備する。	電子黒板整備:143台	電子黒板整備:143台	◎
11 南城市	2 ⑤	不登校児童生徒支援体制強化事業	R3 ～ R10	不登校児童生徒に対する更なる支援体制を強化するため、校務支援システムの導入、適応指導教室・校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置等を行う。	校務支援システムライセンス購入及び初期設定作業の完了	校務支援システムライセンス購入及び初期設定作業の完了	◎
11 南城市	3 ①	優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R8	市内の肉用牛繁殖農家の経営の安定化に向けて、農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖牛を貸し付けるものに対して支援を行う。	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:118.70%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
11 南城市	3 ②	優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R8	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	乳用牛1頭あたりの生産乳量:7,988kg以上(年間) 乳質(脂肪率):3.87%以上	乳用牛1頭あたりの生産乳量:8807.2kg(年間) 乳質(脂肪率):3.89%	◎
11 南城市	3 ③	南城市耐候性野菜栽培施設整備事業	H27 ～ R6	気象条件に左右されにくい耐候性ハウスを整備することで、農家の生産量の増加及び南城市産野菜の産地形成を図る。	耐候性ハウスの整備完了	-	繰
11 南城市	4 ①	デジタルのまちづくり推進事業	R4 ～ R4	県内下位に位置する市民所得の向上や知念、久高島地域の過疎対策、新しい生活様式に対応した観光客受け入れ体制の強化などの地域課題解決を図るため、デジタル技術を活用した取組を推進し、持続発展可能なまちづくりを目指す。	デジタル田園都市構想(仮称)に、地域課題解決に係るいずれかの取組を盛り込む。	-	繰
11 南城市	5 ①	佐敷海岸海辺のまちづくり推進事業	R4 ～ R4	佐敷海岸にある、人工海浜、マリナー跡地や静穏な海域を利用した海洋性レクリエーションなど、海辺を活用したまちづくり構想を策定する。	(仮)佐敷海岸海辺のまちづくり構想の策定完了	(仮)佐敷海岸海辺のまちづくり構想の策定完了	◎
11 南城市	6 ①	低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R5	二酸化炭素排出量の削減を図るため、公共施設の照明機器や空調機器を省エネ型の機器に切り替える。	・設計業務の完了 ・LED照明柱、地中配線整備の完了	・設計業務の完了 ・LED照明柱、地中配線整備の完了	◎
12 国頭村	1 ①	スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ～ R5	冬春季におけるスポーツ合宿の実施増加、受入環境の充実を図るため、陸上競技場第3種公認の更新に対応した陸上競技用備品の整備及び野球のキャンプ・合宿で使用するバッティングゲージ等を整備することにより、合宿誘致の増加及び施設の機能強化を図る。	・第3種公認に対応した陸上競技用備品の購入 ・野球場バッティングゲージの購入 ・サッカーゴールの購入 ・施設整備用トラクターの購入 ・テニスコート備品の購入 ・トレーニンブルーム備品の購入	・第4種公認に対応した陸上競技用備品の購入 ・野球場バッティングゲージの購入 ・サッカーゴールの購入 ・施設整備用トラクターの購入 ・テニスコート備品の購入 ・トレーニンブルーム備品の購入	◎
12 国頭村	2 ①	観光施設機能強化事業	R4 ～ R5	観光誘客や環境教育の活用を図るため、本村における観光施設の機能強化を図る。	・学びの森遊歩道改修実施設計の完了 ・学びの森遊歩道改修工事の完了 ・奥ヤンバルの里屋外灯改修実施設計の完了 ・奥ヤンバルの里屋外灯改修工事の完了	-	繰
12 国頭村	3 ①	やんばるの自然環境保全事業	R4 ～ R6	村内の観光施設における外来種及び重要な種の分布状況を把握するとともに、必要に応じて外来種の対策を講じる。また、村営林道を中心とした監視体制強化及び外来種や希少種等の分布状況の調査を行い、現状を把握する。	・村内観光施設の外来植物減少率 A=50%以上 ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	・村内観光施設の外来植物減少率 A=96% ・村営林道における無許可で設置されたトラップ N=0件	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
12 国頭村	4 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	村内小中学校に学習支援員を配置し、事業に遅れのある子を集中的に対応し、特に基礎的な学力を定着させることで、沖縄県学力到達度調査による平均正答数の向上を狙う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答数の差を以下の範囲内で収める。 ・小学校 国語:-1.73ポイント以内 算数:-2.39ポイント以内 理科:-2.00ポイント以内 ・中学校 国語:-0.87ポイント以内 数学:-0.80ポイント以内 理科:-2.03ポイント以内 社会:-0.50ポイント以内	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答数の差を以下の範囲内で収める。 ・小学校 国語:-11.6ポイント以内 算数:-12ポイント以内 理科:未実施 ・中学校 国語:-1.3ポイント以内 数学:-4.3ポイント以内 理科:未実施 社会:未実施	未
12 国頭村	4 ②	村内幼児児童生徒英語支援員配置事業	H25 ～ R13	英語支援員を配置することにより、児童の英検jr.の取得率や沖縄県学力到達度調査(英語)の平均正答数の上昇につながる。	・認定こども園・小学校 英検jr.取得率 ブロンズ 42%以上 シルバー 35%以上 ゴールド 26%以上 ・中学校2年生 沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答数の差を以下の範囲内で収める。 英語:-0.90ポイント以内	・認定こども園・小学校 英検jr.取得率 ブロンズ 27% シルバー 41% ゴールド 5% ・中学校2年生 沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答数の差を以下の範囲内で収める。 英語:-12.2ポイント	未
12 国頭村	4 ③	学習支援教室委託事業	H28 ～ R13	学習支援教室(無料塾)を設置し、中学3年生の高等学校への進学を支援する。	受講生の高校受験合格率:100%	受講生の高校受験合格率:100%	◎
12 国頭村	5 ①	多自然川づくり事業	H24 ～ R4	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	河川工事整備率 100%(1,011m/全体延長L=1,011m)	河川工事整備率 100%(1,011m/全体延長L=1,011m)	◎
13 大宜味村	1 ①	大宜味村観光情報発信事業	H24 ～ R13	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信し、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	産業まつり参加者数 約5,000名 (参考 H29年度 約4,400名 H30年度 約4,700名) PRイベントの参加者数 約11,000名以上	産業まつり参加者数 約4,600名 PRイベントの参加者数 約367,000名	○
13 大宜味村	1 ②	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生動物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	①ハブ咬傷被害:0件 ②ヤンバルクイナの生息率:23.08%以上 ③保護した猫の譲渡:150件以上	①ハブ咬傷被害:3件 ②ヤンバルクイナの生息率:28.2% ③保護した猫の譲渡:73件	△

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
13 大宜味村	1 ④	塩屋湾周辺整備計画策定事業	R4 ～ R5	本村の観光産業の振興を図り、かつ定住促進を進めるため、沖縄八景として指定されている塩屋湾の活用・整備等を示す塩屋湾基本構想計画を策定する。	塩屋湾周辺整備基本構想の策定	-	繰
13 大宜味村	1 ⑤	大宜味村エコツーリズム推進事業	R4 ～ R5	大宜味村内観光ガイド育成に関するテキスト作成を行い、現場研修及び試行プログラムなど、大宜味村の観光に関する資質向上を図る	大宜味村内観光ガイド育成に関するテキスト作成	塩屋湾周辺整備基本構想の策定	◎
13 大宜味村	2 ①	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力向上到達度調査の5教科を対象に県平均正答率との差を0ポイントまで引き上げる。 ①小学校 0.0ポイント以上 ②中学校 0.0ポイント以上	沖縄県学力向上到達度調査の5教科を対象に県平均正答率との差を0ポイントまで引き上げる。 ①小学校 5.8ポイント ②中学校 -4.0ポイント	△
13 大宜味村	2 ②	地域支援員配置事業	H25 ～ R13	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 17%	未
13 大宜味村	2 ③	「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R13	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	講座受講者数:240名以上	講座受講者数:151名	△
13 大宜味村	2 ④	児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R11	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	児童生徒が広い視野を持てたか100%	◎
13 大宜味村	3 ①	カラキ活用推進プロジェクト	H28 ～ R13	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖等を行う。	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催(年1回以上)	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催(年1回)	◎
14 東村	1 ①	パインアップル品質向上生産施設整備事業	R4 ～ R4	高品質なパインアップルを生産するため、ハウス施設の整備に対し補助を行う。	ハウス施設の設置完了	ハウス施設の設置完了	◎
14 東村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R13	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する小中学校において学習支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。	支援員に対する満足度(80%以上)	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
14 東村	3 ①	小中学校電子黒板設置事業	H26 ～ R5	分かりやすく効果的な授業を実施し、児童生徒の学習意欲を高め学力向上を図るため、村内小中学校に電子黒板を設置する。	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか、児童生徒へのアンケート実施結果:80%	◎
14 東村	4 ①	東村自然環境保全事業	R3 ～ R8	貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、赤土等流出が著しく酷い古島川流域における土本的対策の基本設計を行い、赤土等流出の抑制を図るため検証事業を実施する。	R3年度に実施した発生源調査及び実態に応じた土本的対策の検討を踏まえ、基本設計の完了。	基本設計の完了。	◎
14 東村	5 ①	東村海外移住者子弟研修生受入事業	H25 ～ R13	南米2カ国(ブラジル・アルゼンチン)の東村人会の子弟(2世・3世)が村民及び県民との交流を通じて、本村の移住先国との友好親善、沖縄文化の振興に貢献しうる人材の育成、移住先国子弟とのネットワーク強化を図る。	研修に参加した子弟が帰国後、本村と移住先国子弟との友好親善、沖縄文化の振興に貢献できる人材として、活躍出来ているか(80%以上)を東村人会にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	東村人会へのアンケート実施結果:100%	◎
14 東村	6 ①	東村健康づくり事業	R3 ～ R6	村民の健康増進を図るため、健康器具を設置し、日ごろから利用しやすい環境を整備する。	健康器具の設置工事の完了	-	繰
14 東村	7 ①	東村博物館機能高度化事業	R4 ～ R7	東村の自然・歴史・文化・民俗に関する資料の収集を継続的に推進し調査研究を実施すると共に、県内外問わず幅広く公開、活用され、観光振興と生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である村立博物館の施設機能高度化を実施する。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
14 東村	8 ①	福地川周辺利活用構想策定事業	R4 ～ R4	令和3年7月には沖縄島北部・やんばるの森が世界自然遺産に登録されるなど、今後の村政発展の大きな可能性を秘めた地域である。NHK連続テレビ小説「ちむどん」の放映により「やんばる」に注目が集まることから、やんばるの自然を生かした観光コンテンツの開発やアフターコロナを見据えた観光施策の企画、展開を図り交流人口・関係人口の拡大を図るため福地川周辺利活用構想を策定する。	福地川周辺利活用構想の策定	福地川周辺利活用構想の策定	◎
14 東村	9 ①	環境保全・ネコの適正飼養推進事業	R4 ～ R4	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、本村における飼いネコ及び飼い主不明ネコの実態調査を実施する。	①飼いネコの飼養状況:全件把握 ②飼い主不明ネコ・地域ネコの生息地・頭数把握	飼いネコの飼養状況 登録ネコ:全件把握 未登録ネコ:一部把握 飼い主不明ネコ・地域猫の生息地頭数把握	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
14 東村	10 ①	沖縄県復帰50周年記念事業	R4 ～ R4	沖縄県本土復帰50年を記念して、復帰までの歴史や村の移り変わりをデジタル化し、ホームページ上で公開、各施設にて展示会を開催することで、復帰前後の村の文化と歴史を若い世代へ継承することを目的とする。	①展示会来場者数:120人/日(20人/日×6公民館=120人/日) ②来場者にアンケートを実施し、展示会の満足度(70%以上)を目標として、事業の効果を検証していく。	①展示会来場者数(合計):実績987人/目標1,200人 ②来場者展示会の満足度(70%以上)を目標としたアンケートの実施結果:82%	○
15 今帰仁村	1 ①	教育環境充実事業	H25 ～ R13	児童生徒、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、各小中学校に支援員を配置する。	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:97%	◎
15 今帰仁村	1 ②	児童生徒等の県外派遣事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	アンケート結果:88.6%	◎
15 今帰仁村	1 ③	キャリア教育推進支援事業	R2 ～ R13	高校卒業生徒にキャリア教育を通し基礎的・汎用的能力を育み、地域の良さや長所を違う場所から見たり、県外の世界を体験させ、より幅広い視野と選択肢を見つけることができるよう、県外インターンシップ事業、プロデューサー育成事業等を行い、以て将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。	本事業によって基礎的・汎用的能力が育まれ就業に対する意識の向上が図られたか(向上度80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒からのアンケートにより本事業を検証する。	アンケート結果:94%	◎
15 今帰仁村	1 ④	教育支援事業	R2 ～ R13	特別支援教育の体制整備を推進し特別支援教育の充実を図るため、巡回相談員や教育支援指導員を配置する。	対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(62%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:100%	◎
15 今帰仁村	1 ⑤	教育相談事業	R2 ～ R13	児童生徒の不登校や問題行動等に対するカウンセリング機能の充実を図る。	対象となる児童生徒の不登校や問題行動等の課題解決につながったかを含め、学校及び保護者に対するアンケート(87%以上)により本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:89%	◎
15 今帰仁村	1 ⑥	人材育成事業	H24 ～ R13	南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流を行うことにより、児童の視野を広げ教養に対する意欲を高めることで、人材育成を図る。	交流を通じて児童の他文化に対する視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する。	アンケート結果:100%	◎
15 今帰仁村	1 ⑦	中高生海外語学留学支援事業	H25 ～ R13	海外でのホームステイ等を通じ、外国文化の交流を行うことで、国際的な広い視野を持つ人材育成を図る。	帰国後、生徒の国際的な視野がより広まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	アンケート結果:100%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	2 ①	環境保全美化推進事業	H24 ～ R13	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:90.5%	◎
15 今帰仁村	2 ②	今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R13	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会を実施する。	・ガイドによる来訪者の案内 12,000名	・ガイドによる来訪者の案内 11,049名	○
15 今帰仁村	2 ③	今帰仁村着地型観光推進事業	R1 ～ R13	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者の受け入れ態勢強化及び誘致活動を行い、新規教育民泊客の増加及びリピーター校の確保を図る。	・令和5年度の予約人数 12,000人(70校) ・リピーター校の増加 ・満足度向上 ・2泊5食プランの増加 ・日帰り体験の増加 ・関連団体との連携強化	・令和5年度の予約人数 11,103人(70校)	○
15 今帰仁村	2 ④	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	R3 ～ R13	本村における宿泊日数は1泊の場合がほとんどで、多くは素通り観光であることから、宿泊を伴う自然体験や生活体験等の地域資源を活かした体験プログラムを創出し、長期滞在を含む村内宿泊者数の増加を図る。	・創出した宿泊体験15件のプログラムからブラッシュアップを行い、5件の販売を行う。 ・新たなプログラム創出	・創出した宿泊体験販売:0件 ・新たなプログラム創出:15件	△
15 今帰仁村	2 ⑤	観光力基盤強化事業	H24 ～ R13	「体験滞在観光を促進する」「着地型・周遊観光を実践する」を基本方針として、観光振興を強化する。観光誘客を図るため、村内で実施するイベントを支援する。	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,150人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:3,500人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:3,000人/日 ・今帰仁まつり来場者:10,300人	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,278人 ・古宇利ハーフマラソン村外からのエントリー者数:開催中 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:27,215人 ・今帰仁まつり来場者:開催中	△
15 今帰仁村	2 ⑥	観光地安全強化事業	H24 ～ R13	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件。	0件	◎
15 今帰仁村	2 ⑦	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、河川全体の自然環境を最大限に活かし、景観に配慮した河川を整備を行う。今帰仁城跡周辺の景観を阻害している電柱の抜柱を行う。	全体計画における10.7%整備(累積整備率74.7%)	全体計画における70.1%整備	未
15 今帰仁村	2 ⑧	景観形成強化事業	H24 ～ R13	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	景観に沿った道路整備のための測量設計委託業務の完了。	設計委託の完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
15 今帰仁村	2 ⑨	今帰仁城跡MRコンテンツ受入強化事業	R4 ～ R4	最新の映像技術(MR)を用いて開発した「体験型ゲーム THE BATTLE OF NAKIJIN」の体験者とその同伴者の更なる満足度向上のため、MR機器の追加及びモニターの設置を行い受入体制の強化を図る。	・今帰仁城跡の来訪者数30万2千5百名。 ・今帰仁城跡への来訪者の満足度80%以上(アンケート実施)	・今帰仁城跡の来訪者数18万2千5百人 ・今帰仁城跡への来訪者の満足度:満足度100%(6件)(アンケート実施)	○
15 今帰仁村	3 ①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ～ R13	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛ブランドかを推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合105%以上	100%	未
16 本部町	1 ①	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R13	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲器設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブによる咬傷被害件数0件	ハブによる咬傷被害件数8件	未
16 本部町	1 ③	もとぶマイクロツーリズム推進事業	R4 ～ R6	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。	町認定ガイドの養成:15人/年	町認定ガイドの養成:16人/年	◎
16 本部町	1 ④	本部町観光危機管理計画策定事業	R4 ～ R5	沖縄県内の主要観光地として「沖縄美ら海水族館」を有する本町には年間500万人の観光客が訪れる。自然災害等で甚大な被害をもたらす観光危機において観光客への情報発信及び支援や観光産業の早期復興等を行う体制整備を図るため、本部町観光危機管理計画を策定する。	評価される観光リゾート地の形成に向けて観光危機管理の必要性について理解が図られたかアンケートを実施(80%以上)。	評価される観光リゾート地の形成に向けて観光危機管理の必要性について理解が図られたかについてのアンケート結果:91%	◎
16 本部町	1 ⑤	もとぶ観光地クリーンアップ事業	R3 ～ R13	本県は亜熱帯性気候に属し、年間をとおして至るところで雑草が繁茂している状況である。年間500万人(平成29年度)が訪れる観光立町として観光地や観光地アクセス道路の環境美化を図るため、作業員を配置し年間を通してクリーン作業を行う。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたかを含め、観光客や町民へのアンケートの実施結果:84%	◎
16 本部町	2 ①	もとぶブランド牛改良促進事業	R4 ～ R6	肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入の支援及び人工授精等の支援を行う。	・採卵用優良雌牛導入の完了 ・優良子牛の生産に向けた人工授精等支援の完了	・採卵用優良雌牛導入:完了 ・優良子牛の生産に向けた人工授精等支援の完了	△

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
16 本部町	2 ②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R8	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、町産品活用推進に向けた企画制作の販促支援、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	新規取引契約数 10件以上	新規取引契約数:4件	未
16 本部町	2 ③	みかんの里機能強化事業	R4 ～ R5	観光客の利便性向上及び、柑橘の集荷作業効率化のため、伊豆味みかんの里総合案内所の出荷及び選果作業場と機材を整備する。	伊豆味産みかんの売上高 20,400千円	伊豆味産みかんの売上高:17,000千円	○
16 本部町	2 ④	もとぶ農産物産地形成事業	R4 ～ R6	病害虫を防除し、灌水環境の課題を解決するため、パイプハウス施設に灌水設備等の付帯設備を加えた一体的な整備に対する支援を行い、農産物出荷量の向上を図る。	パイプハウス施設及び付帯設備の整備の完了 4,104㎡	パイプハウス施設及び付帯設備の整備の完了: 3,956.4㎡	○
16 本部町	2 ⑤	有機物リサイクル推進事業	R4 ～ R4	畜産農家の経営の安定と体質強化のほか、環境に配慮した生産体制を構築するため、家畜排せつ物を町内農業で循環させるために必要となる備品の整備を行う。	堆肥管理備品の購入完了	ー	繰
16 本部町	3 ①	本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ R13	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	働くことへの興味・関心が高まった割合(80%以上)を含め、小中高生へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	働くことへの興味・関心が高まった割合を含め、小中高生へのアンケート実施結果:81%	◎
16 本部町	3 ②	テレワーカー人材育成事業	R4 ～ R6	町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施することで、テレワーカー人材の育成を図る。	テレワーカーとして就労した人数(受講者の25%以上)	受講者のうちテレワーカーとして就労した人数の割合:30%	◎
16 本部町	4 ①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R13	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	令和4年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -3.8ポイント以上 中学校 -5.4ポイント以上	令和4年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -9.75ポイント 中学校 -5.7ポイント	未
16 本部町	4 ②	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケート結果:86%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
17 恩納村	1 ①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ～ R13	村全域において、ハブ等の危険生物が多く出没しているため、観光客や地域住民の咬傷被害防止を図るため、村南部地域(宇加地～仲泊地区)、名嘉真地域を重点的に村内全域に捕獲器を設置し、タイワンハブ等のハブ駆除を行う。	捕獲器設置箇所周辺におけるハブによる咬傷被害件数:0件	咬傷被害件数:0件	◎
17 恩納村	1 ②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施する。また観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・イベント入場者数:5,700人以上 ・村内主要ホテルへの年間宿泊客数:延べ150万人以上 ・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	・イベント入場者数:5,845人 ・村内主要ホテルへの年間宿泊客数:208万人 ・アンケート結果:86%	◎
17 恩納村	1 ③	赤間総合運動公園機能強化整備事業	R4 ～ R13	スポーツ合宿の受け入れ環境を向上させるため機能強化に向けた条件を取りまとめ、整備内容を明確にするための計画を策定する。	赤間運動公園の機能強化整備計画業務策定の完了。	業務策定の完了。	◎
17 恩納村	1 ④	赤間野球場電光掲示板整備事業	R4 ～ R4	野球場電光掲示板の機能拡張を実施することでプロ野球等キャンプや大会等の受け入れ体制の確保やそれに伴う観光誘客を図る。	・野球場電光掲示板実施設計の完了 ・野球場電光掲示板整備工事の完了	・設計の完了 ・工事の完了	◎
17 恩納村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H29 ～ R13	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:88.4%	◎
17 恩納村	3 ①	恩納村景観むらづくり計画改定事業	R4 ～ R5	豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るために、恩納村景観むらづくり計画の検討及び策定を行う。	・景観計画改定(案)作成の完了 ・景観形成重点地区(案)作成の完了	・景観計画改定(案)作成の完了 ・景観形成重点地区(案)作成の完了	◎
18 宜野座村	1 ①	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ～ R13	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネットやテント、グラウンド等を整備、野球場等整備機械購入により受入体制を強化する。	・阪神春季キャンプ見学者数(43,000人)	・阪神春季キャンプ見学者数(59,800人)	◎
18 宜野座村	1 ②	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ～ R13	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸能文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2,778人以上) ・お出かけ公演対象者数(2,893人以上)	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(3,738人) ・お出かけ公演対象者数(6,575人)	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	1 ③	宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ～ R13	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催、観光人材の育成等を行う。	・宜野座村の観光入客数 (12.1万人)	・宜野座村の観光入客数 (20万人)	◎
18 宜野座村	1 ④	宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ～ R13	スポーツが盛んな秋の行楽シーズンに、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力を発信することにより観光誘客を図る。	美ら島花火大会集客数(8,540人/2日間)	美ら島花火大会集客数(14,000人/2日間)	◎
18 宜野座村	1 ⑥	農村沿道景観向上事業	H31 ～ R13	村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか観光客に対するアンケート実施結果:81%	◎
18 宜野座村	2 ①	小学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) ※令和2年度より調査実施対象の変更あり 小学校 5年・6年(算数)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 小学校 ・5年(算数):-17.4 ・6年(算数):-7.6	未
18 宜野座村	2 ②	中学校学力向上対策事業	H24 ～ R13	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を中学校に配置し、生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行う。	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) ※令和2年度より調査実施対象学年に変更あり 中学校2年(国語・数学・英語)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 中2国語(-4.6) 中2数学(-6.0) 中2英語(+0.7)	△
18 宜野座村	2 ③	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R13	保護者が安心・安全に子どもを預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、村立幼稚園において預かり保育を実施する。	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するネットアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか、対象園児の保護者に対するネットアンケート実施結果:100%	◎
18 宜野座村	3 ①	有機の里宜野座村確立事業	H24 ～ R13	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	①エコファーマー認定数 3名 ②エコ農産物販売目標 116t	①エコファーマー認定数 0名 ②エコ農産物販売目標 66.4t	未
18 宜野座村	3 ②	さとうきび営農指導委託事業	H28 ～ R13	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による営農指導や巡回指導を行う。	令和4年さとうきび生産量 5,084t	令和4年さとうきび生産量 5,102t	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
18 宜野座村	4 ①	観光景観向上対策事業	H27 ～ R13	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。	・観光地における不法投棄件数:10件以下/年	・観光地における不法投棄件数:0件/年	◎
18 宜野座村	4 ②	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R13	観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びバトロールを行う。	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	観光客及び住民のハブの咬傷件数:0件	◎
18 宜野座村	5 ①	宜野座村企業誘致推進事業	H28 ～ R13	定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。	①企業誘致ブース来場者250名 ②招聘セミナー参加者/企業数 20人/10社	①企業誘致ブース来場者502名 ②招聘セミナー参加者/企業数 15人/11社	◎
18 宜野座村	6 ②	国際交流事業(第7回世界のギノザンチュの集い)	R4 ～ R9	世界各地で活躍するウチナーンチュが、5年に1度母県に集う世界のウチナーンチュ大会に併せて、宜野座村人会関係者を故郷宜野座村へ案内し、オンライン参加者も含めたハイブリット方式で歓迎することで村民との交流を図り、世界のギノザンチュネットワークの継承・発展を図る。	海外参加者(オンラインを含む)を対象に、アンケートを実施し、「交流を深めることができた」、「ルーツが沖縄であることを再確認することができた」、「次世代への継承が重要であると感じた」との回答を70%以上得る。	海外参加者(オンラインを含む)を対象に、アンケートを実施し、「交流を深めることができた」、「ルーツが沖縄であることを再確認することができた」、「次世代への継承が重要であると感じた」との回答:100%	◎
18 宜野座村	7 ①	小中高キャリア教育支援事業	R3 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合:85%	◎
19 金武町	1 ①	プロスポーツ受入事業	H28 ～ R13	プロスポーツキャンプを継続して受け入れる基盤強化を図るため、体育施設の芝管理等を行う。	R4年度プロチーム4チームの受入	プロチームキャンプ受入件数:5チーム	◎
19 金武町	1 ②	金武町観光振興等推進事業	H31 ～ R8	観光誘客及び観光客の利便性向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・情報発信等を実施する。	①媒体等による情報発信 企画・実施数:9件 ②観光物産PRの実施等 ○観光物産展来場者数:1,972人 ③観光Wi-Fiの整備	①媒体等による情報発信 企画・実施数:21件 ②観光物産PRの実施等 観光物産展来場者数:2,000人 ③観光Wi-Fiの整備完了	◎
19 金武町	1 ③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	R3 ～ R5	金武町ベースボールスタジアムを活用した観光客誘客及び利用者の増加を図るため、周辺環境整備等の機能高度化を実施する。	○ダッグアウト、音響設備、2階トイレ改修工事の完了 ○屋外倉庫新設工事の完了	○ダッグアウト、音響設備、2階トイレ改修工事の完了 ○屋外倉庫新設工事の完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
19 金武町	2 ①	金武町就職活動支援補助事業	H27 ～ R8	雇用の拡大を図るため、求職者等に対する職業相談等を行う。また、求職者及び町内事業所の従業員のスキルアップのための各種講座を開催。児童・生徒の就職意識向上を図るため、キャリア教育を行う。	①就業率10%以上 ②資格取得率80%以上 ③キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	①就業率:3.4% ②資格取得率:86% ③アンケート結果:95.0%	○
19 金武町	3 ①	小中学校学習等支援事業	H24 ～ R13	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差-4%以上 ②中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	①小学校:全国平均との平均正答率の差 -2.6% ②中学校:英語検定3級合格率 39.8%	◎
19 金武町	3 ②	幼稚園預かり保育事業	H24 ～ R13	保護者の育児における負担感の軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検討する。	アンケート結果:100%	◎
19 金武町	3 ③	特別支援教育支援事業	H24 ～ R13	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習、学校生活等における困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:88%	◎
19 金武町	4 ①	シマヌチュ国際交流事業(世界のシマヌチュ大会)	H28 ～ R9	本町出身の當山久三が初の海外移民を送り出して120年余りが過ぎ、現在40万人以上の県系人が世界各地で活躍している。移民発祥の地である金武町で海外移住者との交流を図り、相互の発展を目指す。	シマヌチュ大会に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動出来ているか(80%以上)を金武町人会にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:72%	○
20 伊江村	1 ①	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R13	本村に生息するハブによる健康被害から村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ咬傷による健康被害0件	・ハブ咬傷による健康被害0件	◎
20 伊江村	2 ①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか、村民へのアンケート実施結果:100%	◎
20 伊江村	3 ①	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	令和4年度第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R4年 33,000人	令和4年度第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R4年 4,500人	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
20 伊江村	3 ②	観光地クリーン事業	H27 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。	魅力的な観光地として景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地として景観形成が図られたかを含め、アンケート結果:100%	◎
20 伊江村	3 ③	観光誘客整備事業	H26 ～ R4	村の観光振興を図るため、伊江島ゆり祭り向上業務、その他イベント等による観光誘客を行う。	①令和4年度伊江村入域観光客数:96,000人 ② ・ゆり祭り等のイベント来場客に対して、アンケート調査を実施、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 ・ゆり祭りを含む集客イベントでのブース来場者数:20,000名	①令和4年度伊江村入域観光客数:15,446人 ②観光客への利便性(満足度)が確保されたかアンケート調査の実施結果:100%	△
20 伊江村	4 ①	確かな学力を育む学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	・小学校・中学校共に沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る。	○小5 国-6.5、算-6.1 ○小6 国+1.8、算+1.3 ○中1 国-8.1、数-14.6、英-2 ○中2 国-7.7、数+1、英-1.8	△
20 伊江村	4 ②	各種大会派遣費助成事業	H25 ～ R13	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・対象児童の視野が広がったか保護者へのアンケート実施結果:90.1%	◎
20 伊江村	5 ①	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ～ R13	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・就業意識が向上したか、イベントに参加した児童生徒へのアンケート実施結果:98.25%	◎
20 伊江村	6 ①	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ～ R5	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版等を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	整備工事の実施完了	整備工事の実施完了	◎
20 伊江村	7 ①	伊江村循環型農業促進事業	R4 ～ R6	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行う事で循環型農業の促進を図る。	堆肥製造量 R4年 2,100t	堆肥製造量 R4年 2,100t	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
20 伊江村	8 1	伊江島の歴史・保存継承事業	R4 ～ R4	沖縄の戦後復帰における歴史を若い世代へ継承するため、映像作成や記念イベントを行う。	・映像制作の実施完了 ・イベント来場者へのアンケート調査を実施し、沖縄の日本復帰及び当時の伊江村の状況について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	・映像制作の実施完了 ・イベント来場者へ、沖縄の日本復帰及び当時の伊江村の状況について理解できたか、アンケート調査の実施結果:81%	◎
20 伊江村	9 ①	ICT支援員配置事業	R3 ～ R4	教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:平均84.5% ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:64.7%	○
20 伊江村	10 ①	外国語指導員派遣事業	R3 ～ R13	幼稚園児や小学生の英語への興味・関心を高めるため、幼稚園と小学校に外国語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	・児童生徒の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・児童生徒の英語への興味・関心が高まったか、アンケート実施結果:97%	◎
20 伊江村	11 ①	伊江村墓地団地造成事業	H29 ～ R6	沖縄独自の個人墓の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、伊江村墓地団地造成を行う。	・造成工事の実施完了	ー	繰
20 伊江村	12 ①	ひとり親世帯等学童利用支援事業	R4 ～ R4	ひとり親世帯等の育児の負担感の軽減を図るため、学童保育施設がひとり親世帯等の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	安全・安心に子どもを預けることができ、子育てへの負担が軽減されたか、対象となる児童の保護者へのアンケート実施結果:100%	◎
20 伊江村	13 ①	離島定住基盤整備事業	R4 ～ R5	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷さばきを実施できる施設を整備する。	・荷さばき施設の実施設計の完了	・荷さばき施設の実施設計の完了	◎
21 読谷村	1 ②	危険生物駆除事業	H25 ～ R13	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:4件	未
21 読谷村	1 ③	ヨミタンJOHO県外発信事業	R4 ～ R13	本村の認知度向上と観光誘客を図るため、観光情報ラジオ番組を制作し、県外へ発信する。	・ラジオで発信した観光情報(観光地・イベント)への入込客数:100万人以上 ・県外での聴取PR活動人数:12,000人以上	・ラジオで発信した観光情報(観光地・イベント)への入込客数:1,013,900万人 ・県外での聴取PR活動人数:5,000人以上	△

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
21 読谷村	1 ④	読谷村屋内運動場基本設計策定事業	R4 ~ R4	本村のスポーツ振興を図るため、村民センター地区(読谷村役場周辺)に新たな運動施設として屋内運動場の整備に向けて基本設計を行う。	基本設計の完了	基本設計の完了	◎
21 読谷村	1 ⑤	読谷村スポーツコンベンション促進事業	H24 ~ R6	スポーツキャンプ等の誘致を促進し、地域への波及効果を高める取り組みを行う。また、キャンプチーム本拠地等でファン層に向けた観光・物産PRを実施し、観光誘客を図る。	・スポーツコンベンション受入件数…15件以上 ・県外誘客イベントPR観客数… 30,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数… 15,000人以上	・スポーツコンベンション受入件数…15件 ・県外誘客イベントPR観客数… 87,750人 ・キャンプ期間中の来場者数… 18,000人	◎
21 読谷村	1 ⑥	読谷村陸上競技場北側植栽整備事業	H30 ~ R4	冬の季節風(北風)による競技への影響やスポーツキャンプ時の北風対策のため、読谷村陸上競技場北側に植栽を整備する。	整備工事の完了	-	繰
21 読谷村	2 ①	特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ R13	村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するための支援員を配置する。	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合86%	◎
21 読谷村	3 ①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ~ R13	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベースを作成・公開する。	HP(データベース)アクセス数:800件	HP(データベース)アクセス数:50,665件	◎
21 読谷村	3 ②	ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H30 ~ R5	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備するため、整備工事を行う。	整備工事の一部完了	-	繰
21 読谷村	3 ③	歴史資料の整理活用事業	R4 ~ R13	沖縄や本村に特徴的な歴史を後世に継承していくため、本村が所蔵する種々の歴史資料や歴史公文書等を調査し、整理・保存・公開する。	貴重な歴史公文書等の整理一部完了	貴重な歴史公文書等の整理一部完了	◎
21 読谷村	4 ①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ~ R8	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外マーケティングやプロモーションを行う。	・陶器市の来場者数 14,776人 ・物産展売上金額 72,750円 ・展示会商談数 25件	・陶器市の来場者数 未実施 ・物産展売上金額 85,160円 ・展示会商談数 未実施	△
21 読谷村	5 ①	瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計策定事業	R3 ~ R5	瀬名波通信施設跡地の土地利用を促進するため、非農用地部分の実実施設計を行う。	令和4年度瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計委託業務の完了	令和4年度瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)実施設計委託業務の完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	1 ①	観光プロモーション事業	R3 ～ R13	観光プロモーションツール等を有効活用し、観光関連イベント等においてプロモーション活動を行い、観光客の誘客を図る。	町入域観光客数 792千人以上	町入域観光客数:550千人	未
22 嘉手納町	1 ②	嘉手納町移民パネル展事業	R4 ～ R4	嘉手納町の移民の歴史や世界各地のカデナアンチュに対する町民の知識や理解を深めるため、パネルを作成し、町内各学校や町立図書館等でパネル展を実施する。	パネル展を実施し、アンケートを実施する。アンケート結果でパネル展来場者が世界各地に存在するウチナアンチュへの興味が高まったと回答した割合が80%以上	アンケート結果:80%	◎
22 嘉手納町	2 ①	学習支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の学習内容の定着状況に応じた学習支援を行う。	沖縄県学力到達度調査の算数・数学において、県と本町との平均正答率の差 小学校:-0.5ポイント以上 中学校:-7.1ポイント以上	小学校:+4.4 中学校:-3.7	◎
22 嘉手納町	2 ②	英語力強化事業	H24 ～ R13	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	①英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:82%	◎
22 嘉手納町	2 ③	生徒指導強化事業	H24 ～ R13	居場所づくりを中心として、対象生徒への支援の充実を図るために中学校へ生徒指導支援員を配置する。また、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを構築するために教育委員会へスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置する。	不登校出現率 2.6%以下	不登校出現率 2.5%	◎
22 嘉手納町	2 ⑤	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R13	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難への支援を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員を配置し、必要な支援を行う。	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:85%	◎
22 嘉手納町	3 ①	雇用促進事業	H25 ～ R13	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	①相談者のうち就職が決まった人数:10人以上 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:3.0%以上 ※「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査(年2回)で確認。	①相談者のうち就職が決まった人数:10人 ②相談者のうち就職が決まった人数の割合:3.9%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
22 嘉手納町	4 ①	廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R13	沖縄県は離島県であり、土地利用には限りがあるため、ごみ処理処分場の長寿命化を図る必要があることから、町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない循環のシステムを構築する。	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 854t以上/年	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 784.8t以上/年	○
22 嘉手納町	5 ①	嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H30 ～ R4	CO2の排出量を削減するため公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	R4年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 ○兼久海浜公園総合運動場 3,170kg-CO2/年の削減	削減効果 1,705Kg-CO2/年の削減	未
23 北谷町	1 ①	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ～ R13	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源の効果的なピーアール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、プロモーション事業を展開する。	ワーケーション推進事業の完了 【R04年成果目標】 ・モニターツアーの実施 ・プロモーションの実施 ・報告書の作成	・モニターツアーの実施 ・プロモーションの実施 ・報告書の作成	◎
23 北谷町	1 ②	コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ～ R4	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を運行するコミュニティバスの実証運行を行い、本格運行または廃止あるいは実証期間の延長を判断する。	①バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②地域公共交通会議にて、令和5年度からの本格運行または廃止あるいは実証期間の延長の合意を得るためのデータを収集する。 ③収支率25%以上を目指す。	①アンケート結果:65.68% ②収集実施 ③収支率8.3%	○
23 北谷町	1 ③	サンセットビーチ改良事業	H29 ～ R5	観光誘客を図るため、サンセットビーチ改良を行う。	サンセットビーチ改良工事のうち、園路工、休養施設工、管理施設工の竣工。	-	繰
23 北谷町	2 ①	英語指導助手派遣事業	H24 ～ R13	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務) 中学校生徒の英語能力の向上を図るため、英語指導助手(AET)を派遣する。	①小学校:児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ②中学校:沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差1.9ポイント以上	①アンケート結果:81.0% ②英語の県と本町の平均正答率の差1.5ポイント	△
23 北谷町	2 ②	日本語指導学習支援員派遣事業	H25 ～ R13	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上を含め本事業のあり方を検証する。	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合:78.5%	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
23 北谷町	2 ③	学力向上学習支援員派遣事業	H26 ～ R13	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.8ポイント以上 中学校 △0.4ポイント以上	小学校 △2.6ポイント 中学校 △5.0ポイント	未
23 北谷町	3 ①	跡地利用推進事業	H24 ～ R7	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	(キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・アクセス橋整備に係る予備設計の完了 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成	(キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・アクセス橋整備に係る予備設計の完了 (インダストリアル・コリドー) ・調査報告書の作成	◎
23 北谷町	4 ①	里海プロジェクト事業	R3 ～ R6	本町に残された自然の保全・活用を図るため、本町の沿岸、河川及び緑地に生息する生物の全体把握を行う。	北谷町河川生物調査報告書(仮称)の作成完了	北谷町沿岸河川環境保全利用調査報告書の作成完了	◎
23 北谷町	5 ①	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ～ R6	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江(南側地区)の土地の先行取得を実施する。	特定事業の用に供する土地取得目標 1,360㎡(達成率87.2%) ※達成率:先行取得目標面積(96,000㎡)に対する累積取得面積の割合	特定事業の用に供する土地取得(達成率87.2%)	◎
23 北谷町	6 ①	北谷町文化発信拠点整備事業	H24 ～ R5	北谷町の歴史、文化、自然の継承及び発信を行う事を目的に、文化発信拠点となる町立博物館整備を推進する。 博物館においては日本固有の縄文文化と沖縄特有の文化を体験できるサービスを町民や沖縄県民へ提供する。また、国内外から訪れる観光客にも同サービスを提供することにより、沖縄観光の新たなコンテンツ作りを目指す。	町立博物館建設工事(R4分):全体出来高40%の完成	-	繰
24 北中城村	1 ①	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R13	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	体験交流人数:580人以上	体験交流人数:508人	○
24 北中城村	1 ②	北中城まつり活性化事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした「青年エイサーまつり」、「北中城しおさいまつり」、沖縄の温暖な気候を活かした冬場の「ひまわりin北中城」を開催する。	・青年エイサーまつり来場者数:6,400人 ・北中城しおさいまつり来場者数:24,000人	・青年エイサーまつり来場者数:21,826人 ・北中城しおさいまつり来場者数:25,806人	◎
24 北中城村	1 ③	観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R13	観光誘客を図るため、多言語による観光情報・案内等のサービスの提供、ウェブやSNS等ICTを活用したプロモーションの強化など、コロナ禍でも情報発信を行えるDXの推進を図る。	・PRブース来場者数:1,700人 観光案内ページの閲覧数:14,000回 ・Free Wi-Fiアクセス数 8,500/月	・PRブース来場者数:2,236人 観光案内ページの閲覧数:159,361回 ・Free Wi-Fiアクセス数 1,854/月	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
24 北中城村	1 ④	コミュニティバス実証事業	H30 ～ R5	村内への観光誘客を図り、観光客をはじめとする交通弱者の利便性を高めるため、コミュニティバスによる実証実験を行う。	年間利用者数:5,500人	年間利用者数:11,845人	◎
24 北中城村	1 ⑤	ウェルネスツーリズム推進事業	R4 ～ R13	女性長寿日本一の健康長寿ブランドを活かしたウェルネスツーリズムの推進を図る。	・ウェルネスイベント総参加者数:300人 ・ウェルネスワークショップへ総参加者数:75人 ・ウェルネスモニターツアー総参加者数:30人	・ウェルネスイベント総参加者数:176人 ・ウェルネスワークショップへ総参加者数:75人 ・ウェルネスモニターツアー総参加者数:24人	○
24 北中城村	2 ①	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R4	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	全体用地取得率:100%	全体用地取得率:98.2%	○
24 北中城村	2 ②	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R3 ～ R9	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、土地利用計画(素案)の検討を行う。	跡地利用計画(素案)の作成	跡地利用計画(素案)の作成完了	◎
24 北中城村	2 ③	喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25 ～ R4	キャンプ瑞慶覧喜舎場ハウジング地区の跡地利用を促進するため、フルインター化計画を推進しながら、返還予定区域の見直し認められなかった場合に備え、返還後に円滑な跡地利用を進めるために検討を行う。	・整備計画案の作成	整備計画案の作成完了	◎
24 北中城村	3 ①	雇用サポートセンター事業	H24 ～ R13	地域に密着した就業支援による雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	就業率:5%以上	就業率:1.25%	未
24 北中城村	3 ②	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、キャリア教育講演会等を実施する。	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業の検証を行う。	アンケート結果:77%	○
24 北中城村	4 ①	営農支援強化事業	H24 ～ R13	専門性の高い営農指導員の指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。また、安定した農業経営に必要なパイプハウス施設整備を支援する。	指導した農家の年間出荷額:4,373千円以上	指導した農家の年間出荷額:7,651千円	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
24 北中城村	4 ②	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ～ R7	耕作放棄地を利活用するため、医食同源・農福連携・健康長寿への取組みに資するエリア整備に向けた事業マネジメントを実施する。	・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)の整備着手と令和4年度内での事業化の目処を付ける。 ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた事業計画の策定 ・第四段階整備以降の実現に向けた事業計画案の策定 ・第四段階整備以降の事業者の誘致 ・地域協定書の更新	・民間事業者による第一段階整備(循環型農業・体験農業ゾーン)の整備:着手 ・第二段階及び第三段階整備の実現に向けた事業計画の策定:未 ・第四段階整備以降の実現に向けた事業計画案の策定:未 ・第四段階整備以降の事業者:誘致 ・地域協定書の更新:継続協議	△
24 北中城村	5 ①	総合英会話指導支援事業	H24 ～ R13	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	英語検定の受験者数:258人	英語検定の受験者数:189人	○
24 北中城村	5 ②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ～ R13	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した小・中学生向けの英語講座を実施する。	定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	前期:24名中19名 後期:22名中18名	○
24 北中城村	6 ①	歴史まちづくり計画策定事業	R4 ～ R5	本村の歴史風致資産を核にしたまちづくりを推進するため、歴史まちづくり計画を策定する。	計画策定へ向けた基礎基礎調査報告書の作成	計画策定へ向けた基礎調査報告書の作成完了	◎
24 北中城村	6 ②	米国統治下の北中城村実態調査事業	R4 ～ R6	米国統治下における本村の歴史的経過(集落復興、村行政の歩み、教育、産業、軍用地施設の推移など)を明らかにするため、各種調査を実施する。	・聞き取り調査音源記録の文字起こし(20件) ・文字起こしした聞き取り調査記録の原稿化(10件)	・聞き取り調査音源記録の文字起こし:10件 ・文字起こしした聞き取り調査記録の原稿化:5件	△
24 北中城村	6 ③	米軍記録資料整理公開事業	R4 ～ R6	米軍関係者が記録した約1万5千点の写真・映像等の資料の分類・整理し、これらの資料を活用した企画展を開催する。	企画展来場者数:200人以上 来場者の満足度:80%以上	企画展来場者数:524人 来場者の満足度:98%	◎
24 北中城村	7 ①	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、ニーズ・課題の把握を行う。	アンケート結果:93.1%	◎
24 北中城村	7 ②	学習支援員配置事業	H27 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 ○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(18.6%以下) 中学2年生:数学(28.5%以下) ○無答率 小学5年生:算数(7.0%以下) 中学2年生:数学(8.2%以下)	○正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(20.1%) 中学2年生:数学(51.0%) ○無答率 小学5年生:算数(11.1%) 中学2年生:数学(18.5%)	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
24 北中城村	7 ③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ～ R13	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用のうち対象経費の2分の1の額について補助を行う。	派遣された児童生徒の視野が広がった(保護者アンケート):80%以上	アンケート結果:94.3%	◎
24 北中城村	7 ④	小中学生県外派遣支援事業(社会教育関連)	H29 ～ R13	村内に在住する小中学生に対し、県外大会へ参加する機会を等しく与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し、航空運賃を補助する。	派遣された児童生徒の視野が広がった(保護者アンケート):80%以上	アンケート結果:85.0%	◎
24 北中城村	8 ①	屋宜原地区避難道路整備事業	R4 ～ R5	北中城村の大型宿泊施設等へのアクセス道路である仲原屋宜原線について災害時の村民や観光客等の安全を確保するため、災害に強い避難道路としての道路整備を検討する。	道路線形・付帯構造物の検討完了	道路線形・付帯構造物の検討完了	◎
25 中城村	1 ①	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	R4 ～ R13	地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。	用地購入(21筆)の完了 インフラ整備調査委託業務の完了	-	繰
25 中城村	2 ①	吉の浦公園等機能強化整備事業	H28 ～ R13	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 ②整備の完了 ③整備の完了	①プロサッカーチームの合宿誘致件数:1件 ②吉の浦公園バスケットコート整備:完了 ③吉の浦公園放送設備整備:完了	△
25 中城村	2 ②	プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R13	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	キャンプ見学者数:8,640人	キャンプ見学者数:777人	未
25 中城村	2 ④	観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:92%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
25 中城村	3 ①	海外移住者子弟研修生受入事業	H26 ～ R6	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外に移住した中城村出身の指定を研修生として受入、日本語研修、文化研修、地域交流等の交流プログラムを実施する。	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	アンケート結果:100%	◎
25 中城村	3 ②	世界のナカグスクンチュ交流事業	H28 ～ R4	海外に移住した中城村出身者を招聘し、村民との国際親善交流に向け、世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会実行委員会が開催する中城村をPRするための村内視察や交流会等の開催を支援する。	・中城村PR視察の実施 ・中城人交流会の開催 ・交流会への参加者数:270人	・中城村PR視察の実施:実施 ・中城人交流会の開催:中止 ・交流会への参加者数:中止	△
25 中城村	4 ①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ～ R13	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、小中学校にICT機器を整備する。 また、情報教育補助員を配置し、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:95.1% ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:98.8%	◎
25 中城村	4 ②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村内幼小中学校に特別支援員を配置し支援を行う。 また、不登校など課題のある児童生徒の不登校の改善を図るため、教育相談員と心理相談員を配置し支援を行う。	・特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・不登校児童生徒復帰率42%以上	アンケート結果:95% ・不登校児童生徒復帰率45%	◎
25 中城村	4 ③	学力向上のための学習支援事業	H29 ～ R13	生徒の学力向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置し授業の支援や補習等を行う。	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5.6%以上	①沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差:-0.7P	未
25 中城村	4 ④	子育て保育支援事業	H29 ～ R13	特別な支援を要する子の保育園での生活の困難の改善を図るため、対象児を預かる保育園による保育士の加配に対する支援を行う。	・保育施設での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:95%	◎
25 中城村	4 ⑤	ひとり親家庭学童利用支援事業	H30 ～ R13	ひとり親家庭の育児の負担感の軽減を図るため、学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。	安心・安全に子供を預ける事ができ、育児の負担感が軽減されたか(80%以上)を含めひとり親家庭の保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	アンケート結果:100%	◎
25 中城村	5 ①	歴史的資料整理公開活用事業	R4 ～ R8	米軍関係者が撮影した1万5千点近くに及ぶ沖縄の写真・映像等資料の整理を行う。さらに、これら資料を活用した中城村の沖縄戦に関する冊子の発刊や、展示会を開催する。	①歴史的資料の整理 ②展示会の開催 見学者数:3,000人	①歴史的資料の整理:実施 ②展示会の開催:4,111人	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
25 中城村	5 ②	文化財整備事業	R1 ～ R5	村指定文化財「県道開削記念碑」の保存工事、令和3年度に新規指定した村指定文化財「安里のムラガー」「伊舎堂のマーチューグワー」へのサイン設置、劣化の著しい「伊舎堂のマーチューグワー」の保存工事に向けた調査設計を実施する。	調査設計と工事の完了	調査設計:完了 文化財整備工事:完了	◎
25 中城村	6 ①	中城村農業振興推進事業	H30 ～ R8	本村の主要品目の生産振興及び新たな推奨品目の検討にむけ栽培試験を行う。また、営農指導員による営農指導により生産技術の普及を図る。	①主要品目1品目の栽培試験の実施 ②新たな推奨品目1品目の栽培試験の実施	①主要品目1品目の栽培試験の実施:実施 ②新たな推奨品目1品目の栽培試験の実施:実施	◎
25 中城村	6 ②	とよむ中城産業まつり事業	H24 ～ R4	中城村内で生産・製造又は提供される産業製品を村内外へPRし、知名度の向上を目指して開催される「とよむ中城産業まつり」を開催する。	・来場者数:6,000名	・来場者数:6,511名	◎
25 中城村	7 ①	平和継承促進事業	R4 ～ R4	再び戦争の惨禍が起きないように平和の発信地として多くの人へより一層平和継承について促進する。	・設計委託の完了 ・移設工事の完了	ー	繰
26 西原町	1 ①	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24 ～ R13	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果78%	○
26 西原町	1 ②	文化財環境整備活用事業	H25 ～ R13	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	文化財巡り等イベント参加者数170名	文化財巡り等イベント参加者数72名	未
26 西原町	1 ③	西原まつり運営事業	H27 ～ R13	西原まつりを開催し、観光誘客を図る。	まつり来場者数:17,500人	まつり来場者数:6,300人	未
26 西原町	2 ①	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24 ～ R13	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(82%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか:アンケート結果81.2%	○
26 西原町	2 ②	教育相談員配置事業	H24 ～ R13	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 35%以上	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合:72.3%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
26 西原町	2 ③	学習支援員配置事業	H25 ～ R13	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 3.6以上 算数 4.1以上 ・中学校 国語 0.8以上 数学 4.1以上 英語 -0.6以内	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 +1.0 算数 +1.1 ・中学校 国語 -0.1 数学 +2.5 英語 -1.2	未
26 西原町	2 ④	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を77%以上	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数:76.1%	○
26 西原町	2 ⑤	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R13	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度:97.6%	◎
26 西原町	3 ①	親子通園事業	H28 ～ R13	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか:100%	◎
26 西原町	4 ①	里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R13	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	◎
26 西原町	5 ①	西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R13	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	新規雇用割合50%以上	新規雇用割合:37.4%	○
26 西原町	6 ①	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	麻しん風しん(MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん(MR)集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん(MR)集団感染の発生件数 0件	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
26 西原町	7	官民連携によるコンパクトシティ形成事業	R4 ～ R6	中央公民館の再整備(周辺施設との集約・複合化)を官民連携(PPP/PFI等)の導入により中長期的な行財政運営の効率化及び地元民間事業者等の長期経営安定化を図る。	・サウンディング個別対話参加事業者数(17件以上) ・基本計画の策定完了	-	繰
26 西原町	8	復帰50周年記念事業	R4 ～ R4	本土復帰50年を控え、若い世代を含めた多くの町民の中で、復帰直後から現在までの文化や町の変遷の記憶が失われつつあるため、復帰以降の町の写真をデジタル化及び展示を実施し、町の文化と歴史の継承を図る。	展示会人数 10人/日	展示会人数 112人/日	◎
26 西原町	9	平和の約束運営事業	R4 ～ R4	西原町平和事業の一環として、音楽文化を通して平和の尊さを考え、平和の心を醸成するとともに平和意識の高揚に努めることを目的に、西原町平和事業「平和の約束2022」を実施する。	イベント来場者:250名	イベント来場者:250名	◎
26 西原町	10	西原町観光PR促進事業	R4 ～ R8	交流人口の増加、歴史・文化の継承、ブランド力の強化を実現するため西原劇場への人員の配置、観光PR、町産品のPR業務にかかる経費の支援を行う。	①誘客イベント 2回開催 ②観光キャラクター出動 100回以上 ③町産商品PR 12回以上	①誘客イベント 7回開催 ②観光キャラクター出動 125回以上 ③町産商品PR 13回	◎
26 西原町	11	緑のリサイクル事業	R4 ～ R13	木枝廃棄物を利用した「循環のシステム」を構築し、町内家庭及び地域清掃、公共施設で出た木枝を堆肥化し、活用する。	・木枝の収集量の把握 ・廃棄物処理施設技術管理者の資格の取得 ・破砕機の購入	・木枝の収集量の把握179,948kg ・廃棄物処理施設技術管理者の資格の取得 ・破砕機の購入	◎
27 与那原町	1	① 与那原町魅力発信事業	H26 ～ R13	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベントを実施する。	・与那原大綱曳まつりへの50,000人誘客とアンケートによる満足度70%の達成(ぜひ、次回も参加したい人の割合) ・その他事業での8,000人の誘客。	・与那原大綱曳まつりへの50,000人誘客:45,000人 ・アンケートによる満足度70%の達成(ぜひ、次回も参加したい人の割合):81% ・その他事業での8,000人の誘客:6,440人	○
27 与那原町	1	② 美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ～ R13	コンパクトな町域を活かして、町内を安心・安全で気持ちよく回遊・散歩できるように公共空間(道路等)の美化・緑化を促進し、環境を整え、町民のみならず町外・県外の方々が訪れた際にきれいなまちという印象を与えられるような景観・美観の創出を図る。	・本事業による取組の結果、散歩しやすきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答(80%)について、アンケートで検証する。	・アンケート調査にて、本事業による取組の結果、散歩しやすきれいなまちとしてふさわしい景観及び環境であるを含め、再度訪れたいと概ね肯定的な回答(80%):85%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
27 与那原町	2 ①	きめ細かな児童生徒支援事業 (小学校・中学校)	H24 ～ R13	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。 また、放課後の児童の学びをサポートする為、放課後学習支援員を配置する。	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.9ポイント以上 ・不登校児童生徒復帰率10%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差-0.9 中学校:県との差+2.6 ・不登校児童生徒復帰率:17.5% ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上:93.02%	○
27 与那原町	2 ②	国際理解人材育成事業	H24 ～ R13	国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導助手を派遣する。	英検合格率5%上昇	英検合格率:2.8%	未
27 与那原町	3 ①	きめ細かな児童生徒支援事業 (幼稚園)	H30 ～ R14	特別な支援を要する児童に対し支援をする事により、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活のスムーズな促しを諮るため、個に応じたきめ細かな支援を行う事が出来るよう特別支援保育支援及び特別支援コーディネーターを配置する。	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含めたアンケート実施結果:96%	◎
27 与那原町	3 ②	非課税世帯等学童クラブ利用料助成事業	R4 ～ R13	非課税世帯等の児童が町内の学童クラブを利用した場合に、経済的負担を緩和するために利用料を軽減する学童クラブへ、利用料軽減に要した費用の一部を助成する。	・利用料助成対象者にアンケート実施。対象者の内、80%以上が「利用料助成により学童を利用できた、就労できた又は就労を継続できた」と回答することを成果目標とする。	・利用料助成対象者へのアンケートを実施し、80%以上が「利用料助成により学童を利用できた、就労できた又は就労を継続できた」と回答:53%	未
27 与那原町	4	与那原町海外友好親善大使人材育成事業	H27 ～ R14	文化交流を推進するため、与那原町出身の海外移住者子弟を本町で研修生として受け入れ、日本語研修及び文化研修等を通して、本町及び本県と移住先国とのネットワークを強化し、友好親善並びに沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。	・与那原町における交流会でのアンケート:違う国の文化や歴史に興味を持った人の割合:90% ・帰国後の研修報告会でのアンケート:沖縄・与那原に関心がある人の割合:90% (PR大使としての活動の実施)	・与那原町における交流会でのアンケート:違う国の文化や歴史に興味を持った人の割合:90% ・帰国後の研修報告会でのアンケート:沖縄・与那原に関心がある人の割合:100% (PR大使としての活動の実施)	◎
27 与那原町	5	新しい公共交通検討事業	R1 ～ R4	高齢者や障がい者等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	需要や課題等の実態把握の完了	需要や課題等の実態把握の未完了	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
27 与那原町	6	災害対策備蓄整備事業	H28 ~ R4	沖縄県は他県から海を隔てた遠隔の地に位置し、他県からの本格的な応援等の到着に時間を要することから、避難施設における長期間の生活を余儀なくされる可能性が高い。被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品等の整備及び入替を計画的に実施し、災害に強いまちづくりの実現を図る。	町民増加分及び賞味期限切れ食料等の入替 非常用食料 1,272食 ・粉ミルク 10缶 ・保存水(500ml) 2,304本	町民増加分及び賞味期限切れ食料等の入替 非常用食料 1,320食 ・粉ミルク 10箱 ・保存水(500ml) 2,304本	◎
27 与那原町	7	与那原町伝統文化発信事業	R4 ~ R4	与那原町の伝統文化の魅力を町民向けに発信することにより、その継承発展につなげ後継者の育成を図る。また合わせて県内外へ発信することにより、観光客の誘致につなげる。	・映像の撮影 ・コンテンツ等制作 ・架台の作成 ・大綱架台作成、旗頭架台作成、衣装の購入 ・大綱曳資料(緞帳)活用展示 ・資料館の看板設置 ・案内看板設置	・映像の撮影 ・コンテンツ等制作:一式 ・架台の作成:一式 ・大綱架台作成、旗頭架台作成、衣装の購入:一式 ・大綱曳資料(緞帳)活用展示:一式 ・資料館の看板設置:一式 ・案内看板設置:一式	◎
27 与那原町	8	与那原町豊かな暮らしを支える交通環境構築事業	R4 ~ R14	町民の豊かな暮らしを支え、新たなまちづくりを達成するためには、町内外への移動について、安心安全で円滑に移動できる、交通環境を整える必要がある。そのため、本事業で交通環境を整えるための各種施策を実施する。	①公共交通教育の理解 参加人数の80%が理解 ②自転車利用に係る安全確保のための方策をだす ③バス停ベンチ設置率 25%以上	①公共交通教育の理解:100% ②自転車利用に係る安全確保のための方策をだす:自転車ネットワーク計画の策定 ③バス停ベンチ設置率:36.60%	◎
27 与那原町	9	新しいまちづくりに向けた公有地活用事業	R4 ~ R5	沖縄県の均衡ある発展に向けた東海岸地域の活性化の為、本町への新たな経済効果(産業、雇用、税収等)を生み出すことを目的とし、東浜地区に存する3つの公有地への企業誘致を図る。	・基本計画の策定 ・実施方針、公募資料の作成	・基本計画の策定:完了 ・実施方針、公募資料の作成:完了	◎
27 与那原町	10	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ~ R5	運玉森での平和学習の機会を増やすため、山頂付近での掲示板や床敷の表示板及び山頂までの散策路の整備を行い、登山者の安全を確保する。	・斜面崩落補強詳細設計の策定 ・磁気探査業務の実施	-	繰
27 与那原町	11	与那原町健康づくり支援環境整備事業	H29 ~ R4	健康な体をつくり、健康・長寿を達成するために、与那古浜公園内に施設整備を行う。	与那古浜公園園路舗装整備工事の実施(園路ゴムチップ舗装A=2,043㎡)	-	繰
28 南風原町	1 2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ~ R13	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	外国の人と友達になったり、外国のことについてももっと知ったりしてみたいと思う児童の割合:80%以上	割合:88.5%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 3	学力調査等事業	H24 ～ R13	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。 また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握するとともに、外部講師による公開授業を実施し、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	①標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 ・小学2年:2科目/2科目 ・小学3年:2科目/2科目 ②小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ③中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上	① ・小学2年:1科目 ・小学3年:0科目 ②+1.1ポイント ③ ・中1 数学:-0.5 ・中2 数学:+0.3	△
28 南風原町	1 4	学習支援員配置事業	H24 ～ R13	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	・小学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-1.0ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査において県と本町との平均正答率の差の合計 数学+5.1ポイント以上	・算数1ポイント ・数学-0.2ポイント	△
28 南風原町	1 5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R13	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	アンケート結果:96.5%	◎
28 南風原町	1 6	学校ICT推進事業	H24 ～ R13	教員のICT機器の習熟及び学校教育の質の確保するため、ICT支援員を配置する。また、クラス数が増えた学校へ電子黒板一式を整備し、授業環境の効率化を図る。	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上	・アンケート結果:94.06% ・アンケート結果:91.37%	◎
28 南風原町	1 7	教育相談支援事業	H24 ～ R13	不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。	不登校児童生徒復帰率:22.8%以上	復帰率:6.3%	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
28 南風原町	1 8	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24 ～ R13	中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・中学校 英語+5.0ポイント以上	1年:-3.9 2年:-4.6	未
28 南風原町	1 9	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R13	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要な派遣費用の支援を行う。	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:87.7%	◎
28 南風原町	1 10	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R13	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する	アンケート結果:94.12%	◎
28 南風原町	1 11	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ～ R13	県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。	保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上	アンケート結果:100%	◎
28 南風原町	1 12	南風原町学校プール日よけ設置事業	R4 ～ R5	プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策のために日よけ設備の設置を行う。	実施設計の完了	・実施設計の完了	◎
28 南風原町	2 1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	・アンケート結果:81%	◎
28 南風原町	2 2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R13	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	来客者数:3,117人	○
28 南風原町	2 3	シマじまガイド事業	H24 ～ R13	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	シマじまガイド参加者:1,700人	参加者:1,128人	未

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
28 南風原町	2 4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R13	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,300人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:6,000人	・利用者数:1,094人 ・大会来場者数:2,514人	未
28 南風原町	2 5	南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R13	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえるんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・観光サイトアクセス数:190,000件	観光サイトアクセス数:112,863	未
28 南風原町	2 6	南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R1 ～ R6	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かし、照屋地区では都市計画決定に向けた図書の作成を行う。また、津嘉山地区については整備計画図の検討を行う。	照屋地区:都市計画決定の図書作成完了 津嘉山地区:整備計画図の策定完了	-	繰
28 南風原町	2 7	南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R2 ～ R6	本町の産業振興を図り実現可能な広域商業交流ゾーンの形成を図るため、優先して事業化を図る区域の評価、検討を行い実現化方策や、意見交換会を重ね地権者の合意形成を図る。	・実現化方策の検討完了 ・概算事業費の算出 ・地権者意見交換会の開催	・検討完了 ・概算事業費の算出実施 ・地権者意見交換会の開催済	◎
28 南風原町	2 8	ふるさと博覧会事業	R4 ～ R13	ふるさと博覧会を開催し町の知名度を向上させ観光客の誘客を図る。	来場客数:9,000人	来場客数:4,190人	未
28 南風原町	2 9	南風原町商品展開力強化支援事業	H24 ～ R8	本町の地域資源を活用して製造及び販売する商品のブラッシュアップ、企業マッチングを支援するとともに、販路開拓を図る。また、優れた特産品については、町内ブランド「はえばる良品」の認証を行う。	商品改良の実施 「はえばる良品」の認証の実施	・商品改良の実施済 ・「はえばる良品」の認証の実施済	◎
28 南風原町	2 10	南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R6	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	導入母牛の子牛とそれ以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合 牝110% 去勢110%以上	(牝)105.29% (去勢)108.7%	未
28 南風原町	3 1	草木リサイクル事業	H24 ～ R13	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分場の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破碎し堆肥化する。	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):516トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):106トン	・家庭系草木のリサイクル量:481t ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量:98t	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
28 南風原町	3 2	環境保全3R推進事業	R1 ～ R13	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分場の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルを推進する。	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 1,200トン 廃食油の収集分別量19,500リットル	・資源ごみ収集分別量:870t ・廃食油の収集分別量:15,833t	○
28 南風原町	4 1	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R13	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、民間の賃貸住宅等を利用している本町の学童クラブに対して、家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭・非課税世帯等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・アンケート結果:99%	◎
28 南風原町	4 2	認可外保育園支援事業	R1 ～ R13	出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の児童が通園する認可外保育園に対して1.運営補助、2.傷害保険補助、3.歯科検診補助を行うとともに、町外認可外保育園児の保護者に対し、町外認可外保育児童助成の補助を行う。	・園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:90.9% ・アンケート結果:80.0%	◎
28 南風原町	4 3	輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R13	外国人観光客の急増により、観光客から麻しん、風しんにかかるリスクが増加していることから、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	・集団感染の発生件数 0件	◎
28 南風原町	5 1	陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R13	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して、壕内外のガイド案内を実施する。	見学者数9,000人	・見学者数:4,427人	未
28 南風原町	5 2	子ども平和学習交流事業	H24 ～ R13	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもによい変化がみられた:90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味がわいた児童:90%	・アンケート結果:100% ・アンケート結果:100%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
28 南風原町	5 3	南風原町海外移住者子弟研修生受入事業	H24 ～ R13	それぞれの生まれ育った国や地域への理解を深め、海外と本町を結ぶ懸け橋となる人材育成を図るため、南風原町出身の海外移住者子弟を研修生として受け入れ、移民の歴史をはじめとした、相互の文化と歴史の学習を実施する。	研修後、研修生・ホームステイ先・研修関係者に対してアンケートを実施 ・研修終了後、移民史に興味があった:80%以上 ・日本語をさらに習得したい:80%以上 ・日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:80%以上 ・海外の子弟と交流ができてとても良かった:80%以上 ・ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れたい:70%以上	・研修終了後、移民史に興味があった:100% ・日本語をさらに習得したい:100% ・日本や沖縄の文化や歴史に以前より関心を持つようになった:100% ・海外の子弟と交流ができてとても良かった:100% ・ホストファミリーとしてまた研修生を受け入れたい:-	○
28 南風原町	5 5	文化財活用事業	R4 ～ R4	町文化財を活用した歴史の継承及び観光誘客を図るため、町指定文化財を紹介する標柱及び解説板を整備する。	見学者等にアンケート調査を実施 「文化財についての理解が解説板により深まった」という割合が80%以上	未実施	未
28 南風原町	6 1	長寿県復活食の応援事業	H25 ～ R13	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	中学2年生の継続受診率60%(令和元年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか)	・継続受診率:78.1%	◎
28 南風原町	7 1	南風原町観光地域保全対策事業	R4 ～ R4	河川の氾濫等に伴う、観光ルートの冠水、観光施設や集落地域の床上浸水等の災害から観光客及び住民の安心・安全を確保するため、被害の軽減に向けた基本設計を策定する。	基本設計の策定完了。	基本設計の策定完了	◎
28 南風原町	7 2	南風原町観光ルート安全対策事業	R4 ～ R4	防災、減災への取り組みとして、台風や局地的豪雨により河川の氾濫、浸水が想定される際に、観光客や河川沿線の住民などの初期避難を迅速に行うため、河川の状況を監視するカメラを設置し、町のホームページや防災無線等でリアルタイムに情報発信ができるように整備する。	河川監視カメラ5基の整備完了	-	繰
29 渡嘉敷村	1 ①	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ～ R13	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。	①年間入域観光客数 134,800人以上 ②観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	①年間入域観光客数 105,497人 ②観光客を対象としたアンケート結果:82%	○
29 渡嘉敷村	1 ②	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海兵、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図れたか(80%以上)をふくめ、アンケートにより本事業のあり方について検証する	アンケート結果:86%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	1 ③	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ～ R13	渡嘉敷村の観光振興を図るため、修学旅行の誘致活動等に取組む観光協会への支援を行う。	①年間入域観光客数 134,800人以上 【参考指標 R1実績】 イベント来場者(参加者)数 ・とかしきまつり 600人 ・とかしきマラソン 890人 ・冬季(11月～3月)20,394人 ②修学旅行受入校数 10校以上/年	①年間入域観光客数 106,497人 ②修学旅行受入校数 0校/年	未
29 渡嘉敷村	1 ④	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ～ R13	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故 1件	未
29 渡嘉敷村	1 ⑤	安心安全な村づくり推進事業	R4 ～ R4	持続可能な観光地を形成するために、村内の防犯灯が無い暗い道にLED防犯灯を設置し、夜間においても安心安全が確保された離島特有な閑静な町並みが広がる観光地として、新たな滞在型観光客の誘致を図る。	観光客を対象としたアンケートを実施し、集落内(夜間)の安心さ・安全性に関する設問に満足、やや満足と回答した割合が80%以上。	アンケート未実施	未
29 渡嘉敷村	2 ①	自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ～ R13	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港～那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃の半額を補助する。	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(満足度80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:99%	◎
29 渡嘉敷村	2 ②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ～ R13	渡嘉敷村営定期船の欠航時、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援することで、利便性を確保する。	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	アンケート結果:100%	◎
29 渡嘉敷村	3 ①	小学校学習支援員配置事業	H24 ～ R13	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、教育環境を改善し学力向上を図るため学習支援員を配置する。	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+7.9ポイント以上	県と本村との平均正答率+4.2ポイント	未
29 渡嘉敷村	3 ②	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会、県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、運賃、宿泊費、航空運賃等の補助を行う。	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:84%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
29 渡嘉敷村	3 ③	家庭教育支援事業	H28 ～ R13	村内に在籍する小学校5年生から中学校3年生までを対象とし、Web会議システムを用いたオンライン双方授業を実施することにより教育環境格差の大きい離島地域において、村外・県外と同等レベルの教育を受けることができる環境を整備する。	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1以内とする。	全国と本村の平均点の差を:-21.2点	未
29 渡嘉敷村	4 ①	渡嘉敷村農村整備振興事業	R4 ～ R13	農業(農家の利便性、安全性の確保及び新規農業従事者獲得に向けたアピール)、観光(自然を感じられる散策コースとしてアピール)、環境(動植物保護のための保全活動)の3つの総合的な観点から農村地域の整備を行い、魅力と活力のある継続可能な農業振興を図る。	村民・観光客へのアンケート 農環境が改善した80%以上	アンケート結果:80%	◎
30 座間味村	1 ①	座間味村海域安全隊事業	H24 ～ R13	村内指定の3ビーチにおいて、観光客の増加する4月中旬から11月中旬の期間、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー員等を配置する。	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	◎
30 座間味村	1 ②	座間味村がんばる観光支援事業	H24 ～ R13	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金を交付するとともに、県外での観光PR活動の実施、PR素材の制作を行う。	入域観光客数112,000人	入域観光客数:75,413人	未
30 座間味村	1 ③	座間味村観光受入拠点事業	H24 ～ R13	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	・アンケート結果:86.2% ・アンケート未実施	△
30 座間味村	1 ④	座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ～ R5	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や記念碑等の周辺環境整備を行う。	平和の塔進入路の調査業務及び設計業務の完了	平和の塔進入路の調査業務及び設計業務の完了	◎
30 座間味村	1 ⑤	座間味港緑地公園照明設備更新工事事業	R4 ～ R5	村内をはじめ、県内又は県外のスポーツ団体を誘致し、地域のスポーツ振興、活性化を図るため、本村既存の緑地公園グラウンドの照明設備の更新工事を行う。	実施設計の完了	実施設計の完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
30 座間味村	2 ①	座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R13	定期船欠航時等の沖縄本島への移手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	アンケート結果:99.5%	◎
30 座間味村	2 ②	座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R13	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	利用者アンケートを行い、「事業に満足している」との回答 80%以上を目標とする。	アンケート結果:82.6%	◎
30 座間味村	2 ③	座間味村冬季船舶運賃低減化実証実験事業	R4 ～ R6	入島手段が船舶に限られる座間味村では、オフシーズン(冬季1月～3月)における観光客の落ち込みが見られる。冬季観光客の増加と年間観光客数の平準化を図るため、那覇発の往復船舶運賃を低減化する実証実験を行う。	1月～3月旅客数:8,000名以上 1月～3月上売:34百万円以上	1月～3月旅客数:13,017名 1月～3月上売:6,084万円	◎
30 座間味村	2 ④	座間味村大型2種免許取得助成事業	R4 ～ R4	座間味村内の唯一の公共交通機関である村営バスについて、大型2種免許取得者が村内に少数であることから、今後のバス運行を安定的に続けるための運転手確保を目的とし、免許取得費用並びに取得期間における宿泊費や交通費の支援を行う。	助成者数3名	-	-
30 座間味村	3 ①	座間味村防災体制強化事業	R4 ～ R4	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、緊急車両(消防車)を整備する。	緊急車両(消防車)1台の導入	-	繰
30 座間味村	3 ②	座間味村地域防災計画策定事業	R4 ～ R4	災害への備えや発災時において住民及び観光客等の安全を確保するため、村の防災体制の基本的事項を定めた地域防災計画の全面的な見直しを行う。	座間味村地域防災計画の更新完了	-	-
31 粟国村	1 ①	環境美化促進事業	H24 ～ R13	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケート結果:81%	◎
31 粟国村	1 ②	粟国村「ア」のくにづくり推進事業	H26 ～ R13	イベントを通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、観光誘客を図るため、粟国村「ア」の国まつりの開催及び広報周知活動を実施する。	・イベント出演者(粟国島芸能):演舞者:35人(むんじゆる節、むんじゆる太鼓、マースヤー、エイサー) ・イベント来場観光客数:94人(2日間) ・フェア全体での来場客数(3日間で15万人)の1割である15,000人に観光PR用の配布物を提供する。	・イベント出演者(粟国島芸能):演舞者:47人 ・イベント来場観光客数:36人 ・来場者へ観光PR用の配布物を提供:0人(コロナにより規模縮小となり、ブース撤去のため未実施)	△
31 粟国村	1 ③	ハブ対策事業	R2 ～ R13	地域住民や観光客の安全確保の為、ハブの捕獲・駆除を行う。	・ハブ咬傷被害:0件	・ハブ咬傷被害:0件	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
31 粟国村	2 ②	学力向上支援事業	H27 ～ R13	島内の児童生徒の学習環境の充実を図り、生徒の学力向上を図るため、村営塾を実施する。	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:2ポイント以上 中学校:平均以上	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校: +0.8P 中学校: +0.3P	△
31 粟国村	2 ③	児童・生徒派遣支援事業	H25 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。:100%	◎
31 粟国村	3 ①	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3 ～ R13	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	粟国村への観光入域者数:3,300人以上	粟国村への観光入域者数:2,077人	未
31 粟国村	3 ②	粟国村自動車航送運賃低減化事業	R2 ～ R13	村民が沖縄本島と粟国間の移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図る為、粟国～那覇間の車両構想利用者に対して往復運賃の半額補助を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。:83%	◎
31 粟国村	3 ③	粟国村墓地周辺環境整備事業	R4 ～ R6	伝統的な墓地を次世代に継承するため、景観形成及び環境保全を目的とした墓地通路及び手すり等の整備を行う。	粟国村墓地周辺環境整備の基本計画の完了	粟国村墓地周辺環境整備の基本計画の完了	◎
31 粟国村	3 ④	定住促進住宅整備事業	H25 ～ R5	小規模離島という特殊な環境により、民間経営の集合住宅の供給が不足していることから、人口減少抑制に向けた定住促進対策として、U・Iターン者の移住者等を受け入れる住宅の整備を行う。	建築工事にに向けた実施設計の完了	建築工事にに向けた実施設計の完了	◎
31 粟国村	4 ①	和牛改良支援事業	H25 ～ R8	本村畜産業支援のため、付加価値の高い子牛の生産ができるよう県内外から母牛となる素牛としての優良雌子牛の導入を支援して畜産業の振興を図る。	優良雌子牛導入10頭	優良雌子牛導入4頭	未
32 渡名喜村	1 ①	環境保全・美化推進事業	H24 ～ R13	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)についてのアンケート結果:100%	◎
32 渡名喜村	2 ①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R13	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリー欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。:100%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「繰越」・・・「繰」
 「遂行困難」・・・「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
32 渡名喜村	3 ①	渡名喜村消防・急患搬送体制強化事業	R4 ～ R4	村民、患者及びその家族、消防団員等の新車両購入による迅速な消防・急患搬送出勤態勢の強化及び車両整備の充実の満足度を向上させるため、消防・急患搬送車の新車両の購入を行い、消防・急患搬送体制の強化を図る。	消防車及び急患搬送車両の導入完了	-	繰
33 南大東村	1 ①	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R13	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを南大東村診療所より保守管理料の1/2を2年に1度使用料として折半する。	集団検診受診率36.0%以上。	集団検診受診率 32.8%	○
33 南大東村	1 ②	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R13	定住促進を図る為、沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民や、40歳以上の胃がん及び乳がん(マンモグラフィ)検診受診者の渡航費を支援する。	渡航費支援が必要な人への支援率100%。	渡航費支援が必要な人への支援率100%。	◎
33 南大東村	2 ①	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R13	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:81%	◎
33 南大東村	3 ①	人材育成派遣事業	H25 ～ R13	子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	派遣された児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	アンケート結果:100%	◎
33 南大東村	4 ①	循環型農業推進事業(土壌改良材製造施設整備事業)	R4 ～ R6	高額な輸送費等による高コストや病害虫侵入への懸念から、南大東村では堆肥が積極的に活用されていないのが現状である。島内の農業生産性の向上のため、倒木や水草・汚泥等を活用した土壌改良材の自製を図る。	土壌改良資材の実証試験および施設の基本設計、自然池の汚泥等混合による実態調査。	-	繰
33 南大東村	5 ①	大池周辺自然観察施設整備事業	R3 ～ R4	南大東島の大池周辺に多数生息している特別天然記念物をはじめとする動植物や島外から飛来する野鳥等を生態観察する施設がないため、自然観察施設の整備により、大池のオヒルギ群落等の希少な野生動物種の保全と大池の景観保全を図り新たな観光資源としての機能向上を図る。	浮棧橋設計業務及び監理業務、建築工事の完了。	-	繰
33 南大東村	6 ①	南大東小学校社会科副読本編集事業	R4 ～ R4	村独自の社会科副読本を作成し、地域に根差した社会科学習を行うことにより、次世代を担うこども達へ村の歴史・文化の継承を図る。	副読本の編集完了	副読本の編集完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
34 北大東村	1 ①	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R13	観光地周辺・重要アクセス道路の修景及び美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:82%	◎
34 北大東村	2 ①	オンライン双方向授業支援モデル事業	H25 ～ R13	村営塾を開講し、児童生徒の個々の学力に応じた学習支援員による指導、及びNCTを活用した現役東大生によるオンライン双方向授業を実施することにより、児童生徒の学力向上を図る。	・令和4年度沖縄県学力到達度調査における県と北大東村との平均正答率の差 ①小学校 県平均以上 ・3年生から6年生の実施 ②中学校 県平均以上 ・1年生、2年生の実施	① 県 60.1% 村 65.3% ② 県 48.2% 村 50.7%	◎
34 北大東村	3 ①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24 ～ R13	安心・安全に子育てできる環境を整備するため支援員を配置し、認定こども園を実施することで、保護者の育児への負担感を軽減する。	・対象となる幼児の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じた割合(80%以上)を含め事業のあり方を検証する。	・アンケート結果:88%	◎
34 北大東村	3 ②	離島の児童生徒の交流促進事業	H24 ～ R13	児童生徒の島外・県外へのスポーツや交流学習における派遣渡航費の補助を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	・派遣された児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する。	・アンケート結果:100%	◎
34 北大東村	3 ③	離島特別医療質確保推進事業	H24 ～ R13	島内で対応できない専門医療を受ける際の渡航費の一部助成を行うとともに、専門医療従事者を招聘して相談や検診を行うことにより村民の心身の健康に関する不安を解消する。	・渡航費支援が必要な人への支援率:100% ・心身の健康に関する不安が解消されたか(80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	支援率:100% ・アンケート結果:100%	◎
34 北大東村	4 ①	北大東村景観形成事業	H26 ～ R13	北大東村特有の地域性にあつた景観づくりに向けて、海岸道路沿いの周辺環境に配慮した景観整備を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:82%	◎
34 北大東村	5 ①	土づくり推進事業	R3 ～ R12	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。	・土壌カルテ作成(50圃場)	-	繰
34 北大東村	6 ①	北大東村水産施設等海水供給施設整備事業	H31 ～ R4	鮮度保持を行う水産施設等へ海水を供給するため、海水供給施設を整備し、鮮魚の島外出荷量の増加を図る。	・鮮魚の島外出荷量 41.1t以上/年	-	繰
34 北大東村	7 ①	避難所強化事業	R4 ～ R4	避難所の機能強化を図り災害発生時の安全性の確保を図る。	・避難所の安全性が向上されたか(80%以上)を含め、避難所利用者等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:83%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
34 北大東村	8 ①	北大東村深層地下海水利活用事業	R4 ～ R7	水産業振興や新たな産業の創設を図るため、深層地下海水の利活用を行う。	・深層地下海水の利活用プロジェクトの件数 2件	ー	繰
35 伊平屋村	1 ①	商工観光産業支援事業	H24 ～ R13	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	民泊利用者数 4,431人以上	民泊利用者数:1,252人	未
35 伊平屋村	1 ②	観光地イメージアップ推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地や観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	アンケート結果:80%	◎
35 伊平屋村	1 ③	誘客イベント推進事業	H24 ～ R13	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	村内入域観光客数 11,925人以上	村内入域観光客数:18,044人	◎
35 伊平屋村	1 ④	観光振興基本計画策定事業	R4 ～ R4	本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくため、「伊平屋村観光振興基本計画」を策定する。	観光振興基本計画の策定完了	観光振興基本計画の策定完了:完了	◎
35 伊平屋村	2 ①	病害虫防除事業	H24 ～ R13	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	・さとうきびの生産量 5,277トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 6.00匹/日 以内	・さとうきびの生産量 5,203トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 1.30匹/日 以内	○
35 伊平屋村	2 ②	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ～ R13	本村の畜産業の振興を図る為、畜産農家へ優良繁殖牛導入を支援する。また、農家へ導入費用の一部を助成し、経営の安定化を図るとともに計画的な優良繁殖牛導入を行う。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 103%以上	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:107%	◎
35 伊平屋村	3 ①	伝統文化継承支援事業	H24 ～ R13	伝統芸能及び文化の保存継承を図るため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	①伝統文化教室への参加率 100% ②伝統芸能演舞者数 80名 ③来場者数 300名	①伝統文化教室への参加率:100% ②伝統芸能演舞者数:中止 ③来場者数:中止	未
35 伊平屋村	3 ②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R13	特別な支援を要する児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、児童生徒の学力に応じた学習指導を行うことで学力及び学習意欲の向上を図る。	①対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 ②沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) -5ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) -4.3ポイント以上	小学校(国語・算数・理科):-9.375ポイント 中学校(国語・数学・理科・社会・英語):-2.95	△

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	3 ③	英語学習支援事業	H25 ～ R13	海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材を育成する。	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	アンケート結果:87.5%	◎
35 伊平屋村	3 ④	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	アンケート結果:84.6%	◎
35 伊平屋村	3 ⑤	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(85%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	アンケート結果:86%	◎
35 伊平屋村	3 ⑥	福祉従事者人材育成事業	R4 ～ R6	村では過去に福祉従事者の為に様々な事業で資格取得に向けて取り組んでおり、有資格者を輩出しているが、受け皿である事業所の施設環境の整備が追いついていない状況である。介護事業所の改革や研修実施、収益改善など効率化構築作業を行い、また、施設管理者向けのマネジメント等、施設改善に繋げ、維持向上を行う。	村内外での福祉人材育成確保研修の完了 福祉人材3名以上	村内外での福祉人材育成確保研修の完了 福祉人材:3名	◎
35 伊平屋村	3 ⑦	社会教育推進事業	R4 ～ R13	集落コーディネーターを育成し地域活性化を推進するため、総合的支援を実施する。	地域の区長・住民へのアンケートで、支援プログラムの満足度(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	アンケート結果:65%	○
35 伊平屋村	3 ⑧	伊平屋村電子黒板ICT整備事業	R4 ～ R4	村内小中学校及び各区公民館にICT機器を整備し、学習の基盤となる情報活用能力及び主体的な学びの意欲を向上させ、学びの深化を図る。	機器の導入完了	機器の導入:完了	◎
35 伊平屋村	4 ①	幼稚園預かり保育支援事業	R4 ～ R13	保護者の育児における負担軽減を図るため、預かり保育を実施する。	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児における負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	アンケート結果:100%	◎
35 伊平屋村	4 ②	適正飼養推進事業	R4 ～ R8	本村の住みよい住環境の提供を図るため、猫の適正飼養に向けた条例などを策定する。	説明会等の実施 2回/年	説明会等の実施:3回	◎
35 伊平屋村	4 ③	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、自動車航送に係る運賃の支援を行う。	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:95%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
35 伊平屋村	4 ④	公営墓地等整備事業	R4 ～ R7	個人墓地の散在化を防ぎ、土地の有効利用を促進する。また、墓地所有に係る個人負担を軽減し生涯安心して生活できる環境づくりを行うため公営墓地を整備する。	墓地基本計画の策定完了	墓地基本計画の策定:完了	◎
36 伊是名村	1 ①	観光地等クリーンアップ事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地として景観形成を図るため、観光施設等の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるか、当該事業のあり方をアンケート調査結果:92%	◎
36 伊是名村	1 ④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24 ～ R6	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品などの修復を行う。	旧蔵品(復元資料)を活用した祭事への来場者数:250人 アンケートによる満足度調査:80%	旧蔵品(復元資料)を活用した祭事への来場者数:81人 アンケートによる満足度調査:71%	未
36 伊是名村	1 ⑤	伊是名モータースポーツ支援事業	H26 ～ R13	観光客の誘致を図るため、モータースポーツ大会の開催を支援する。	来場者数:453人以上	来場者数:920人	◎
36 伊是名村	1 ⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ～ R13	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地としてふさわしい景観であると感じるか、当該事業のあり方をアンケート調査結果:56%	○
36 伊是名村	1 ⑨	伊是名海岸環境整備事業	R3 ～ R7	地域資源を活かした心安らく魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。	伊是名海岸環境整備事業における実施設計業務の完了	伊是名海岸環境整備事業における実施設計業務の完了	◎
36 伊是名村	2 ①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ～ R13	島民に対し、フェリー自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか、島民へのアンケート実施結果:89.3%	◎
36 伊是名村	2 ②	定住促進住宅整備事業	H30 ～ R8	Iターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。	用地買収・建築設計・建築工事の完了	-	繰

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
36 伊是名村	3 ①	人材育成事業(日高小との交流)	H24 ～ R13	児童に広い視野を持たせるため、伊是名小学校6年生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習・体験学習を実施する。	○児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成 ○保護者へのアンケートで、県外での交流により、児童の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	○児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成 ○県外での交流により、児童の視野が広まったと感じたか保護者へのアンケート実施結果:90%	◎
36 伊是名村	3 ②	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R13	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種大会への参加を支援する。	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	派遣された児童・生徒の保護者へ、児童・生徒が島内ではできない経験ができたかアンケート実施結果:94%	◎
36 伊是名村	3 ③	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R13	預かり保育の実施により保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保護者へのアンケートで預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	保護者へ預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたかアンケート実施結果:100%	◎
36 伊是名村	3 ④	グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	キャリア教育を受けた児童生徒へ、働くことへの興味・関心が湧いたかアンケート実施結果:81%	◎
36 伊是名村	3 ⑤	学習支援事業	H24 ～ R13	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員の配置を行う。	平成28年度～令和2年度までの沖縄県学びのたしめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -13.3ポイント以上 中学校 -1.2ポイント以上	平成28年度～令和2年度までの沖縄県学びのたしめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -2.1ポイント 中学校 -8.4ポイント	△
36 伊是名村	4 ①	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R13	安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上のため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び海上輸送費用を支援する。	さとうきびの単収 : 6,600kg	さとうきびの単収 : 5,627kg	○
36 伊是名村	4 ②	農地の地力強化推進事業	R4 ～ R8	浚渫土砂から礫を取り除き、農地へ作土として供給することで地力強化を推進するとともに、資源循環による環境負荷の低減を図る。	石礫除去機導入の完了	-	繰

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
37 久米島町	1 ①	優良雌牛導入事業	H26 ～ R13	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:105%以上	価格差の割合:106%	◎
37 久米島町	2 ①	久米島紬販売促進事業	H24 ～ R13	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。	久米島紬及び関連商品の年間売上高 ①反物売上額 6,500万円以上 ②小物売上額 1,200万円以上	①反物売上額 6,898万円 ②小物売上額 1,043万円	○
37 久米島町	2 ②	久米島特産品販路開拓事業	H25 ～ R13	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。	開催、出展した物産展における島特産品の販売額2,352万円以上	販売額:1,506万円	未
37 久米島町	2 ③	地域型就業意識向上支援事業	H30 ～ R13	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。	①各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して【良いイメージ】と回答した割合(80%以上)」により本事業の効果を検証する。 ②小中高と本事業のプログラムを実施してきた18歳の生徒へ追跡調査を実施し、「将来、本町で仕事につきたいと回答した割合(50%以上)」により本事業の効果を検証する。	①アンケート結果:92% ②アンケート結果:48%	○
37 久米島町	2 ④	ブランディングサポート事業	R4 ～ R4	本町の島素材を活かした特産品の売上向上を目的に、既存商品のブラッシュアップを含めた、販売戦略手法や経営マネジメントを学べるブランディングセミナーを開催する。	セミナー参加事業所へのアンケートを行い「事業継続していく上で効果があったか」の問いに「効果的であった」と回答した割合80%以上	アンケート結果:80%	◎
37 久米島町	3 ①	観光誘客促進事業	H25 ～ R3	久米島空港に観光案内所を開設し、観光案内や観光情報の提供を行う。また、「久米島観光の日」に関連したイベントの開催や認知度向上のためのフォトコンテスト、島外イベントでのPR活動を行うとともに、観光開散期における新規誘客対策として新たな航空路線開拓として久米島、宮古島周遊ツアーの造成に向けた支援を行う。	①島外でのイベント来場者にアンケートを実施し、久米島に「いま訪れたい」と回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 ②来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 ③2島周遊ツアーへの参加者数:50名	①アンケート未実施 ②アンケート結果:84% ③2島周遊ツアーへ未実施	△

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
37 久米島町	3 ②	体験交流型観光商品開発販売促進事業	H24 ～ R3	観光関連商品の売上増加を図るため、島の資源を活用したプログラムの販売促進及び教育旅行の受入体制強化を図る。	観光体験プログラム売上額 14,035,802円以上	観光体験プログラム売上額 13,669,050円	○
37 久米島町	3 ③	航空運賃コスト負担軽減事業	H24 ～ R33	久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	久米島町への観光入域者数:126,000人以上	久米島町への観光入域者数:84,779人	未
37 久米島町	3 ④	久米島観光ブランディング事業	R1 ～ R3	久米島観光の「ブランド化」を進めるため、観光資源の高質化と高付加価値化を図るとともに、効率的な情報発信を行う。	ー	ー	◎
37 久米島町	3 ⑤	久米島らしい景観形成事業	R1 ～ R4	久米島らしい景観を形成し、草むら等を好むハブから観光客と住民を守るため、海岸等の清掃や草刈りを行う体制を強化し、安全安心な環境の整備と誰もが快適に楽しむことができる観光地の創出を図る。	ー	ー	繰
37 久米島町	4 ①	島外保育士確保対策事業	R1 ～ R5	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。	待機児童数 5人以下/R5.4.1時点	待機児童数 13人 R5.4.1時点	未
37 久米島町	5 ①	英語指導員配置事業	R1 ～ R6	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	・管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 ・管内2中学校の全国学力学習状況調査における平均正答率の全国との差が-3ポイント	・アンケート結果:86% ・平均正答率の全国との差:0ポイント	◎
37 久米島町	5 ②	基礎学力向上学習支援員配置事業	R1 ～ R7	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で 中学年(3年生・4年生) 県平均+6点以上 高学年(5年生・6年生) 県平均+7点以上	中学年(3年生・4年生) 県平均+5.1点 高学年(5年生・6年生) 県平均+3.5点	未
37 久米島町	5 ③	特別支援教育支援員配置事業	R1 ～ R8	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。	・特別支援教育支援員の対応への満足度(89%以上)を含め、対象児童生徒の保護者へのアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:88%	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
37 久米島町	5 ④	児童・生徒各種大会派遣支援事業	R1 ～ R9	島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、大会等に参加した生徒とその保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:83%	◎
37 久米島町	5 ⑤	小中アシスト相談員事業	R1 ～ R10	小中アシスト相談員を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行為の早期対応、改善に取り組み、不登校者数減少を図る。	不登校者数減少率6% 不登校者数計16人 小学校2人(R3年12月時点) 中学校14人(R3年12月時点)	不登校者数減少率6.25%	◎
38 八重瀬町	1 ①	八重瀬町外国語指導強化事業	R1 ～ R11	小中学校の発達過程に応じ外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差 平均以上	①小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査結果: 79.3% ②中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差: +0.2	○
38 八重瀬町	1 ②	八重瀬町ICT支援員配置事業	R1 ～ R12	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援と併せ、教員による電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業が展開できるよう小中学校にICT支援員を配置する。	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケート結果:95%	◎
38 八重瀬町	1 ③	八重瀬町学力向上支援事業	R1 ～ R13	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) 平均以上 中学校(国語・数学) 平均以上	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数): -1.7 中学校(国語・数学): +7.5	△
38 八重瀬町	1 ④	八重瀬町特別支援員配置事業	R1 ～ R14	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上):81.7%	◎
38 八重瀬町	1 ⑤	八重瀬町ICT教育強化事業	R1 ～ R15	校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を導入し、主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図る。	児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった(80%以上):93%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	1 ⑦	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	R1 ～ R16	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の活躍を支援する。	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	①スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上):93% ②派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上):100%	◎
38 八重瀬町	2 ①	八重瀬町イベント事業	R1 ～ R17	やえせ桜まつり(1月下旬～2月上旬)町内の地域資源を活用したイベントの開催を支援することで観光客の誘致を図る。	開催支援したイベントへの来場者数 7,400人	開催支援したイベントへの来場者数 25,400人	◎
38 八重瀬町	2 ②	八重瀬町観光地美化作業事業	R1 ～ R18	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上):95%	◎
38 八重瀬町	2 ③	運動公園施設等整備事業	R1 ～ R19	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	野球キャンプの受入れ 4件以上 サッカーキャンプの受入れ 4件以上	野球キャンプの受入れ 5件 サッカーキャンプの受入れ 6件	◎
38 八重瀬町	2 ④	YAESE 結 フェスタ事業	R1 ～ R20	(10月～11月) 町内の観光資源を活用し、町の観光認知度向上・町内への誘致を図るイベントの開催を支援することで、町内における需要の想起、交流人口の拡大、地域活性化を目指す。	開催支援を行ったイベントへの来場者数 32,000人以上	開催支援を行ったイベントへの来場者数 5,396人	未
38 八重瀬町	2 ⑤	八重瀬町観光プロモーション事業	R1 ～ R21	観光振興を推進するために観光プロモーションの管理業務支援員の配置、観光プロモーションの企画立案及び運営管理を行い、観光客の誘客を図る。	主要観光施設の入域客数 267,000人以上	主要観光施設の入域客数 約173,000人	未
38 八重瀬町	2 ⑥	八重瀬町スポーツ観光交流屋内運動施設調査事業	R1 ～ R22	各種スポーツキャンプやスポーツイベント等の誘致強化を図るため、既設施設を雨天時の屋内運動施設として、用途変更、長寿命化、また整備に向けての必要な調査を行う。スポーツツーリズムの実現に向け、調査に基づいて施設改修整備を行う。	①現地調査業務 ②各種法規検討業務 ③建物劣化度調査業務 ④建物耐震診断業務 ⑤利活用提案業務 ⑥概算工事費算出業務	①現地調査業務 :完了 ②各種法規検討業務 :完了 ③建物劣化度調査業務 :完了 ④建物耐震診断業務 :完了 ⑤利活用提案業務 :完了 ⑥概算工事費算出業務 :完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	3 ①	放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	R1 ～ R23	日中保護者が家庭にいない小学生に対し、放課後や学校休校日に子どもが安心して過ごせる場所を提供する。学童クラブを利用する非課税世帯に対して保育利用料を減免した場合に補助を行う。	保護者が、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担経験につながったか(80%以上)についてアンケート等により検証する。	保護者が、本事業により、就労できた又は就労を継続できたか、経済的な負担経験につながったか(80%以上)についてアンケート調査結果:100%	◎
38 八重瀬町	4 ①	農業用機械施設整備事業	R1 ～ R24	農業の高齢化に伴う離農および新規就農者等に対し、農業機械化推進のため、八重瀬町に機械を導入し、作業の効率化を通して、農業経営の安定化を図る。	農業機械の導入 トラクター(33馬力) 33馬力用プラソイラ トラクター(19馬力)2台 19馬力用植付機 2台 19馬力用スクープ 2台	農業機械の導入 トラクター(33馬力) 33馬力用プラソイラ トラクター(19馬力)2台 19馬力用植付機 2台 19馬力用スクープ 2台	◎
38 八重瀬町	4 ②	八重瀬町地産地消フェア事業	R1 ～ R25	農作物等や畜産・水産及びそれらを使用した加工品等の情報発信や展示販売等を行うイベントを開催し、農林水産業の振興を図る。	・地産地消まつり来場者数:4100人以上	・地産地消まつり来場者数:4450人	◎
38 八重瀬町	5 ①	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R26	実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用した栄養相談や食に関する啓発を行い、事業参加者の食に対する意識や健康観の向上を図る。	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当事業のあり方について検証する。	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当事業のあり方について検証する。:95%	◎
38 八重瀬町	5 ②	具志頭運動公園健康増進機能強化事業	R1 ～ R27	地域住民や利用者の健康増進を図るため、公認パークゴルフ場やウォーキングコース等を整備する。	・コース整備工事の完了 ・供用開始 ・南部圏域でのイベント実施	・コース整備工事の完了 :施設の供用開始 ・供用開始 :施設の供用開始 ・南部圏域でのイベント実施 :施設の供用開始	◎
38 八重瀬町	6 ①	輸入感染症対策推進事業	R1 ～ R28	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されることから、予防接種事業をさらに強化することにより、感染症の蔓延防止を図る。	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	◎
38 八重瀬町	7 ①	八重瀬歴史文化継承事業	R1 ～ R29	八重瀬町の歴史・文化の継承を図るため、八重瀬町の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として発刊する。発刊した冊子や調査成果を活用し、企画展を開催する。	企画展の開催 100人	企画展の開催:185人	◎
38 八重瀬町	7 ②	八重瀬町無形文化財活用推進事業	R1 ～ R30	八重瀬町内の多彩な無形民俗文化財等を教育や観光に広く活用するため、ワークショップ及び鑑賞公演のパッケージ化並びに既存施設の設備強化を行い、新たな文化観光コンテンツを整備する。	・各種団体との協議 ワークショップ及び公演内容の組み立て ・テスト公演による観覧者アンケートを実施 ・施設機能強化計画の策定完了	・各種団体との協議:4回 ・ワークショップ及び公演内容の組み立て:5演目 ・テスト公演による観覧者アンケートを実施:37件 ・施設機能強化計画の策定完了:完了	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
38 八重瀬町	8 ①	八重瀬町高齢者おでかけサポート事業	R1 ～ R31	公共交通の利用が不便な高齢者や交通弱者等の外出支援を行うため、住民ボランティアドライバーによる外出支援の実証運行を行う。	・期間内利用者数:約917人 (実証運行9か月想定)	・期間内利用者数:164人	未
38 八重瀬町	9 ①	学校施設予防改修事業(塩害防止)	R1 ～ R32	小学校校舎の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎外壁面の塗装対策を行う。	教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁等の亀裂件数:0件	教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁等の亀裂件数:0件	◎
38 八重瀬町	10 ①	運動公園省エネ化推進事業	R1 ～ R33	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため運動公園の省エネ化の推進を図る。	具志頭運動公園の年間の二酸化炭素排出削減量2.6t	具志頭運動公園の年間の二酸化炭素排出削減量2.6t	◎
38 八重瀬町	10 ②	八重瀬町防犯灯LED化推進事業	R1 ～ R34	既存防犯灯をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため防犯灯の省エネ化の推進を図る。	1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量0.4t/月	1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量0.4t/月	◎
38 八重瀬町	11 ①	八重瀬町スポーツ観光交流施設活性化事業	R1 ～ R35	Jリーグ規格を満たす練習拠点機能を有するサッカーグラウンド施設において、プロサッカーチームを誘致し、練習拠点として必要な環境整備を行い、サッカーを活用したスポーツツーリズムの推進を図る。	来場者数 2,600人 (県外観光客660人)	来場者数:12,768人 (県外観光客92人)	△
38 八重瀬町	12 ①	スポーツキャンプ事業	R1 ～ R36	スポーツチームのキャンプを誘致することで、観光客を誘致し、周遊と消費を促す。	スポーツチームのキャンプ4チーム誘致 周遊ツールを活用し、150万円の消費を促す。	スポーツチームのキャンプ誘致:4チーム 周遊ツールを活用した消費額:12万円	△
39 多良間村	1 ①	美化緑化推進事業	R1 ～ R37	魅力的な観光地としての景観を形成するため、観光関連施設や周辺道路等の美化・緑化を行う。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	・アンケート結果:85%	◎
39 多良間村	1 ②	多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	R1 ～ R38	1人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する。	(1)コンテンツ開発 2件の完了 (2)モニター実施 企業モニター 2社(計8名)の完了	(1)コンテンツ開発 2件の完了 (2)モニター実施 企業モニター 3社の完了	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
39 多良間村	2 ①	優良繁殖雌牛導入支援事業	R1 ～ R39	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 122%以上	・価格差の割合:122.5%	◎
39 多良間村	2 ②	地域循環型農業推進事業	R1 ～ R40	本村における農業振興のため堆肥施設に大型機械を導入し、農作物の生産性を高め、農家所得の向上及び資源循環型農業の確立する。	高性能選別機の導入 1台	-	繰
39 多良間村	3 ①	児童生徒島外教育諸活動助成事業	R1 ～ R41	島外の人と競争や交流する機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、本村の児童生徒がスポーツ、文化活動において、島外へ派遣される際の渡航費を支援する。	派遣された児童・生徒及び教諭、保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	・アンケート結果:96%	◎
39 多良間村	3 ②	学力向上推進ALT活用事業	R1 ～ R42	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	①小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 ②中学校 英検4級の保有割合:40%以上	①アンケート結果:88% ②保有割合:50%	◎
39 多良間村	3 ③	村営学習塾開設事業	R1 ～ R43	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みた上で臨機応変に対応できるように、オンラインでの支援も視野に入れ実施する。	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -4.5ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -5.0ポイント以上	・小学校-4.1P ・中学校-1.6P	◎
39 多良間村	3 ④	多良間村就業意識向上支援事業	R1 ～ R44	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	・アンケート結果:89%	◎
39 多良間村	3 ⑤	多良間村自然文化継承事業	R1 ～ R45	多良間村の歴史・文化の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復や古文書から繋がる年中行事の記録編集等を行い、資料を整理する。	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 167人以上 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 467人以上 ③シンポジウム来場者数 50人以上	①ふるさと民俗学習館の村民利用者数 169人 ②ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 743人 ③シンポジウム来場者数 90人	◎
39 多良間村	4 ①	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	R1 ～ R46	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	・アンケート結果:95.23%	◎
39 多良間村	4 ②	緊急車両(消防車)導入事業	R1 ～ R47	緊急車両(消防車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制の向上を図る。	・緊急車両(消防車)の導入	-	繰

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「－」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
39 多良間村	5 ①	多良間村心身障害児等渡航費助成事業	R1 ～ R48	本村では対応できない心身障害児及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費を助成する。	渡航費支援が必要な児童への支援率:100%	支援率:100%	◎
39 多良間村	6 ①	たらびん公園整備事業	R1 ～ R49	多良間村内の公園を整備する。多良間村内には遊べる場所がなく多良間村の児童生徒村民の成長の場としての公園整備をすすめ安心して遊べ休憩できる公園が必要である	整備工事(運動スペース、トイレ、駐車場)の完了	-	繰
40 竹富町	1 ①	健康診査用機材搬送事業	R1 ～ R50	島嶼地域において健康診査を受ける機会を確保し、健康診査の受診促進を図るため、検診に必要な検診車両を各島へ海上輸送する。	①特定健診対象者の受診率 60%以上 ②胃がん検診対象者の受診率 10%以上 ③婦人がん(乳がん)検診対象者の受診率 39%以上	①特定健診対象者の受診率 53.5% ②胃がん検診対象者の受診率 10.91% ③婦人がん(乳がん)検診対象者の受診率 36.11%	○
40 竹富町	1 ②	竹富町民等船賃負担軽減事業	R1 ～ R51	町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか85%	◎
40 竹富町	1 ④	大富高齢者ゆくい処施設整備事業	R1 ～ R52	西表東部地区において、大富保育所移転後の施設を高齢者ゆくい処施設として活用できる増改築工事を行い、介護サービスの充実、高齢者同士の交流の場、憩いの場、将来的には小規模多機能型居宅介護事業所が展開できる施設整備を行う。	増改築工事の完了	-	繰
40 竹富町	1 ⑤	祖納上村地区観光路整備事業	R1 ～ R53	西表島祖納地区の通称「上村(ウィムラ)」と呼ばれる一帯の国有地において、地域主導で利活用に向けた土地利用計画を進められている。点在している昔ながらの貴重な史跡や文化財を観光資源として活用するため、歴史・文化・自然をめぐるコースの整備、砲台跡の戦争遺跡としての整備及び平和の夕日公園(仮称)の整備を図る。	散策路整備に関する調査測量・設計業務の完了	散策路整備に関する調査測量・設計業務の完了	◎
40 竹富町	2 ①	竹富町観光誘客・受入対策事業	R1 ～ R54	滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。また、令和4年度はそれらにかかる観光振興基本計画の策定を行う。	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合(60%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合72.2%	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
40 竹富町	2 ②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R1 ～ R55	年長者からわらべ歌・方言等地域の無形文化財の資料収集を行い、地域住民や国内外へ情報を公開・発信し、伝統文化の伝承・発信・交流の取組みを行う。	公開に向けた資料収集の完了及び、映像資料のデジタル化	公開に向けた資料収集の完了及び、映像資料のデジタル化	◎
40 竹富町	2 ③	コーキ原のガジュマル群落周辺整備事業	R1 ～ R56	竹富町指定天然記念物コーキ原ガジュマル群落と町指定史跡ウテイスク遺跡の文化財活用の一環として、新しい小浜島観光の周遊ポイントを作るほか、町民への地域遺産学習の場を提供するために木道・駐車場を整備する。	・コーキ原のガジュマル群落周辺整備の完了	-	繰
40 竹富町	2 ④	登録有形文化財(建造物)西棧橋整備事業	R1 ～ R57	国指定登録有形文化財でもある「西棧橋」の老朽箇所を補修し、安全に観光できるように整備する。	登録有形文化財(建造物)西棧橋の整備完了	登録有形文化財(建造物)西棧橋の整備完了	◎
40 竹富町	2 ⑤	船浮イダの道散策路整備事業	R1 ～ R58	イダの浜に訪れる観光客等の利便性確保を図るため、船浮集落からイダの浜へのアクセス通路を散策路として整備する。	整備工事の完了	-	繰
40 竹富町	3 ①	児童生徒派遣費支援事業	R1 ～ R59	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、児童生徒がスポーツ、文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	児童生徒が広い視野を持たせたか(80%以上)を含め、学校教諭・保護者へのアンケートにより、本事業の効果を確認する。	児童生徒が広い視野を持たせたか100%	◎
40 竹富町	3 ②	外国語指導助手派遣事業	R1 ～ R60	幼稚園児及び小学児童の外国語への興味・関心を高めるため、小学校と幼稚園に英語指導助手を派遣し、外国語学習のサポートを行う。	幼児児童の外国語への興味・関心が高かったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	幼児児童の外国語への興味・関心が高かったか99%	◎
40 竹富町	4 ①	竹富町和牛生産推進事業	R1 ～ R61	町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、農家が優良繁殖雌牛を導入する際の導入費用を支援する。また、離島港湾入口に靴底消毒用マットを設置する。	導入した優良母牛から産れた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。 導入した優良母牛飼いで産れた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 1.22%以上	導入した優良母牛から産れた子牛の平均価格が町内全体の子牛セリ平均価格より高価格となることを目標とする。 導入した優良母牛飼いで産れた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 15.43%	◎
40 竹富町	4 ②	文化財美化保全事業	R1 ～ R62	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光スポットとして観光客が訪れる文化財等の美化保全(除草・清掃)を行う。	・事業対象の文化財について、観光スポットにふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	・事業対象の文化財について、観光スポットにふさわしい景観となっているか75%	○

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
40 竹富町	4 ③	ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	R1 ～ R63	世界自然遺産に登録された西表島の貴重な自然生態系の保全、特に国の天然記念物である絶滅危惧種にも指定されたイリオモテヤマネコの生息環境を保全するため、西表島におけるペットの適正飼養を推進するとともに傷病鳥獣の保護を実施する。	・逸失ペットの保護収容数4頭以内 ・飼い猫のその年におけるウイルス検査及びワクチン接種率30%	・逸失ペットの保護収容数1頭以内 ・飼い猫のその年におけるウイルス検査及びワクチン接種率49.6%	◎
41 与那国町	1 ①	地域振興対策事業	R1 ～ R64	観光誘客を図るため、「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」への支援を行う。	イベント開催月入域観光客数 カジキ釣り大会:3,000人(7月) 一周マラソン大会:3,600人(11月) 合計:6,500人	カジキ釣り大会:3,346人(7月) 一周マラソン大会:2,504人(11月)	○
41 与那国町	1 ②	与那国町誘客促進活性化事業	R1 ～ R65	与那国島のPR活動を実施し、観光誘客に繋げる。	・物産・伝統芸能フェア来場者数 4,000人 ・チャーター便確保 25便/年※実績平均	・物産・伝統芸能フェア来場者数:903人 ・チャーター便確保:411人	未
41 与那国町	1 ③	与那国島特産品アピール力強化事業	R1 ～ R66	新しい販路を開拓し与那国島産品の売上増加を図るため、販売促進についての講習会を開催し、県内外の物産展に出展する。	全体参加の物産展ごとの売上200万円以上	全体参加物産展ごとの売上:254万円	◎
41 与那国町	1 ④	与那国町観光地整備事業	R1 ～ R67	利便性と安全性が確保された観光地を提供し観光客等が安心して利用できる環境を整備するため、既存の「サンニヌ台」「西崎展望台」「東崎展望台」「ティンダバナ展望台」(景勝地)の充実を図り整備実施する。	東崎展望台施設トイレ建築工事完了	-	繰
41 与那国町	2 ①	優良牛繁殖雌牛導入事業	R1 ～ R68	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛及び妊娠牛導入を支援する。	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:120.4%	◎
41 与那国町	2 ②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	R1 ～ R69	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者数の維持確保:39人以上	-	繰
41 与那国町	3 ①	家庭学習支援モデル事業	R1 ～ R70	都市部と学習環境に格差がある本町の小中学生のため、家庭学習支援を目的とした「町営学習塾」を開設する。	R5全国学力・学習状況調査(R5.4月実施予定)へ向けた学習指導の実施	R5全国学力・学習状況調査(R5.4月実施予定)へ向けた学習指導:実施	◎

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「ー」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	R4成果目標(指標)	R4成果実績(指標)	評価
41 与那国町	3 ②	教育諸活動助成事業	R1 ～ R71	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外・県外で開催される大会や選抜による合同練習等に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果:54%	未
41 与那国町	4 ①	安心・安全のまちづくり支援事業	R1 ～ R72	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。	利用者にアンケート実施 子育てに対する負担感の軽減が感じられた(85%以上)	アンケート結果:94%	◎
41 与那国町	5 ①	少子高齢化対策事業	R1 ～ R73	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合:100%	◎
41 与那国町	6 ①	公共交通路線支援事業	R1 ～ R74	生活路線バスの安定的な運営を図る。	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:89.5%	◎